

資料 2-1

平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人 至泉会

法人本部

法人本部

1. 概況

運営面については、通所施設では、出席（通所）率をいかに上げるか、また入所施設では入所定員の確保をいかにしていくのかということを目標に運営をしてきましたが、あけぼの園は、4月当初から定員枠の上限まで園児を受け入れることができ、出席率も良く、新たな加算もとることができたことと、サービス等利用計画作成やモニタリングの件数が増加したため、当初の見込みより増収となりました。

すこやか園の児童発達支援事業は、グループ編成を見直し登園日を増やしたことや新たな加算をとることができたことから増収となりました。また、生活支援センターもサービス等利用計画作成やモニタリングの件数が増加し、新たな加算をとることができ、当初の見込みより増収となりました。

ソーレ平塚地域支援センターのケアセンターは、年度末に新規利用者が増えたため、予想していたほどの減収にはなりませんでした。生活支援センターは、法改正によりモニタリングの頻度が上がり、サービス等利用計画作成件数が昨年度より増加したため、増収となりました。

精陽学園は、昨年度に比べ平均在籍人数が2名少ない状況（46.6名）でした。入所候補者はいるものの、健康面に不安のある幼児であったことや年度途中で1名が措置停止になり、定員の空きを埋められず当初の見込みより大幅な減収となりました。

ソーレ平塚においては、昨年度同様に体調不良により利用者が毎月1名弱入院している状態でした。また、年度途中で亡くなった方の後に入所する方がすぐに決まらず、入所するまで2か月ほど空いてしまったことと、女性職員の欠員が埋まらず、女性の短期入所の利用希望者の受け入れを制限していたことなどから当初の見込みより減収となりました。

職員採用においては、今年度も年度途中での欠員補充（保育士、生活支援員、看護師）ができない状態が一部の施設で続き、療育・支援、収入等に支障が出ている状況があり、インターネットでの求人、派遣、人材紹介等を活用して募集していますが良い人材が見つからず苦慮しており、下半期より法人人材育成委員会を立ち上げ、職員採用について検討するようにしました。

計画相談支援については、あけぼの園、ソーレ平塚生活支援センター、すこやか園において実施していますが、年々相談件数が増え、かつ相談内容も多様化してきており、質の高いサービスを提供し、相談員の質を向上させ地域ネットワークを形成する等、他事業所等との連携がより必要になってきています。そこで、昨年度からソーレ平塚生活支援センター、すこやか園生活支援センター、あけぼの園の相談員が定期的に集まり情報共有を図り、相談支援事業を充実させるようにしましたが、今年度からは、さらに各相談支援事業所の代表者（主任以上）で「コア会議」を開催し、将来の相談支援体制の一本化に向けて、まずは、あけぼの園相談支援事業の休止とそれに伴

うすこやか園生活支援センターとの発展的統合について検討しました。

当法人では、年度当初の事業計画に示してある法人の基本理念を念頭に利用児者の安心と安全を守り、療育や支援等の各種サービスを提供することために各施設の実情に合わせて防犯設備を導入し、防犯備品を購入しました。また、未然に犯罪や災害から利用児者を守るよう防犯アドバイザーに施設の巡視をしてもらったり、防犯講習会や防災研修会を開催、もしくは職員を派遣したりしました。

ソーレ平塚は、開所から約 20 年が経ち、建物や空調・給湯機器に傷みや故障が多くなってきたため、8 月から外壁補修・屋上の防水工事、LED 照明交換工事、ボイラー交換工事、冷温水発生器交換工事を行い、12 月に工事は完了しました。

今年度は例年に比べ大型の台風が多く発生し、各地で被害が相次ぎましたが、7 月下旬に発生した台風 12 号の際には、ソーレ平塚では、被害はなかったものの近隣地域に「避難準備・高齢者等避難開始」情報が出されたため、1 階の居住者及び短期入所利用者全員を一晚、2 階の短期入所居室と 3 階のホールへ避難させました。また、9 月下旬に発生した台風 24 号の際には、精陽学園では、屋根のスレート、雨樋、車のドアミラー、エアコンのダクトカバーが吹き飛ばされ、鉄製の門扉が倒されましたが、幸いにも人的な被害はありませんでした。

近年、インフルエンザが猛威を振るっていますが、今年度は、あけぼの園において職員及び園児に大量の罹患者が出たため、三日間、園を閉鎖しました。あけぼの園以外の事業所では、流行はしませんでした。体力のない幼児や高齢者にとっては、命の危険もあり、今後は一層の注意を払っていきたいと思います。

利用児者の権利擁護については、精陽学園の児童同士の関わりにおいて、性的事故が複数回起こったため、生活全般の見直しを行い、居室変更、食事座席変更、居室内の移動制限等のハード面での対策とともに、職員の把握方法の見直し、児童相談所と連携した性教育の実施等の対策を講じました。

2. 平成 30 年度 経営目標

(1) 法人運営

①職員採用・人材育成

職員採用は、現在、インターネット（求人サイト）・ハローワーク・県社協の人材センターによる就職相談会・折り込み広告を通して施設単位で行っていますが、成果が出ていない状況であり、下半期より法人人材育成委員会を立ち上げ、人材育成と職員採用について効果的な方法等の検討を始めました。

人材育成は、各施設の特性に応じた研修に加え、法人全体を横断的に考え、階層別に必要な内容と職員のつながりを強められるような内容にしていく必要があります。2 月にまず幹部職員階層の研修を 2 回に分けて実施しました。また、4 月に人事考課者研修を（株）エイデル研究所に講師をお願いし、実施し、下半期に人事考課の見直しを行いました。

②人事労務管理・情報システム管理

労務管理については、社会保険労務上のアドバイスを受けながら、無期雇用、定年延長、オンコール対応、扶養手当について検討しました。

ストレスチェックは、今年度も本来対象とならないあけぼの園とすこやか園も含め、法人内の全施設を対象として実施しました。また、昨年度と同様にあけぼの園とすこやか園にもおいても精陽学園とソーレ平塚で委託契約している産業医にお願いして8月と9月に訪問していただき、ストレスチェックの結果診断と職員や職場の安全衛生管理の指導をしていただきました。

情報システムの管理については、ソーレ平塚の情報共有システムの設定を修正し、同システムをソーレ平塚地域支援センターと精陽学園に導入しました。

また、下半期より法人全体で統一された情報管理システムを構築するために、情報管理システムの設定や変更、拡張について検討し、あわせて法人ホームページの見直し、管理方法等について検討することを目的として法人情報管理システム委員会を立ち上げました。法人のホームページについては、当初の予定より遅れていますが、令和元年秋ごろの完成を目指して現在業者と連携を取りながら作成しているところです。

③法人内の規程（定）・規則等の整備

昨年度、社会保険労務士のアドバイスを受け検討した「コンプライアンス規程」を制定しました（4月1日から施行）。また、就業規則の復職条項について復職後の就業上の配慮内容を追加しました（4月1日から施行）。

今年度は、就業規則、再雇用規程、通勤手当、アルバイト職員採用時の誓約書、身元保証書、扶養手当について検討しました。また、法人内の規程（定）や規則等の整備をするため、法人規程等整備委員会が発足しました。今後は、現在ある規程（定）を制定が古いものから順に整備する予定です。

④大規模修繕・建て替え計画

ソーレ平塚の外壁補修・屋上の防水工事、LED照明交換工事、ボイラー交換工事、冷温水発生器交換工事の入札を7月5日と7月25日に行い、8月から工事を始め、12月に工事が完了しました。

⑤積立金の計画見直し

施設整備積立金計画の見直し、建て替え資金の積み立て目標額の策定、人件費積立金の計画を検討しました。

(2) 組織の強化

①本部機能の強化

昨年度から法人本部に本部長を置き、業務執行の統括責任者として先述した法人運営の見直しを進めました。経営目標に対しては、法人内の各施設長及び法人本部課長に経営目標の5項目をそれぞれ担当させ、施設単位ではなく各々の施設の垣根を超えた法人全般にわたる業務を担うことで適切な広い視野の

中で法人運営を行うようにしました。

法人運営には、本部長と法人本部の連携が必須ですが、上半期の途中で本部長が精陽学園に異動となり、法人本部と密に連携を取るのが難しくなり、うまく連携を取るのに苦慮しました。

②相談支援体制の強化

相談支援事業は、あけぼの園、ソーレ平塚生活支援センター、すこやか園生活支援センターの3施設で独立して行っていますが、各施設の相談支援事業を充実させるためには、安定した人材確保と人材育成が求められます。このためには日常的な人材交流とそれが可能な環境設定が必須であると考え、昨年度、すこやか園の常勤相談員を1名増員し、すこやか園の相談員をあけぼの園と兼務させました。そして、ソーレ平塚生活支援センター、すこやか園生活支援センターとあけぼの園の相談員が定期的集い、情報共有（クラウドによる情報管理システムの設定も含む）とスキルアップを図り、将来の一体化に備えましたが、今年度からは、各相談支援事業所の代表者（主任以上）で「コア会議」を開催し、将来の相談支援体制の一本化に向けて具体的な検討を始めました。下半期は、平成31年4月からあけぼの園相談支援事業を休止し、すこやか園生活支援センターであけぼの園相談支援事業のケースを担っていくことになったため、会議の頻度を増やし、相談員の連携を深め、一本化に向けて実現できる部分から着手していき、これらを中心に検討しました。

(3) 利用定員を確保し、安定した経営を行う。

通所・入所施設とも利用児者をいかに増やしていくかということと、職員の欠員をいかになくすかということが課題となっています。

今年度は、あけぼの園とすこやか園では、年度当初から利用児者を定員枠の上限まで受け入れたり、グループ編成を見直したりしたことから延べ利用人数が増えました。一方、精陽学園、ソーレ平塚、ソーレ平塚地域支援センターでは、利用者の長期入院や措置停止、退所者等が出た後にすぐ次の入所者や通所者が決まらなかった、定員の割愛の問題等の理由から定員に空きがある期間ができてしまいました。また、ソーレ平塚においては、女性職員の欠員が年間を通じて埋まらず、女性利用者（長期入所、短期入所共）の入所を制限せざるを得ませんでした。したがって、今後は、退所後から入所までのタイムラグをなくし、定員の割愛に柔軟性を持たせてもらえるよう関係機関に積極的に働きかけ、新たな利用児者の獲得につなげると共に職員採用を最重点課題として対応していきます。

(4) 各施設の防災対策等の危機管理並びにリスク管理の充実

防犯については、法人内の事業所でどのような対策をしたらよいのか検討しました。また、警察署と情報を共有し、防犯講習会を施設内で開催し、実際にどのような対応をしたらよいのかを学びました。また、あけぼの園とすこやか

園では、防犯アドバイザーに園内（建物）や敷地内を巡視してもらい、必要な助言をいただき、対策をとりました。

防災については、施設ごとに日ごろから地域との関わりを大切にして、地域の自治会や防災組織と連携をとるように努め、災害時に地域で孤立しないようにしています。

（5）情報の公開、社会貢献活動の実施

今年度も法人機関紙「しせん（第5号）」を発行し、各施設の現況ならびに法人の事業報告及び決算報告を掲載しました。また、法人と全国経営協の IIP に法人の事業報告ならびに決算報告、監事監査報告、現況報告を掲載しました。

社会貢献活動は、保護観察対象者の社会貢献活動の受け入れを7月30日と12月5日に2名ずつ受け入れました（ソーレ平塚およびソーレ平塚地域支援センター）。

3. 評議員会開催状況及び主な議題

（1）平成30年6月16日（土） 場所：精陽学園

- ①精陽学園及びソーレ平塚の施設長変更について
- ②ソーレ平塚外壁補修・塗装・屋上防水工事、並びにLED照明交換工事について
- ③ソーレ平塚ボイラー交換工事について
- ④ソーレ平塚冷温水発生機交換工事について
- ⑤ソーレ平塚地域支援センター記録ソフト導入について
- ⑥平成29年度 事業報告について
- ⑦平成29年度 決算報告について

（2）平成30年11月10日（土） 場所：ソーレ平塚

- ①ソーレ平塚大規模修繕工事（外壁・屋上防水補修、ボイラー・冷温水発生機更新工事、LED照明交換工事）の入札結果について
- ②ソーレ平塚の寝具リース契約について
- ③ソーレ平塚の浴室リフターの交換について
- ④すこやか園の車両購入について
- ⑤平成30年度 上半期事業報告について
- ⑥平成30年度 資金収支補正予算について

（3）平成31年3月16日（土） 場所：すこやか園

- ①規程の変更について
- ②精陽学園の洗濯業務の委託契約について
- ③精陽学園の清掃業務の委託契約について
- ④平成30年度資金収支補正予算について
- ⑤あけぼの園の障害児相談支援・市世知特定相談支援事業、日中一時支援事業について

- ⑥平成 31 年度事業計画について
- ⑦平成 31 年度資金収支予算について

4. 理事会開催状況及び主な議題

(1) 平成 30 年 6 月 1 日（金） 場所：ソーレ平塚

- ①平成 29 年度 事業報告について
- ②平成 29 年度 決算報告について
- ③監事監査報告について
- ④精陽学園及びソーレ平塚の施設長変更について
- ⑤ソーレ平塚外壁補修・塗装・屋上防水工事、並びに LED 照明交換工事について
- ⑥ソーレ平塚ボイラー交換工事について
- ⑦ソーレ平塚冷温水発生機交換工事について
- ⑧ソーレ平塚地域支援センター記録ソフト導入について
- ⑨定時評議員会の開催(日時、場所、議題等)について
- ⑩その他
- ⑪理事長ならびに常務理事の業務執行状況について

(2) 平成 30 年 11 月 2 日（木） 場所：ソーレ平塚

- ①ソーレ平塚の寝具リース契約について
- ②すこやか園の車両購入について
- ③ソーレ平塚の浴室リフターの交換について
- ④平成 30 年度 上半期事業報告について
- ⑤平成 30 年度 資金収支補正予算について
- ⑥評議員会の開催(日時、場所、議題等)について
- ⑦ソーレ平塚大規模修繕工事（外壁・屋上防水補修、ボイラー・冷温水発生機更新工事、LED 照明交換工事）の入札結果について
- ⑧理事長ならびに常務理事の業務執行状況について
- ⑨その他

(3) 平成 31 年 3 月 16 日（土） 場所：ソーレ平塚

- ①平成 31 年度資金収支補正予算について
- ②規程の変更について
- ③あけぼの園の障害児相談支援・市世知特定相談支援事業、日中一時支援事業について
- ④精陽学園の洗濯業務の委託契約について
- ⑤精陽学園の清掃業務の委託契約について
- ⑥平成 31 年度事業計画について
- ⑦平成 31 年度資金収支予算について
- ⑧評議員会の開催(日時、場所、議題等)について

⑨理事長ならびに常務理事の業務執行状況について

⑩その他

5. 監事監査の実施

実施日：平成30年5月29日（月） 場所：あけぼの園

内 容：平成29年度 事業報告及び決算の監査

6. 内部監査の実施

実施日：平成30年11月22日（水） 場所：精陽学園

内 容：園児への療育や支援、預り金の管理、請求事務等の監査

7. 評議員選任・解任委員会の開催状況

実施日：今年度は、開催しませんでした。

8. 外部表彰の推薦と法人内表彰の実施

(1) 法人内表彰

①法人功勞表彰

今年度は、対象者がいませんでした

②法人永年勤続表彰

対象者：17名

内 容：勤続7年、10年、15年、20年、30年の職員の表彰

③法人特別表彰

今年度は、対象者がいませんでした

(2) 外部表彰

①神奈川県社会福祉関係者等表彰（県知事表彰）

内 容：永年勤続者表彰（在職期間が15年以上、かつ40歳以上で過去に県社協会長頭彰を受けた職員を推薦する）

氏 名：小池俊（精陽学園）

氏 名：小原一洋（ソーレ平塚）

②全国身体障害者施設協議会

内 容：永年勤続者表彰（在職期間が15年以上の職員を推薦する）

氏 名：福井朱美（法人本部兼ソーレ平塚）

氏 名：江口美香子（ソーレ平塚）

③神奈川県社会福祉協議会

内 容：県社協会長頭彰（在職期間が15年以上の職員を推薦する）

氏 名：平田良介（精陽学園）

氏 名：加藤雪子（ソーレ平塚）

氏名：荻野泰宏（ソーレ平塚ケアセンター）

④関東甲信越地区身体障害者施設協議会

内容：永年勤続者表彰（在職期間が10年以上の職員を推薦する）

氏名：高尾一貴（ソーレ平塚）

氏名：古山里沙（ソーレ平塚）

氏名：卯月浩嗣（ソーレ平塚）

氏名：尾羽瑛伍（ソーレ平塚）

氏名：奥田由季（ソーレ平塚）

氏名：森公子（本部兼ソーレ平塚）

⑤平塚市社会福祉協議会

内容：社会福祉功労者顕彰（感謝）

氏名：藤田清三氏（ソーレ平塚 オセロ、将棋ボランティア）

9. 債務の返済状況

元金		(単位 円)		
借入先	借入総額	借入残高 (H30. 4. 1)	償還金	借入残高 (H31. 3. 31. 現在)
神奈川県 社会福祉協議会	10,000,000	2,000,000	500,000	1,500,000
合計	10,000,000	2,000,000	500,000	1,500,000

10. 会議・委員会・職員研修会の開催

(1) 法人経営会議

実施日：毎月1回

内容：法人の課題等の検討他

(2) 法人施設運営会議

実施日：毎月1回

内容：各施設の運営状況等の報告他

(3) 事務員会議

実施日：平成30年11月22日（水）

場所：精陽学園

内容：支払調書の送付について

勘定科目について

非常勤職員の無期雇用について

(4) 総括安全衛生委員会

実施日：平成30年10月22日（金）

場所：ソーレ平塚

内 容：各施設の熱中症対策、感染症予防対策、感染症の発生状況、その他の安全衛生について
労災事故の発生状況について
防犯対策について
ストレスチェックの実施状況について
あけぼの園の防災設備・備品・職場内環境の点検

実施日：平成 31 年 3 月 22 日（木）

場 所：すこやか園

内 容：各施設の感染症予防対策、感染症の発生状況、その他の安全衛生について
労災事故の発生状況について
ストレスチェックの実施状況について
すこやか園の防災設備・備品・職場内環境の点検

(5) 表彰・懲戒委員会

実施日：平成 31 年 1 月 16 日（水）

場 所：ソーレ平塚

内 容：永年勤続表彰、次年度の外部表彰推薦について

(6) 法人機関紙編集委員会

実施日：平成 30 年 5 月 9 日（水）、平成 30 年 7 月 11 日（水）

場 所：ソーレ平塚

内 容：法人機関紙「しせん」第 5 号の発行および発行に向けての打合せ

(7) 法人情報管理システム委員会

実施日：平成 30 年 11 月 8 日（木）、平成 30 年 12 月 19 日（水）

平成 31 年 1 月 23 日（水）、平成 31 年 3 月 14 日（木）

場 所：精陽学園・ソーレ平塚

内 容：法人全体で統一された情報管理システムの構築について
情報管理システムの設定や変更、拡張について
法人ホームページの見直し、管理方法等について

(8) 法人人材育成委員会

実施日：平成 30 年 12 月 18 日（火）、平成 31 年 1 月 24 日（木）

平成 31 年 2 月 19 日（火）

場 所：ソーレ平塚

内 容：階層別職員研修会について
人事考課の見直しについて

(9) 社会保険労務士との打ち合わせの実施

実施日：不定期

場 所：ソーレ平塚

内 容：社会保険、就業規則、労災、労務管理等の相談

(10) 税理士による会計指導の実施

定例打ち合わせ

実施日：月1回及び決算時期

場 所：ソーレ平塚

内 容：社会福祉法人会計の指導、月次巡回監査、決算業務指導

TKC経理ソフト導入による委託契約

(11) 人事考課者研修

実施日：平成30年4月18日（水）

場 所：ソーレ平塚

内 容：株式会社エイデル研究所丹羽勝氏による、人事管理制度の基本的姿勢、組織におけるキャリアの形成、チームマネジメントと組織風土、人事育成とOJTについての座学および演習

(12) 幹部職員研修（人事考課の一次考課者対象）

実施日：平成31年2月14日（木）、平成31年2月28日（木）

場 所：ソーレ平塚

内 容：人事考課においてより有効的に一次考課が行えるように現状の成果や課題を共有し、今後の実施方法の見直しにつなげていく。

(13) 法人新採用（1年目）職員研修

実施日：平成30年3月14日（水）

場 所：ソーレ平塚

内 容：法人全体の理念の理解、不適切なかかわりをしないため、虐待防止についての再確認をする、組織の一員としての立場と役割の理解、仕事上の悩みや課題の共有を通して自己の成長を促し、療育や支援の向上につなげる、人が人を支援することの意味を考える

1.1. その他

(1) 寄付金 2件…110,000円

(2) その他の会議、研修等への参加状況（法人関係）

実施日	内容	会場	参加者
平成30年4月2日	法人辞令交付式	ソーレ平塚	理事長他
平成30年4月2日	法人新採用職オリエンテーション	ソーレ平塚	理事長他
平成30年4月3日	法人永年勤続表彰式	ソーレ平塚	理事長他
平成30年4月14日	第1回法人就職説明会	すこやか園	常務理事他
平成30年4月20日	社会福祉法人制度改革事務担当者フォローアップセミナー	全社協灘尾ホール	法人本部課長
平成30年5月14日	神奈川県人材確保対策推進フォーラム	神奈川県総合医療会館	理事長

平成30年5月17日	平塚市社協福祉施設部会総会	グランドホテル神奈中	理事長他
平成30年6月25日	経営協経営者部会総会	ホテルキャメロットジャパン	理事長
平成30年7月5日	ソーレ平塚外壁・屋上補修、LED照明交換工事入札	ソーレ平塚	理事長他
平成30年7月14日	寿徳会夏祭り	はだの松寿苑	理事長他
平成30年7月18日	平塚地区福祉のしごとフェア	平塚ラスカ	地域支援センター・副センター長他
平成30年7月25日	ソーレ平塚給湯ボイラー、冷温水発生器交換工事入札	ソーレ平塚	理事長他
平成30年7月26日	平塚市障がい福祉施設連絡協議会施設長会	ソーレ平塚	理事長他
平成30年7月27日	法人職員交流ボーリング大会	伊勢原ボウル	理事長他
平成30年8月4日	よるべ会夏祭り	わらべの杜	常務理事
平成30年8月22日	平塚市民間社会福祉事業協会総会	グランドホテル神奈中	理事長他
平成30年8月24日	経営協セミナー	ホテルキャメロットジャパン	理事長
平成30年9月28日	労働契約等解説セミナー	神奈川県中小企業共済会館	法人本部課長
平成30年10月3日	平塚市長との意見交換会	平塚市役所	理事長他
平成30年10月4日	神奈川県民間知的障害施設協同会第2回事務研修会	神奈川県社会福祉会館	法人本部課長
平成30年10月10日	福祉新聞フォーラム	東京ビッグサイト	理事長
平成30年10月21日	福祉のしごとフェア	タカシマヤローズホール	精陽学園主任他
平成30年10月22日	全国社会保険労務士会連合会労働条件改善セミナー	ワークピア横浜	法人本部課長
平成30年11月8日	年末調整説明会	平塚市中央公民館	法人本部課長
平成30年11月30日	神奈川県民間知的障害施設協同会第3回事務研修会	保土ヶ谷社会福祉協議会かるがも	法人本部課長
平成31年1月7日	賀詞交歓会	ホテルキャメロットジャパン	理事長
平成31年1月25日	働き方改革関連法説明会	あおい社会保険労務士事務所	法人本部課長
平成31年2月4日	経営協セミナー	ホテルグラム横浜	理事長
平成31年2月7日	働き方改革関連法説明会	県民ホール	常務理事
平成31年2月21日	神奈川県施策説明会	神奈川自治会館	理事長
平成31年3月11日	公益法人セミナー	仏教伝道センター	理事長
平成31年3月14日	経営協経営者部会総会	ホテルキャメロットジャパン	理事長

資料 2-2

平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人 至泉会

あけぼの園

I 児童発達支援事業

1. 概況

新入園児 19 名を迎え合計 36 名で、平成 30 年度がスタートしました。どのクラスも昨年度の在園児より入園児が上回りました。園児が少しでも早く落ち着いて過ごせるよう、昨年度のクラスをもとにしたクラス編成にしました。

また、防犯の観点から 8 月に県の防犯アドバイザー派遣事業を利用して、園の状況を見てもらいアドバイスを受け、すぐに行うことのできる改善を速やかに行い、課題となることを全職員で共有しました。

健康管理面で、全国的に大流行したインフルエンザが 1 月に当園でも猛威をふるい、19 名の園児と 4 名の職員が罹患し、3 日間の園閉鎖を行いました。このことは、今までに前例のない出来事であり、今後もより一層の注意を払いながらの運営を行う必要性を感じているところです。

2. 運営目標の取り組みについて

今年度は保護者見学期間を半期に 1 回ずつ、合計 2 回設けました。日頃より、保護者には療育場面の見学を推奨していましたが、見学をする保護者は決まっていた。今回、見学期間を設けたことで、保護者にわが子の現状を認識してもらいやすくなり、保護者と支援についてのやりとりがスムーズになりました。

保護者支援プログラムとして、勉強会、座談会、給食を食べる会を実施しました。勉強会は、まず、①児童発達支援ガイドラインとあけぼの園の療育、②集団での育ちを望む場合にどのようなことが育っているとよいか、③言葉の発達の 3 つの内容および 4-6 名の少グループで『子どもへの関わり』をテーマに、演習的な要素を入れた勉強会を 4 回、いずれも職員が講師で行いました。

嘱託の作業療法士が手指の発達を、そして秦野市教育委員会職員を講師に秦野市の就学システムについての内容で行いました。

座談会は就学をテーマに行いました。当初は年長児を対象にしていたが、「全員を対象にしてほしい」という保護者の要望により、年齢別での実施に変更しました。年少児については、保護者からの関心事である“次年度に通う場（あけぼの園、幼稚園）と何を大切に子育てするのか”という話題になりました。

給食を食べる会は給食を保護者に食べてもらう機会として、7 回 21 人が参加しました。給食については、日々の給食を『マチコミ』（ソーシャルネットワーク）にアップして、日々の給食の具体的な内容を保護者に知ってもらいました。

3. 利用児の状況について

平成30年度は新入園児19名を迎えて、在籍36名でスタートしました。1クラス12名で、その中に歩き始めや歩行不安定の子どもが1~2名所属しました。職員は昨年度までの1クラス4~5名体制から5名にしました。

園児は年少児から年長児で、居住地は2市2町から2市（秦野市、伊勢原市）となりました。

今年度は認定こども園や他事業所から年長児3名が転園してきました。

利用人数は、延べ7,265人であり、一日利用人数の平均は29.8人でした。

4. 支援内容について

(1) 園児の支援について

年度始めに少しでも早く落ち着いて過ごせるよう、昨年度のクラスをもとにしたクラス編成にしたことにより、昨年度からの園児は落ち着いてスタートすることができました。

歩行不安定の園児は他児とものごとに組み込むスピードが異なることから、個々の子どもの活動を保障するため、週2回1時間、歩行不安定児4名のグループ支援を行いました。しかし、状態の違いから活動におもしろさが感じられない、あるいは他児とのトラブルで常に泣いて参加する子どもが出てきた等、問題が生じたため、夏休み明けよりグループをなくし、クラスでの対応としました。

給食については、これまでのアレルギー食に加え、きざみ食や宗教上の関係から牛豚除去食を厨房職員と連携のもと、対象園児に提供しました。

また、作業療法士に1クラスに2回ずつ入ってもらい、より良いアプローチの方法や体にあった椅子、机のアドバイスを受けました。

(2) 保護者に対しての企画

保護者講演会を10月に行い、まめの木クリニック発達臨床研究所の吉岡沢栄氏に『子どもと良い関係を作るために ～ペアレント・トレーニングの活用～』のテーマでご講演いただきました。園児が併行通園をしている日中一時支援事業所職員にも案内をし、保護者22家族30人、関係機関4機関9人が参加し、講演会を行いました。

その他の取り組みについては、P1-2『運営目標の取り組み』を参照願います。

(3) 行事等

①夏祭り

7月の第5土曜日の午後に夏祭りを予定していましたが、台風12号の影響により前日に中止の決定をしましたが、8月に夏まつりの要素を部分的に取り入れた内容で通常の登園日に行いました。

②おはなしころりん

秦野市のボランティアサークル『おはなしころりん』が3回来園して、手遊び、歌遊びを行ってくれました。

③誕生会

月1回、誕生月の子どもを祝いました。

④内科検診、歯科検診

半期に1回ずつ、合計4回行いました。

⑤身体測定

隔月実施で、合計6回行いました。

⑥家庭訪問

新入園児19名を対象に、5月と6月に行い、延べ37名の園児の家庭を訪問しました。

⑦幼稚園等との交流

・秦野市立北幼稚園との交流

幼稚園に出向いて4回、年長児を中心に延べ10名が参加し交流しました。また、幼稚園児に2回来園してもらい、年長・年中児12名が参加し交流しました。

・その他

秦野市のこども園及び幼稚園での居住地交流に園児が3名参加しました。

5. 会議・研修

(1) 会議

①園内会議

検討、確認事項について、療育会議(療育に関することを療育職員で確認する)、クラス会議(クラス担当職員でクラス内の検討確認事項等を話し合う)、療育支援プロジェクト(療育支援を充実させるための懸案事項を検討する)、支援調整会議(個別支援計画を確認する)、給食会議(給食に関して園職員と厨房委託業者との打ち合わせ)等を行いました。

次年度に向けての職員会議は全職員出席のもと3月末に行いました。

②外部会議

P14 表 2-5 参照

(2) 研修

①内部研修

4月に保護者向け講演会に来ていただいた講師を招いて、講演会と同様のテーマで話を聞きました。講師であるまめの木クリニック・発達臨床研究所の吉岡沢栄氏より、「ペアレント・トレーニングを職員が実践しての感想をもとに、講演会の内容を再検討したい」という話があり、3ヶ月実践しての感想文を講師に送りました。

作業療法士に各クラス年に2回、クラスに入って園児をみでもらっての見解、および作業療法士による保護者勉強会の内容についての職員へのフィードバックも研修として生かされました。

2月、3月には職員が別のクラスに入って1日過ごすことを、1人につき概ね2回行ったことも研修的要素になりました。常勤職員については、クラス変更をしての感想を伝え合う機会をもちました。

②外部研修

療育支援に関わる研修を中心に職員が出席しました。(P11 表2-1-②)

6. 衛生・安全・防災

(1) 衛生面について

厨房において、弱酸性殺菌水を用いて食材や調理器具を殺菌するようにしました。

1月にインフルエンザ罹患児が徐々に増え、半数に達したため、これ以上感染が広がらないよう3日間園を閉鎖しました。職員もインフルエンザの予防接種を受けていたものの、4名がインフルエンザにかかりました。平塚保健福祉事務所秦野センターにはインフルエンザ罹患児が少ない時から連絡し、助言を受けていました。

職員については、産業医に健康診断とストレスチェックの状態を確認していただきました。

(2) 安全面・防災面について

昨年の夏は全国的にみて気温が高く熱中症になる危険性があったことから、7月に『暑い日の対応について』のお知らせを出し、暑い日の対応方法について保護者に示しました。

8月に県の防犯アドバイザー派遣事業において、県の障害福祉課職員同伴のもと、防犯アドバイザーに園の状況を見てもらい、アドバイスを受けました。その内容を会議で共有し、防犯ブザーを職員が携行する、ドアチャイムをつける等すぐに行えることについて改善しました。

例年、年度末に行っていた大規模地震を想定した引き取り訓練を今年度は7月に行いました。実施日は定めておくものの、具体的な時間を保護者に示さない形で行いました。マチコミ（ソーシャルネットワークサービス）を通して連絡し、公共交通機関を用いて迎えに来てもらう形で行いました。給食を食べた後に訓練を実施することを前もって保護者に知らせていたため、大きな混乱なく引き取り訓練を行うことができました。

産業医には園内を見てもらい、危険箇所の助言を受けました。

7. 関係機関との連携

(1) 園児に関すること

各市町の担当課の職員、および相談支援事業所と懸案等のある場合に情報交換をしました。

(2) 就学について

就学予定先の市町や学校からの見学、引き継ぎの要請について対応しました。また、前年度に就学した学校からの情報交換会に出席しました。

(3) その他

秦野市については自立支援協議会こども部会、就学支援委員会および社会福祉協議会施設部会に職員が委員として出席しました。また、保育の日のつどいに職員が出席しました。

児童発達支援関係では圏域児童通所事業所連絡会に出席して、各施設の状況や問題点等を認識しました。

8. その他

(1) 当園への入園について

当園に興味のある方を対象に集団見学会を6回行いました。集団見学会を通して、入園希望のある方を対象に、療育の体験をしていただきました。その後、入園を希望する方に対して、入園申込書を今年度初めて用意し、居住地の担当課を経由して申し込んでもらいました。入園の可否については、12月中旬に通知しました。

(2) 法人監事監査について

平成30年5月29日に法人内の監事監査を受けました。指摘事項はありませんでした。

(3) 親の会との関係について

5月19日に、父親の会である育泉会が職員と一緒に園庭の草刈りボランティアをしてくれました。その夜の懇親会にも職員が出席しました。懇親会は年度末にも開催されました。

母親の会である泉会より勉強会の講師の要請があり、6月11日に『問題行動の背景を知る～わが子の困った行動の原因を知ろう～』のタイトルのもと職員が話をしました。

(4) 精陽学園児交流保育

精陽学園から依頼があり、6月中旬より9月まで精陽学園の年長児が月2~3回の午前中、職員と一緒に来て園児と過ごしました。過ごす場を1クラスに定めたことで、リラックスした状態で保育に参加してもらうことができました。

(5) ボランティアについて

8月より秦野市在住の方が1週間に1回午前中にボランティアとして、子どもたち

と関わってくれました。

北地区民生委員児童委員協議会の方が例年通り、月1回、園児と関わってくれました。

(6) 実習生

東海大学医学部より9月末と10月上旬に各々2名の学生が1週間ずつ、実習に来ました。1月下旬にも1名が1週間実習に来ました。

(7) 他機関からの見学者

就学関係以外では、5月にアグネス園より4名、6月にいころの村より2名の職員が見学に来ました。10月には伊勢原市障がい者と暮らしを考える協議会の相談支援部会、子ども支援部会より16機関27名が、そして12月にはたんぼ教室より10名の職員が見学のため来園しました。

(8) 広報活動

ホームページを月1回更新し、機関紙『80センチ』と卒園児文集『あけぼの』を各々年1回発行しました。

機関紙『80センチ』には、“事業所における自己評価結果”を添付しました。“事業所における自己評価結果”とは、事業所の自己評価と保護者アンケートから構成されたもので、国より公表が推奨されたものです。

(9) その他

①寄付金 10件 総額 275,200円

Ⅱ 日中一時支援事業

1. 概況

在籍児 9 名でスタートしました。新入園児の受け入れについては、5 月に説明会、6 月に契約会を実施し、当初の計画通り 7 月より受け入れをスタートしました。8 月には契約児童数が 16 名となり、一日あたり平均 4-5 名の児童が利用しました。

6 月に担当パート職員の退職がありましたが、新たに日中一時支援事業でのパート職員の雇用を行い、昨年度と同じ 2 名の職員体制で活動を行うことが出来ました。また、利用希望の多い日には、療育時間のパート職員 1 名を加えた 3 名の職員体制で活動を行い、保育ボランティアにも、月に 1-2 日来ていただきました。

2. 運営目標の取り組みについて

当初の計画通り、7 月より新入園児の受け入れを開始しました。

利用日限定され変更のきかない場合を除き、子ども同士の関係性を考えて、支援にあたりました。障がいの特性が個々に違う等の理由により、子ども同士の関わりを引き出せない状況がありましたが、外遊び等の身体を動かす遊びにおいて職員を介して子ども同士と一緒に遊ぶ経験を積み重ねたことから、友だちを意識して楽しく遊ぶ場面が多く見られるようになりました。

降園時には、具体的に、子どもの様子を保護者に伝えるように努めました。

3. 利用状況

今年度、開所日数 215 日、延べ 719 人の利用がありました。新入園児の定期利用が増えたため、下半期は、上半期に比べ大幅に利用数が増えました。

4. 内容

- (1) 『日中一時支援事業』のマスコットを作り、児童に分かりやすいように部屋に置きました。視覚支援が有効な児童に対しては、療育活動で使用している絵カードのスケジュール表を用い、統一した関わりが出来るよう環境を整備しました。
- (2) 療育終了後、14 時より保育を開始しました。活動内容により、15 時から 15 時半頃をおやつ時間としました。おやつ時間を挟んで、教室での『静の活動』、戸外等での『動の活動』を展開し、めりはりのある活動を設定しました。体力があり落ち着かない児童に対しては、戸外活動を増やす等対応しました。
- (3) 雨天時等の活動の幅を持たせるために、北公民館のプレイルームや図書室を活用しました。また、教室にテレビを設置したことにより、17 時まで利用する児童が、お迎え前の時間を、家庭的な雰囲気の中、静かに過ごせるようになりました。

Ⅲ 障害児相談支援・指定特定相談支援事業

1. 概況

平成 29 年 9 月より、あけぼの園の相談支援事業はすこやか園生活支援センターの相談支援専門員が兼務で行いました。最近ではあけぼの園の卒園後も放課後等デイサービスなどの福祉サービスを必要とし、相談支援事業の継続を希望する方が増え、今年度は在園児と卒園児を合わせて、利用契約者は 50 名となりました。平成 31 年 4 月からは、相談支援の強化を図るため、すこやか園生活支援センターと統合し、しせん相談室として一体的に相談支援事業を行うことになりました。

2. 運営目標についての取り組み

今年度は将来的な法人内の相談支援事業所の統合化に向けての準備として、まず、ソレ平塚生活支援センター、すこやか園生活支援センターの相談支援専門員との会議に月 2 回出席し、法人内の各相談支援事業所の状況および統合化に向けての具体的なイメージを共有しました。

年度の途中に、次年度からすこやか園生活支援センターとあけぼの園相談支援事業が統合することが決まったため、11 月に保護者に対して統合に向けての説明会を行いました。その後も保護者および関係機関との調整を重ね、平成 31 年 4 月からしせん相談室としてスタートできるよう準備を進めました。

上記以外の関係機関との連携では、秦野市の相談支援事業所連絡会や伊勢原市の相談支援部会などの連絡会や研修会等に参加し、他機関の相談支援専門員との意見交換や情報収集の機会をつくりました。また、他機関の福祉サービスを利用している利用者のモニタリングを兼ねた事業所訪問等を行いました。

3. 利用状況

今年度は 50 名の契約者数でスタートしました。その内 14 名があけぼの園の卒園児でした。

サービス等利用計画の作成およびモニタリングは、延べ 132 件（計画 52 件、モニタリング 80 件）でした。

資料1 利用者の状況

表1-1

居住地区別園児の状況 平成31年3月末日現在

	秦野	伊勢原	計
男	25	2	27
女	6	2	8
計	31	4	35

表1-2

年齢別園児数 平成31年3月末日現在

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
男	0	10	11	6	27
女	0	0	4	4	8
計	0	10	15	10	35

表1-3

市町別年度内入退園状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
秦野	入所	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
	退所	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	10	11
伊勢原	入所	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
二宮	入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松田	入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入所計		19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
退所計		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	14	15

表1-4

年度内退園園児の退所先 平成31年3月末日現在

就学による卒園			その他				計
特別支援学校入学	小学校入学	その他	保育園入園	幼稚園入園	転居	その他	
3	8	0	1	3	0	0	15

表1-5

障害の状況 平成31年3月末日現在

てんかん	0	聴覚障害	0
肢体不自由、運動発達障害	4	ダウン症候群	3
自閉スペクトラム症	12	その他：内部障害(循環器・呼吸器・消化器・泌尿器・代謝)	0
視覚障害(盲・弱視)	0		

複数回答あり

表1-6

介護度(全国知的障害児通園施設実態調査による分類) 平成31年3月末日現在

	1	2	3	4	5	計
食事	食べられないため食べさせてもらおう	手づかみでは食べるがスプーンは使えない	手づかみやスプーンで食べる	スプーンやにぎりばしで食べる	箸を使って食べられる	
人	1	5	17	10	2	35
排泄	オムツを必要とする段階	大小便とも時間を決めてつれていく(失敗可)	大小便とも予告できる(失敗可)	大小便ともほぼ自立するが、後処理不完全	大小便とも自立	
人	3	17	9	5	1	35
着脱衣	すべて解脱が必要(協力動作なし)	介助すれば協力しようとする	かんたんなものは自分で脱げる	着脱はほぼできるが、ボタンかけ等は困難	着脱ができ、ボタンかけ等も自分でできる	
人	0	12	14	7	2	35
移動	自力移動ほとんど不能	何らかの自力移動可能	独歩不能なるもつたい歩き可	独歩可能なるも危なかしい	歩行可能または不自由さはあるが皆と同様に歩ける	
人	0	0	0	4	31	35
言語	話せないし相手の言うことも分からない	話すことはできないが相手の言うことは分かる	身ぶりや声で表現しようとする	単語程度で意思交換可能	大体のことは言葉で通じあえる	
人	6	4	6	13	6	35
対人物関係	無関心、呼びんでも反応を示さない	呼ばれば反応を示す。特定の人や物には一応関心がもてる	人や物に関心をもち、表情や動作に表す	一方的ながら人や物に対して働きかけ、初歩的な関係がもてる	友だちの世話したり今日遊んで遊んだりを示す	
人	0	12	8	13	2	35

表1-7

児童発達支援利用延べ人数 (単位 人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成30年度	開園日数	20	22	22	21	19	19	23	22	19	19	20	18	244
	初日在籍数	36	36	36	36	36	36	35	35	35	35	35	35	426
	延べ利用人数	629	695	663	635	569	587	700	671	589	391	603	533	7,265
平成29年度	開園日数	21	21	23	22	18	21	22	21	19	18	20	18	244
	初日在籍数	30	31	31	32	32	32	32	32	32	32	32	32	380
	延べ利用人数	534	595	641	593	476	595	606	578	536	454	523	469	6,600

表1-8

日中一時支援利用状況

日中一時支援(幼児)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用契約者数	9	9	14	16	16	16	16	16	16	16	16	16	—
開設日数	17	21	21	19	18	17	20	19	16	13	19	15	215
利用者延べ人数	38	40	41	59	73	63	69	74	72	52	74	64	719

資料2 施設運営の状況

表2-1-①

職員園外研修

月日	内容	場所	受講者
7/2	職員の資質向上	すこやか園	稲毛、村上、安藤、武藤、柴山、今井
7/14	実践！「ケア会議の進め方」 ～限られた時間で良い会議の開催ができるように～	秦野市文化会館	伊藤
9/28	発達障害児者への医学的視点について ～これまでと現在の取り組みから～	おだわら市民交流センターUMECO	柴山
10/1	食支援が必要な乳幼児の摂食嚥下機能発達	平塚保健福祉事務所	柴山、今井、高梨
10/4	事務研修部会研修	県社会福祉会館	山田
10/16	ディスレクシアってなあに	秦野市本町公民館	稲毛、村上
10/24	保育の日のつどい	秦野市本町公民館	村上、安藤、武藤、柴山
11/28、29	児童発達支援管理責任者補足研修	やまと芸術文化ホール	稲毛
12/6	ことばとコミュニケーション	県立総合療育相談センター	武藤
12/7	児童発達支援管理責任者研修	相模原南市民センター	村上
1/31	心身障害児の日常生活・遊びへの援助	県立総合療育相談センター	今井
2/2	応用行動分析から学ぶ療育の基礎	東京ファッションタウン	高梨
2/14	県民間知的障害施設協同会 事務研修部会	保土ヶ谷社会福祉協議会	山田
2/16	自己認知への発達支援	東京ファッションタウン	古川
2/19	秦野市障害者虐待防止・権利擁護研修会	はだのクリーンセンター	安藤、宮川、高梨
2/22	全国施設管理者等研修会 「障害のある子ども達への支援の未来」 ～発達支援の質的向上と支援者養成～	イイノホール	園長、稲毛
2/23			稲毛、武藤
2/25	摂食指導研修会	ソーレ平塚	今井
2/26、27	児童発達支援管理責任者研修	小田原市民会館	村上

表2-1-②

職員園内研修

月日	内容	受講者
4/27	悪循環を断って子どもと良い関係を作るために ～ペアレント・トレーニングの活用～	園長、安藤、柴山、今井、稲毛、古川、高梨、村上、武藤、宮川、山崎<と>、山崎<ゆ>、市川、豊島、北村、伊藤
11/13	防犯講習会	園長、安藤、柴山、今井、市川、堂園、稲毛、古川、高梨、北村、山崎<と>、村上、武藤、宮川、豊島、大村、山田、伊藤

表2-2

職員施設見学

月日	場所	職員
5/25	いころの村	山崎<と>、有松、古川、今井
6/30	狹沢小学校	村上、安藤、古川、柴山、市川
7/6	秦野養護学校（未広校舎）	津野
7/10	秦野養護学校（本校）	津野
7/12	秦野養護学校（未広校舎）	柴山、宮川
9/27	伊勢原養護学校	村上、津野
11/17	伊勢原養護学校	村上

表 2 - 3

防災訓練

月日	訓練	出火想定場所	内容
4/18	火災	外倉庫	消防本部への火災発生模擬通報訓練・避難経路を経て南空地に避難・避難誘導、点呼・出火場所への模擬消火訓練
5/16	火災	厨房	消防本部への火災発生模擬通報訓練・避難経路を経て南空地に避難・避難誘導、点呼・出火場所への模擬消火訓練
6/6	火災	厨房	消防本部への火災発生模擬通報訓練・避難経路を経て玄関へ避難・避難誘導、点呼・出火場所への模擬消火訓練
7/6	引取		非常災害を想定し、親に一般交通機関を利用したの園児の迎えを依頼（マチノミを利用）
7/12	火災	職員室	消防本部への火災発生模擬通報訓練・避難経路を経て南空地へ避難・避難誘導、点呼・出火場所への模擬消火訓練
8/8	火災	厨房	消防本部への火災発生模擬通報訓練・避難経路を経て玄関前に避難・避難誘導、点呼・出火場所への模擬消火訓練消火器訓練を実施。（消火器3本を消防署から借用して、別の時間にクラスごとに水消火器訓練を実施し、園児に見せる）
9/12	火災	厨房	消防本部への火災発生模擬通報訓練・避難経路を経て南空地に避難・避難誘導、点呼・出火場所への模擬消火訓練（散歩に出ている子どもは園に戻らないよう電話連
10/16	地震・火災	厨房	消防本部への火災発生模擬通報訓練・避難経路を経て玄関前に避難・避難誘導、点呼・出火場所への模擬消火訓練
11/19	火災	職員室	消防本部への火災発生模擬通報訓練・避難経路を経て南空地に避難・避難誘導、点呼・出火場所への模擬消火訓練
12/18	地震・火災	厨房	消防本部への火災発生通報訓練・避難経路を経て南空地へ避難・避難誘導、点呼・出火場所への模擬消火訓練
1/17	火災	外倉庫	消防本部への火災発生模擬通報訓練・避難経路を経て玄関へ避難・避難誘導、点呼・出火場所への模擬消火訓練
2/18	地震・火災	厨房	消防本部への火災発生通報訓練・避難経路を経て南空地へ避難・避難誘導、点呼・出火場所への模擬消火訓練
3/7	火災・地震	厨房	消防本部への火災発生通報訓練・避難経路を経て南空地へ避難・避難誘導、点呼・出火場所への模擬消火訓練

表 2 - 4

行事

月日	事業項目	付 記
4/3	入園のつどい	全園児（36名）出席
5/11	内科検診	36名受診
4/13	保護者勉強会	テーマ：児童発達支援ガイドラインとあけぼの園の保育について 説明：園内児童発達支援管理責任者 30名出席
4/23、24、26	面談日	24日：なでしこクラス、24日あじさいクラス、27日：たんぽぽクラス
5/21～6/8	家庭訪問	対象：新入園児19名
5/17	保護者勉強会	テーマ：秦野市の就学システムについて 講師：秦野市教育指導課職員 29名出席
5/17	新入園児日中一時支援事業説明会	
5/22	北幼交流	3名参加
5/22	給食を食べる会	3名参加
5/30	保護者勉強会	テーマ：集団と発達 説明：園内児童発達支援管理責任者 27名出席
6/4	就学に関する座談会（年長児保護者対象）	6名出席
6/13	保護者勉強会	テーマ：不器用と子どもの発達 説明：園内作業療法士 28名出席
6/15	給食を食べる会	2名参加
6/18	就学に関する座談会（年中児保護者対象）	10名参加
6/19	北幼交流（秦野市北幼稚園との交流）	2名参加
6/21	歯科検診	
6/22	平成31年度入園関係見学会	

6/25	就学に関する座談会（年少児保護者対象）	10名出席
6/26, 28, 29	個別支援日	26日：たんぼぼクラス、28日あじさいクラス、29日：なでしこクラス
7/2	平成31年度入園関係見学会	
7/3～7/31	保護者見学期間	
7/6	地震引き取り訓練	
7/19	おはなしころりん	
7/28	なつまつり	台風のため中止
8/1	平成31年度入園関係見学会	
8/2、3、7	面談日	2日：なでしこクラス、3日あじさいクラス、7日：たんぼぼクラス
8/23	給食を食べる会	2名参加
8/31	平成31年度入園関係見学会	
9/5	給食を食べる会	3名参加
9/6	平成31年度入園関係見学会	
9/7	北幼交流	3名参加
9/13	おはなしころりん	
9/18、20、21	面談日	18日：なでしこクラス、20日あじさいクラス、15日：たんぼぼクラス
9/28	平成31年度入園関係見学会	
10/4	保護者勉強会	テーマ：ことばの発達について 説明：園内児童発達支援管理責任者 25名出席
10/10	内科検診	33名受診
10/13	運動会	場所：秦野市立北小学校体育館
10/18	北幼交流	3名参加
10/19	給食を食べる会	4名参加
10/27	保護者講演会	テーマ：子どもと良い関係を作るために ～ペアレント・トレーニングの活用～ 講師：まめの木クリニック・発達臨床研究所 吉岡 沢栄氏 場所：秦野市立北公民館 参加者：保護者 22家族 30人 関係機関 4機関9人
10/30	ハロウィン	
11/1, 2, 6	個別支援日	1日：たんぼぼクラス、2日なでしこクラス、6日：あじさいクラス
11/8, 16, 28 12/3	保護者勉強会	テーマ：子どもへの関わりについて (小グループでの演習) 説明：園内児童発達支援管理責任者 参加者 11/8 6名、11/16 6名、11/28 4名、12/3 5名
11/9	給食を食べる会	4名参加
11/9	北幼交流	2名参加
11/15	歯科検診	
11/23	保育参加	園児29名、保護者29名
12/6	給食を食べる会	5名参加
12/13	クリスマス会	園児35名、保護者44名
12/17～1/31	保護者見学期間	
1/31	おはなしころりん	
1/31	豆まき	
2/5～7	面談日	5日：なでしこクラス、6日たんぼぼクラス、7日：あじさいクラス

2/19	北幼交流（来園にて）	7名参加
2/20～22	おわかれ遠足	20日：あじさいクラス、21日たんぼぼクラス、22日：なでしこクラス 行先：はまぎんこども宇宙科学館
2/26	北幼交流（来園にて）	5名参加
3/1～3/20	卒退園児面談期間	
3/2	新入園児説明会	
3/13	在園児次年度説明会	20名出席
3/23	卒園式	
3/25	在園児面談口	
※10/7 北地区福祉ふれあいまつり 園児作品掲示 10/20 福祉展 10/14、15 まきの木まつり 園児作品掲示 ※誕生会 …毎月1回実施。		

表2-5

外部会議等

月日	会議名	場所	出席者
4/2	法人辞令交付式	ソーレ平塚	園長
4/4	報酬改定説明会	磯子公会堂	山田
4/10	法人施設運営会議	あけぼの園	園長、(伊藤)
4/17	県障害福祉施設・事業所団体説明会	神奈川県民ホール	園長
5/1	法人施設運営会議	精陽学園	園長
5/9	法人機関誌編集委員会	ソーレ平塚	武藤
5/10	秦野市子ども部会	秦野市役所	園長
5/10	秦野市就学指導委員会	秦野市役所	園長
5/14	神奈川県介護人材確保対策推進フォーラム	県総合医療会館	園長
5/17	法人規程整備委員会	ソーレ平塚	伊藤
5/25	サポートセンター秦野総会	秦野市地域生活支援センター	園長
5/28	法人経営会議	ソーレ平塚	園長
5/29	法人監事監査	あけぼの園	園長、伊藤、山口
6/1	末広小学校懇談会	秦野市立末広小学校	柴山、高梨
6/6	法人施設運営会議	ソーレ平塚	園長
6/8	秦野市安全運転管理者会通常総会	秦野商工会議所	園長
6/16	法人評議員会	精陽学園	園長、伊藤
6/21	南が丘小学校懇談会	秦野市立南が丘小学校	稲毛
6/26	たんぼぼ教室児対象次年度説明会	たんぼぼ教室	園長、伊藤
7/2	全国知的障害関係施設長会議	東京国際フォーラム	園長
7/3	全国知的障害関係施設長会議	東京国際フォーラム	伊藤
7/3	秦野市社会福祉協議会施設部会	秦野市保健センター	園長
7/3	法人施設運営会議	すこやか園	園長
7/10	秦野市子ども部会	弘済学園	園長
7/11	法人機関誌編集委員会	ソーレ平塚	武藤
7/12	安全運転管理者研修	秦野市文化会館	園長

7/13	通所事業所連絡会	子ども自立生活支援センター（まろり）	園長
7/14	寿徳会夏祭り	はだの松寿苑	園長
7/19	法人経営会議	ソーレ平塚	園長
8/9	法人施設運営会議	あけぼの園	園長、（伊藤）
8/23	法人経営会議	ソーレ平塚	園長
9/4	法人施設運営会議	精陽学園	園長
9/13	秦野市こども部会	秦野市保健福祉センター	園長
9/20	法人経営会議	ソーレ平塚	園長
10/2	法人施設運営会議	ソーレ平塚	園長
10/2	秦野市福祉施設経営者懇話会		園長
10/4	秦野市就学支援委員会	秦野市役所	園長
10/5	法人総括安全衛生委員会	ソーレ平塚	園長
10/5	秦野市社会福祉協議会施設部会	秦野市保健センター	園長
10/17	JSYネット定例会	ソーレ平塚	園長
10/19	事業者指導講習会	かながわ県民センターホール	山田
10/22	秦野市社会福祉協議会施設部会	秦野市役所	園長
10/25	秦野市就学支援委員会	秦野市役所	園長
10/29	法人経営会議	ソーレ平塚	園長
11/2	法人理事会	ソーレ平塚	園長、伊藤
11/6	法人施設運営会議	すこやか園	園長
11/8	法人システム委員会	精陽学園	山田
11/10	法人評議員会	ソーレ平塚	園長、伊藤
11/12	年末調整等説明会	秦野市文化会館	山田
11/15	秦野市就学支援委員会	秦野市役所	園長
11/15	法人経営会議	ソーレ平塚	園長
11/15	秦野市就学支援委員会	秦野市役所	園長
11/16	秦野市こども部会	秦野市役所	園長
11/12	年末調整説明会	秦野市文化会館	山田
11/22	事務員会議	精陽学園	山田
11/22	法人内部監査	精陽学園	園長、山田
11/28	入所通所連絡会	弘済学園	園長
12/2	秦野市北地区芸能まつり	秦野市北公民館	園長
12/18	法人人材育成委員会	ソーレ平塚	園長、伊藤
12/19	法人システム委員会	精陽学園	山田
12/20	法人経営会議	ソーレ平塚	園長
1/8	法人施設運営会議	精陽学園	園長

1/10	秦野市就学支援委員会	秦野市役所	園長
1/16	法人表彰懲戒委員会	ソーレ平塚	園長、伊藤
1/17	法人経営会議	ソーレ平塚	園長
1/24	法人人材育成委員会	ソーレ平塚	園長
1/28	法人経営会議	ソーレ平塚	園長
2/5	法人施設運営会議	ソーレ平塚	園長
2/12	通所事業所連絡会	松風園	園長
2/14	県民間知的障害施設協同会 事務研修部会	保土ヶ谷社会福祉協議会	山田
2/14	法人幹部職員研修会<全園者として出席>	ソーレ平塚	園長、伊藤
2/19	秦野市障害者福祉計画策定に係る関係団体ヒアリング	クリーンセンターはだの	園長
2/21	秦野市社会福祉協議会施設部会及び社会 福祉法人経営者懇話会	秦野市保健福祉センター	園長
2/25	法人経営会議	ソーレ平塚	園長
2/27	JSYネット定例会	わらべの杜	園長
2/28	法人幹部研修会<全園者として出席>	ソーレ平塚	園長
3/1	法人理事会	ソーレ平塚	園長
3/1	水害・土砂災害への備えに関するよう配慮者利用 施設管理者向き説明会	秦野市立本町公民館	伊藤
3/12	法人経営会議	ソーレ平塚	園長
3/16	法人評議員会	すこやか園	園長、伊藤
3/22	総括安全衛生委員会	ソーレ平塚	園長

表 2-6

修理、点検、美化等

月日	内容	付記
4/27	ガス器具点検	
4/27	浄化槽くみとり	
5/19	園庭草刈り	育泉会と職員で実施
5/25	バス点検	
6/4、6/19	厨房害虫駆除	
6/8	ピアノの調律	
6/11	害虫駆除	
6/29	バス修理	
7/4	ナスとUPS無停電電源装置の交換	
7/20	ガス交換機の交換	
7/6、21	テレビ配管工事	
7/30	園庭草刈り	
8/7	テレビ設置	
8/24	バス点検	
9/1	LED交換	

9/11	浄化槽点検	
9/11	防災点検	
9/11	扉修理	
9/19	厨房グリストラップ清掃	
9/29	ワックスがけ清掃	
10/20	女子トイレ改修	
10/30	玄関鍵修繕	
11/30	バス点検	
12/4	厨房害虫駆除	
12/12	害虫駆除	
12/20	便座修繕	
12/20	厨房害虫点検	
2/3	植木の剪定	
2/8	打診検査	
3/15	公用車車検	
3/18	防災点検	
3/29	鍵の取り付け	

表 2 - 7 組織図

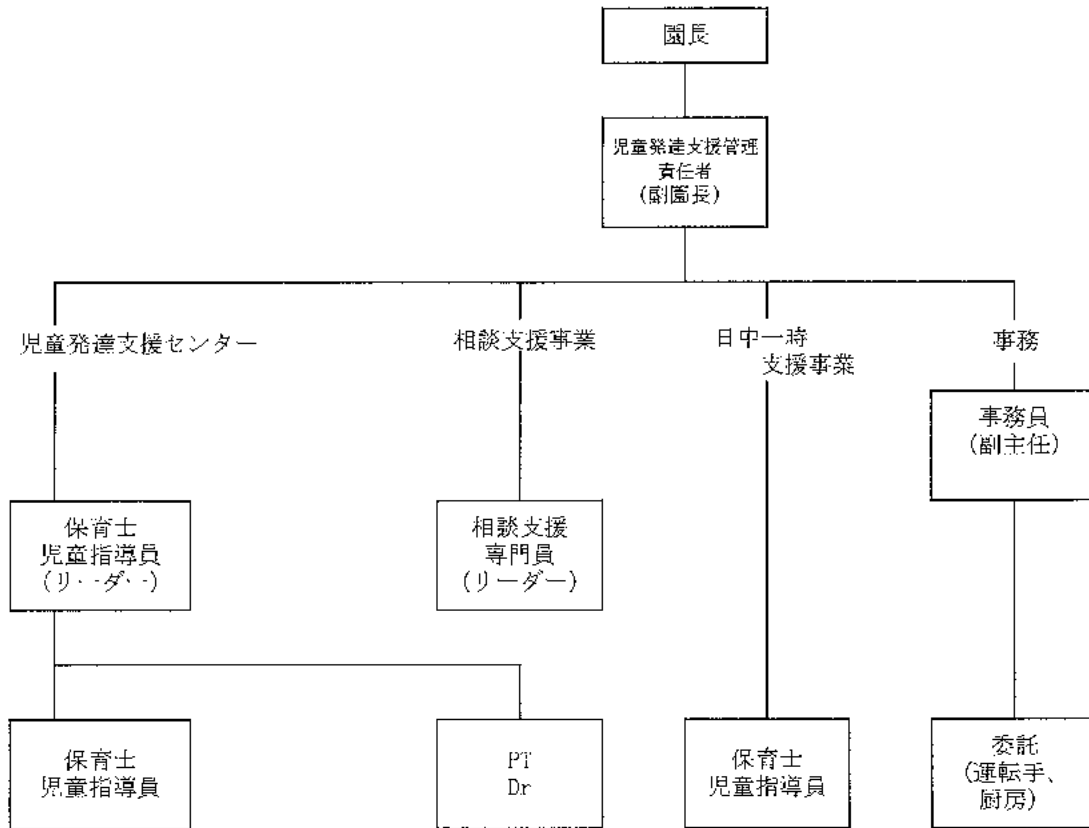


表 2 - 8

職員構成および異動

職 種	平成30年4月1日～平成31年3月31日									平成31年4月1日現在		
	法人内異動・兼務			採用			退職等			常勤	非常勤	委託
	転入	兼務	転出	常勤	非常勤	委託	常勤	非常勤	委託			
園長 (管理者)										1		
副園長										1		
児童指導員					1			1		7	2	
保育士					2					3	4	
相談支援専門員		1 <small>すこやか区 と兼務</small>						1 <small>すこやか区 と兼務</small>				
理学療法士												1
作業療法士						1						1
小児科医師												1
精神科医												1
産業医						1						1
事務員										1		
合計	0	1	0	0	3	1	1	1	0	13	6	5

平成30年度
計 算 書 類

(自)：平成30年 4月 1日

(至)：平成31年 3月31日

神奈川県秦野市菩提507-1

社会福祉法人 至泉会

あけぼの園

資料 2-3

平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人 至泉会

精陽学園

I 福祉型障害児入所施設『精陽学園』

1. 概況

4月当初は、措置・契約入所46名、緊急一時保護（長期）2名の48名でスタートし、3月までの平均在籍人数は、46.6名でした。入所児童の内訳は、次のとおりです。

昨年度から1年間に渡り緊急一時保護を利用していた児童は、児童福祉法第28条の申立てによる審判が行われ、5月17日から措置へ切り替わりました。しかし、措置費支給の基準が1日付であること、措置に切り替わると緊急一時保護の報酬が支給されないことがあり、5月18日から月末までの14日間は、無報酬という結果が生じました。これは、制度上大きな問題であり、この件は、児童相談所等関係機関へ問題提起をしました。

今年度は、年間を通して上記のようなケースや入所日が1日付でないため当月に措置できなかったケース、児童相談所から入所依頼が来ても先方の施設や園児の事情で入所までに時間がかかってしまったケース、定員の割愛の問題、性的事故により措置停止から措置変更になった児童が出てしまった等の理由により、在籍児童数が少なく、収入が当初の見込みより大きく減ってしまい、年間を通して定員を満床にすることができませんでした。【P13 参考資料1～P14 参考資料6 参照】

今年度は、児童同上の関わりにおいて、性的事故が複数回起こったため、生活全般の見直しを行い、居室変更、食事座席変更、居室内の移動制限等のハード面での対策とともに、職員の把握方法の見直し等のため、内部での検討委員会を立ち上げました。また、児童相談所と連携した性教育の実施等の対策を講じ、数回に分けて職員の研修会を実施しました。

職員体制は、常勤職員2名、パート職員から準職員への変更1名、非常勤職員6名を採用しました。7月に法人内の異動があり、園長が変更しました。また、7月中旬より、育児休業していた職員が1名復帰しています。退職は、常勤職員1名、非常勤職員5名でした。【P16 参考資料17 参照】

効率的な記録の実施、情報の共有及び分析、一元化等、業務内容を見直し、向上を図るために、ソーレ平塚が先行導入していた記録ソフトを導入しました。また、リネン業務（寝具一式のリース、シーツ、布団カバー等のクリーニング）に関しては、業者との契約を解約し、寝具一式を購入し、寝具の洗濯は、近隣のクリーニング業者に変更しました。

今年は、猛暑や台風の影響があり、毎年恒例の三人行事の内、キャンプ、秋まつりがともに中止となりました。特に秋まつりの頃（9月下旬）に発生した台風24号は、

当園にも被害を及ぼし、屋根のスレートや雨樋が吹き飛ばされたり、鉄の門扉が倒れたりといった被害を受けましたが、人的な被害はなかったのは不幸中の幸いでした。

2. 運営課題

(1) 平成30年度 運営目標の経過

①利用児童の受け入れと高等部卒業生の地域移行

今年度の平均在籍数は、46.6名でした（昨年度、48.6名）。新規入所児童は、7名で入所前の所在は、乳児院が4名、家庭が2名、重心施設が1名で、入所の理由は、身体的虐待が3名、ネグレクトが2名、養育困難が2名でした。また、入所児童の主たる障がいは、脳性まひが4名、知的障がいが2名、低酸素性虚血性脳症が1名でした。退園者は、8名でその内訳は、前年度卒業生が2名、今年度の卒業生が3名、入所理由が解消し家庭引き取りとなったケースが2名、性的事故により措置変更になったケースが1名でした。退園者のうち、昨年度及び今年度の卒業生の進路の内訳は、一般企業への就職したケース（グループホーム入所）が1名、障害者支援施設へ移行したケースが4名でした。

入所候補児童は、幼児の希望が多く、学齢児の希望は少ない状況です。幼児の場合は、特に健康面を配慮しながら入所調整を行っています。

今年度、高校3年生は4名在籍していましたが、3名は移行先が決まったものの、残りの1名は移行先が見つからず障害者支援施設の枠が空くのを待っている状況で、現在、当園のケースワーカーが児童相談所、福祉事務所と連携して移行先を探していますが、大変厳しい状況となっています。

緊急一時保護は、4名、延べ日数211日でした（昨年度は、6名、延べ日数140日）。この内1名は、措置入所の必要性がありましたが、横浜市の児童であったため、神奈川県からの割愛が得られず、都内の施設へ入所しました。また、1名は、上半期の途中で措置入所に切り替わりました。【P13 参考資料1～P14 参考資料7 参照】

②個別支援計画の推進と療育の実践

個別支援計画書は、本人、家族の意向をしっかりと確認し、確認の取れない場合は、本人の状況を考慮して考えることにより策定しました。本人の思いを取り入れ、具体的で実現可能な内容になるよう配慮し、クラス中心に日々の生活の中で実践しました。

ケース会議については、進路・進学について、課題への対応について、家族支援について等、個別の状況に応じてカンファレンスを開催しました。移行支援については、児童相談所、福祉事務所、相談支援事業所、学校等の関係機関が参加し、一

人あたり複数回の会議を開催し、施設見学を実施しています。

③早期発見、早期対応の健康管理

児童の健康面では、保育士、児童指導員、看護師、栄養士、理学療法士の連携により、一人ひとりの症状や状態の変化を確認し、早い時点での対応を心掛けるとともに、回復後のフォロー、リハビリ体制の充実に配慮しました。通院件数は、1日平均3名以上あり、通院付き添いの調整に苦慮しています。また、入院は、9名、延べ日数276日でした（昨年度は、11名、延べ日数100日）。入院の理由は、クレーブ症候群による発熱及び呼吸苦、股関節脱臼の手術及び術後のリハビリ、膀胱機能検査、胃腸炎のためでした。

感染症の対応については、早期発見、早期対応を心がけ、手洗いうがいの徹底、消毒液の使用、清掃の徹底、床の張替え等の対策を講じてきた成果もあり、集団発生はしませんでした。【P17 参考資料 19～P18 参考資料 22 参照】

④人権と権利擁護

子ども会の活動としては、テレビの録画やDVDプレーヤーのリモコンの使用方法、子ども会でやりたいこと、夏休みの過ごし方、外遊びの注意事項、秋まつりの司会やフリーマーケットの販売員等について話し合いを行うとともに、会の進行や自分の意見を述べたり、人の話を聞いたりする等、コミュニケーションを学ぶ場になっています。

虐待防止対策については、職員間で不適切な関わりや対応の有無を振り返る機会を作り、あわせて身体拘束についても個別支援計画と連動して見直しを行っています。また、性的事故が発生したことを踏まえて、常勤職員および準職員を対象に研修会を実施しました。

園児に対しては、他者との関わり方や他者への思いやり等を学ぶために「生（性）教育」を実施しています。

⑤家族支援と関係機関との連携

入所児童の家族との関わりについては、進路相談、家族の状況確認、兄弟姉妹との関係維持、定期的な面談、心理判定、性教育、在留資格の更新等、児童相談所と連携を取りながら進めてきました。

平塚養護学校、城島小学校との業務連絡会を開催し、情報交換を行いました。

【P20 参考資料 28 参照】

⑥子ども達にとって住みやすい環境に向けた取り組み

建替えに向けて、設計事務所、神奈川県、平塚市等と一昨年度より協議を進め、今後とも情報収集を行って検討していきます。

⑦行政への働きかけ

日本肢体不自由児療護施設連絡協議会の一員として、今年度の厚労省への要望書の内容等について検討しました。平成28年度・平成29年度に実施した厚生労働省科学研究「障害児入所施設の質の向上を検証するための研究会」の成果によるデータを抽出してまとめる予定です。

県知的障害福祉協会児童発達支援部会には、県内全域（14施設）の福祉型障害児入所施設が加盟しており、部会として神奈川県及び市町村（政令指定都市、中核市を除く）に対して、移行支援の対応強化を要望書に載せています。

3. 事業内容

(1) 生活

①児童の成長、発達に応じた支援

一人ひとりの発達に合わせた療育を行う上で、担当が中心として作成する個別支援計画及び、理学療法士、看護師、栄養士、主治医、児童相談所（心理判定）、カウンセラー、教員との情報交換、家族との面談に加え、本人の希望を元に生活を考え、必要に応じて適宜カンファレンスを行い、方針の決定、情報の共有化を図りました。【P24 参考資料 36～P29 参考資料 40 参照】

②理学療法士による機能訓練

子どもの今の生活を見極めると同時に将来の生活を見据えることで、必要な支援やそのために工夫できることを保育士等と情報を共有し、実施できるようにしました。また、一人ひとりの身体機能を評価し、必要に応じて個別プログラムの実施、補装具等の作成、さらに教員にも協力を依頼し、運動を行うことで、運動機能の維持や向上、日常生活動作の改善を図りました。また、歩容の改善を目的とした手術等、必要に応じて主治医と相談し、手術目的を分かりやすく保護者や職員に伝え、手術後のフォローにも務めました。子ども自身へも障がいの理解や受容に対してもアプローチを行い、自らの興味関心、生活の幅を広げられるようにしました。

嘱託医（整形外科）は、月に1回来園し、初診8件、補装具作成48件、手帳の意見書作成9件、定期受診21件、手術関連相談6件を行いました。入所児童に対し、一人あたり年1回から5回、延べ92名が健診を受けました。

(2) 健康管理

一人ひとりの基礎疾患、障がい特性、病状の変化に細心の注意を払い、保育士等との情報交換を元に一歩先を見越した対応を心掛けました。定期通院、緊急通院等においても病院側との交渉を念頭に置き、最善の対応ができるようにしました。家族との連携も日頃から丁寧に行うようにし、要望や意見に応じていきました。日々の夜勤者へ健康面の情報交換、夜間帯での病状等の変化に対応できるようにしまし

た。なお、今年度は、常勤の看護師が1名となったため、夜間のオンコールは、主任が受けるようにして対応しました。また、服薬管理における体制、個々の健康面における対処方法、書類管理等、新たな視点で見直しを行い、効率的な業務が出来るようにしていきました。健康診断は、小児科医及び歯科医に年に2回ずつ、合計4回実施しました。【P17 参考資料 19～P18 参考資料 22 参照】

(3) 栄養管理

一人ひとりの口腔機能に適した食事形態を提供できるようになりました。芳賀歯科医による摂食指導や研修会及び受診時に多くの助言を受け、日々工夫を重ねました。

献立の作成では、季節の食材を多く取り入れ、美味しいと感じられる食事を目指しました。残食の量は平均的に少なく、一人ひとりがしっかりと摂取出来ていると考えられます。身長、体重等の変化に対しては、食事委員会を中心に現状の評価を行い、栄養ケアマネジメントの手法に沿って検討しました。

毎月、栄養士が子どもたちと食育に関する話合いの機会を持ち、季節の野菜の栄養の必要性、外食の栄養のバランス、カルシウム等必要な栄養素等を分かりやすく説明し、食事に関する理解を深めました。個別に指導が必要な児童には、一人ひとりに合わせて話をしました。また、自立生活に向けた食事の相談や調理体験も行いました。

行事食では、慣習行事を中心に目で見て楽しみ、味わって楽しみ、心が潤うように工夫を重ねました。毎月の誕生日会では、選択食を行い、選んで楽しめるようにしました。【P16 参考資料 14 参照】

(4) 幼児教育・学校教育

通園・通学先は、平塚盲学校幼稚部、城島小学校、大住中学校、平塚養護学校の4校です。城島小学校、平塚養護とは業務連絡会を定期的に行い、意見交換を行いました。他の学校では、定期的な三者面談に参加するとともに、個別の問題に対して適宜情報交換を行いました。送迎時の情報交換、連絡帳の交換、電話連絡等、日頃の関係を大切にしてきました。城島小学校では、自力通学に向けた練習も行いました。平塚養護学校の知的障害課程では、登下校時間が異なり、送迎に行く機会が全体的に増え、送迎の予定を組むことが課題になっています。【P13 参考資料 5 参照】

(5) 幼児デイケア（未就学児）・日中活動支援（加齢児）

幼児療育は、年度当初は3名でスタートしましたが、年度途中で4名入所し、最終的には7名で活動しました。室内では、集中して行える活動や運動、感覚統合、音楽リズムを取り入れました。室外では、散歩や公園、遠足に行き、体力を使うことや色々な遊具を使って遊ぶことを行いました。外部との交流としては、定期的に

ソーレ平塚療育園（部屋の借用）に出かけました。また、6月から9月にかけて、年長児があげぼの園に通わせてもらいました。

過齡児の日中活動は、年度当初は2名を対象としてスタートしましたが、6月に1名が成人施設へ移行したため、それ以降は1名で活動しました。利用者の好きな活動に重点を置き、運動、散歩、製作等、プログラムを組み合わせて行いました。地域との交流では、地域活動支援センター平塚二葉会に定期的に通いました。交流行事（遠足）として沼津漁港、アサヒビール南足柄工場に行き、外部の人たちと楽しく過ごすことができました。

（6）子ども会

子ども会の活動は、日常生活の約束事の確認、長期休暇のテレビの時間・就寝時間、自立して配膳を行う事、レクリエーション企画の策定、行事の協力・計画、お正月のメニュー、薬の飲み方、熱中症の予防方法、スマホ・タブレットの使い方等について、毎月話し合いを行いました。園児からの要望等については、必要に応じて、クラス会議、男女棟会議、運営会議等で検討して回答しました。

課題を検討し合うだけでなく、人の話を聞くこと、自分の意見を言える事、会議時間に集中する事等、コミュニケーション方法を学ぶ場面にもなっています。

（7）行事

貴船神社例大祭正調城所太鼓、城島地区子ども大会・レクリエーション大会、城所夏まつり、七五三等、多くの地域行事に参加しました。施設行事では、夏のキャンプ、秋まつり、クリスマス会は、子ども達も企画から参加しましたが、残念ながらキャンプと秋まつりは、台風のため変更を余儀なくされました。キャンプについては、訓練棟での宿泊に変更し、秋まつりについては、外部の方に中止の連絡を入れ、園内関係者のみで実施しました。夏休みには、外食やプール外出、日産労連ふれあい夏まつり、平塚養護学校プール開放（介助付き）、花火大会、ソーレ平塚納涼祭等に参加しました。こどもの日、お月見、餅つき大会、書初め、ひな祭り、誕生会等、慣習行事も行い、楽しく過ごせる機会を作りました。【P21 参考資料 29～参考資料 31 参照】

（8）家族への援助

毎月面会又は外泊が実施できている家庭は27%です。年間1回～10回程度の面会又は外泊が実施できている家庭は51%、保護者不在も含めて実施できていない家庭は22%となっています。昨年度よりも家族との関わりが厳しい子どもが増えており、70%を超える児童は、家族との十分な関わりが持てない状況です。

兄弟姉妹が里親委託、児童養護施設に人所している3名については、児童相談所、施設職員と連携を取り、定期的な面会、外出を実施しました。その内の1名

(女兒)は、昨年度より妹が委託されている里親の協力を得ることが出来るようになり、本児の三日里親としても登録され、今年度も面会、外出等で姉妹交流を行うことが出来ました。

保護者会は、2回実施しました。全体保護者会と個別支援計画を中心とした個々面談を行い、日頃の様子、行事の予定等の情報交換を行いました。恒例のバイキング昼食会では、親子ともに食事を楽しむことができました。【P16 参考資料 16 参照】

(9) 心理担当職員の配置

心理担当職員が1対1で話を聞く機会「こころの時間」を設けています。一人あたり30分から1時間を目安に行っており、日常生活のこと、学校のこと、家族のこと、困っていること、悩んでいること等、様々な話を傾聴しています。また、カウンセラーにより、日常の生活の中から子どもの状態を観察し、カウンセリングを通じて、心の状態や必要な支援の相談を行いました。

4. 事故報告

今年度は、児童同士の関わりにおいて性的事故が4月、5月、8月に複数回起こりましたが、加害児童の内1名は、被害児童の保護者の意向や事故内容が重いものだったため、児童相談所へ一時保護され、8月23日から措置停止となりました。その後、11月30日付で措置解除となり、12月1日付で他の福祉型障害児入所施設へ措置変更となりました。当園では、事故が起こったことを反省し、児童の安心や安全を守るため、二度とこのようなことが起こらない様、事故後、児童相談所とカンファレンスを行い、施設内に事故の検証委員会を立ち上げ、再発防止対策を検討しました。児童相談所と連携した被害児童への心理的ケア、生活環境の見直し(居室変更、食事座席変更、居室内の移動制限等のハード面での対策)、児童の把握方法の改善、加害児童への継続的な指導、年齢や発達に応じた「生(性)教育(児童相談所との連携したものも含む)」等を行っています。また、こうしたことと並行して、被害児童の保護者へ謝罪と今後の対応等について説明を行いました。

職員に対しては、常勤職員および準職員全員を対象に児童相談所の職員を講師(コーディネーター)に招き研修会を4回開催し、再発防止に努めるようにしました。

5. その他

(1) 防災・防犯・事故対策

事故報告書、ひやりはっと報告書に関しては、毎月委員会を開催し、転倒、

誤薬、服薬の忘れ、物品の破損、児童同士の喧嘩や嘔みつき、異食、無断外出等についての原因分析を行い、改善策を講じています。

防犯対策については、各所の見回り、夜間の閉門、玄関錠の追加等を実施しています。

防災対策については、超大型の台風が発生することが多くなり、それに備えた備品を購入するため、「平塚市障がい者地域生活サポート事業補助金（100万円）」を申請し、非常用発電機、非常用ライト等を購入しました。

9月下旬に発生した台風24号は、大型で記録的な強さの台風とのものであったので、当日の夜勤職員を1名増員し、外部に置いてある備品や車を移動する等して備えましたが、屋根のスレート、雨樋、車のドアミラー、エアコンのダクトカバーが風で吹き飛ばされ、鉄の門扉が倒されるなど被害が出ました。幸いにも人的な被害はありませんでしたが、台風通過後、増員した夜勤職員が建物や敷地内の被害状況を確認し、明け方に園長等に連絡を取り、早めに被害の対応をとることができました。

（2）社会貢献活動

社会貢献活動として、昭和60年頃から平塚市城島地区民生委員児童委員協議会と連携して、一人暮らしの高齢者にお弁当の配食サービスを行っています。民生委員が配ることで定期的な安否確認や話し相手、健康の維持にもつながることとして、今年度は、8回（1回あたり30食）行いました。また、これとは別に城島公民館より高齢者教室のお弁当の依頼を1回受けました。【P22 参考資料 32 参照】

（3）ボランティア

ボランティア団体の活動として、日産労連主催によるふれあい夏まつりの開催、もぐら座による人形劇の上演、つくしグループの洗濯物の整理、平塚市利用組合青年部による理髪、東海大学ワークキャンプの子どもたちの遊び相手や行事の付き添い、大住中学校PTA厚生委員会によるテーブル・イス・車いすの清掃等の協力を頂きました。

個人では、衣類の名前付け、子ども達との遊び相手、デイケアの付き添い、外出の付き添い、コンサート等、様々な形で協力を頂きました。職員だけでは出来ないところをボランティアに関わって頂き、とても助かっております。

年間延べ来園数は、500名を超える実績となっています。

（4）寄付等

以下のご寄付を頂きました。

①寄付金…13件 160,871円

②物品等…関東アイスクリーム協会より、アイスクリーム

日産労連より、バスケットゴール、サッカーゴール、

BDレコーダー

その他、多くの方から食品、雑貨等、ご寄付を頂きました。

(5) 施設・設備の管理

電気設備品の故障による機器の買い換えおよび修理を適宜行いました(エアコン、分電盤等)。記録ソフト導入に伴うネットワーク設備の構築、パソコン、iPadを購入しました。また、サーバーのバッテリーを交換しました。

台風24号による屋根の被害は、1,296,000円かかりましたが、全額保険金で対応することができました。

(6) 安全衛生管理

職員の健康診断、毎月の産業医による相談及び、巡回指導、ストレスチェックを行いました。労災は、ありませんでした。

(7) その他

神奈川県より移行支援事業の補助金が廃止、改編され、神奈川県民間障害児施設入所見移行支援促進事業費補助金補助金となり、大幅な減額になりました。

Ⅱ 障害者支援施設『精陽学園』

1. 概況

今年度の日中活動は、過齢児1名（成人契約）、昨年度の3月に高等部を卒業した利用者1名（措置延長）で活動を開始しましたが、6月に1名が退所して以降、残った1名で活動を行いました。活動内容は、散歩（公園や買い物）、カラオケ等の外出、作業については、紙ちぎりでのほり絵制作等を行いました。ボールペン等の組み立て作業は対象者がいないので、今年度も行っていません。

地域との関わりでは、地域活動支援センター平塚二葉会のご協力を得て、週に1回程通所させていただき、沼津漁港とアサヒビール南足柄工場へ合同遠足にも行きました。

2. 事業内容

(1) 日中活動

学校登校日に合わせて活動していますが、休校児童や通院が多くあると活動が難しい時がありました。活動は、主に訓練棟で行い、生活の場面と日中活動の場面を分けるようにしています。成人としての時間を意識できるように、大人としての関わり方に配慮しながら短期入所児童や緊急一時保護の児童も内容によっては、活動に参加しました。

(2) 移行支援

昨年度、高等部を卒業した2名は、1名が4月に一般就労（グループホームに入所）し、もう1名は、6月に障害者支援施設（身障）に移行することができました。今年度、卒業した4名は、3名が6月に障害者支援施設（知的）に移行することができました。3月末現在、移行先が決まっていない方は、2名で、その内1名は、家族が障害者支援施設（知的）への移行を希望していますが、関係機関、家族との連携が難しく移行先が決まらない状況です。

平成25年度から6年間で29名が移行できました。移行先は、療養介護施設5名、障害者支援施設17名（身障9名、知的8名）、グループホーム3名（内就職1名）、大学・専門学校進学（学生寮）2人、就職1名（社員寮）、在宅（フィリピン）1名となっています。

Ⅲ 短期入所事業・日中一時支援事業『精陽学園』

1. 短期入所事業

(1) 受け入れ状況

短期入所の定員は2名で今年度の契約者数は、27名(男子14名、女子13名)です。常時利用されている方は10名(男子5名、女子5名)で、そのうち1名(女子)は、3月に契約入所となりました。今年度の利用は、延べ104名、306日(昨年度は、102名、365日)、利用率は42%(昨年度は、50%)でしたが、昨年度まで定期利用されていた方が高等部卒業後、施設入所、または、成人の短期入所事業を利用することになり、さらに長期利用していた児童が入院したことにより、昨年度よりも利用率が下がっています。今後は、利用率を上げるため、学校や相談支援事業所に状況を伝え、利用者が増加するよう働きかけます。

利用日数は3泊までが全体の87%となっています。男女1名ずつの定員枠を調整して予定を組んでいますが、通学の関係から、土曜日、日曜日に希望が重なる傾向がありました。

(2) 入所理由

入所理由は、レスパイト(家族の休養)が中心となっています。定期的な短期入所サービスを利用して、保護者の負担軽減を図り、平塚養護学校に通学する生徒には、利用中の登下校も当園で行っています。

2. 日中一時支援事業

(1) 受け入れ状況

学齢児の放課後支援(夕食含む)や土日等の日帰りでの利用を行っています。対象地域は、平塚市と秦野市でそれぞれの市と契約しています。

契約者は、現在、女子1名ですが常時利用されておらず、今年度の利用は、ありませんでした(昨年度は、48回)。

(2) 利用しなかった理由

平塚市内外には、放課後等デイサービスの事業所等が34事業所あり、平塚養護学校の多くの生徒は、これらの事業所を選択して利用しており、サービスが充足しているため利用がなかったと思われます。

3. 短期入所の利用状況

(1) 過去10年間の利用状況表

年度	件数	日数
平成21年度	137 件	347 日
平成22年度	123 件	316 日
平成23年度	98 件	190 日
平成24年度	128 件	354 日
平成25年度	124 件	381 日
平成26年度	103 件	335 日
平成27年度	112 件	429 日
平成28年度	126 件	421 日
平成29年度	102 件	365 日
平成30年度	104 件	306 日

※平成20～23年度は、日中一時支援含む。

(2) 理由別・日数別 件数表

理由/日数	2～5日	6～10日	11～15日	合計
家族の休養	99	0	1	100
体験利用	0	0	0	0
家族の仕事	0	0	0	0
その他	4	0	0	4
合計	103	0	1	104

(3) 月別・市町村別 件数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平塚市	3	4	4	4	3	4	3	4	3	4	5	7	48
伊勢原市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
秦野市	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3
厚木市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
茅ヶ崎市	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	0	2	10
藤沢市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鎌倉市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
横浜市	0	1	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	6
寒川町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
中井町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
開成町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	9	9	10	8	7	7	8	8	8	8	13	104

4. 日中一時支援の利用状況

(1) 事業開始以降の利用日数表

年度	日数	年度	日数
平成24年度	16	平成28年度	48
平成25年度	25	平成29年度	38
平成26年度	62	平成30年度	0
平成27年度	58		

(2) 理由別・日数別 件数表

理由/日数	4時間未満	4～8時間	8時間以上	合計
家族の休養	0	0	0	0
父子家庭	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

(3) 月別・市町村別 日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平塚市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
秦野市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

参考資料

1 入所児童の状況 (入所時の年齢)

	入所日	性	年	形態	氏名	児童相談所	入所理由	入所前の所在
1	5月30日	女	2	措置	R.M	県平塚児童相談所	母親からの身体的虐待	乳児院
2	8月31日	女	4	措置	M.H	川崎市こども家庭センター	母親のネグレクト	乳児院
3	9月11日	女	10	緊急	R.K	県小田原児童相談所	母親からの身体的虐待	家庭
4	12月31日	女	3	措置	Y.N	県平塚児童相談所	ネグレクト	乳児院
5	1月27日	女	12	契約	M.M	県平塚児童相談所	養育困難	家庭
6	1月31日	男	4	契約	K.K	県平塚児童相談所	養育困難	乳児院
7	3月20日	男	13	契約	M.M	横浜市西部児童相談所	継父からの虐待の疑い	病院 (重心病棟)

2 退所児童の状況 (退所時の年齢)

	退園日	性	年	形態	氏名	援護機関	退所先	退所理由	在所期間
1	4月9日	女	18	措置	M.N	県中央児童相談所	グループホーム	就職	2年2か月
2	6月20日	女	18	措置	N.I	県厚木児童相談所	障害者支援施設	成人施設移行	14年2か月
3	11月30日	男	15	措置	Y.S	横浜市北部児童相談所	福祉型障害児入所施設	性的事故による措置変更	6年9か月
4	1月16日	女	10	緊急	R.K	県小田原児童相談所	家庭	入所理由解消	4か月
5	3月26日	女	18	措置	H.K	県中央児童相談所	障害者支援施設	成人施設移行	1年5か月
6	3月27日	男	18	措置	T.O	川崎市こども家庭センター	障害者支援施設	成人施設移行	14年9か月
7	3月27日	男	7	措置	S.W	県鎌倉三浦児童相談所	家庭	入所理由解消	4年4か月
8	3月31日	男	18	措置	Y.K	横浜市中央児童相談所	障害者支援施設	成人施設移行	14年

3 年齢 (平成31年3月1日現在)

	3才	4才	5才	6才	7才	8才	9才	10才	11才	12才	13才	14才	15才	16才	17才	18才	19才	20才	21才	合計
男	0	2	1	1	4	2	3	0	2	1	3	2	2	2	2	0	0	0		29
女	2	1	0	1	0	1	0	4	1	1	0	1	1	0	4	2	0	0	1	20
計	2	3	1	2	4	3	3	4	3	2	3	3	3	2	6	4	0	0	1	49

4 通学・通園児童 (平成31年3月1日現在)

	幼	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
男	1	4	2	3	1	1	1	3	2	2	2	2	2	26
女	0	0	1	0	4	1	1	0	1	1	0	4	2	15
計	1	4	3	3	5	2	2	3	3	3	2	6	4	41

5 就学先 (平成31年3月1日現在)

	幼	小	中	高	合計
県立平塚養護学校		10	4	12	26
県立平塚盲学校	1	0	0	0	1
市立大住中学校			5		5
市立城島小学校		9			9
市立土屋幼稚園					0
合計	1	19	9	12	41

6 措置・契約機関 (毎月1日現在の人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
県中央	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	73	措置
	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	契約
県鎌倉三浦	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	措置
県小田原	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	契約
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	措置
県厚木	7	7	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	85	措置
県平塚	3	3	4	4	4	4	4	4	4	5	6	6	51	措置
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	14	契約
相模原市	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	措置
横須賀市	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	措置
横浜市中央	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	措置
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	契約
横浜市南部	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	措置
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	契約
横浜市北部	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	29	措置
横浜市西部	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	措置
川崎市こ	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	31	措置
川崎北部	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	措置
川崎中部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	措置
伊勢原市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	成人契約
合計	46	45	47	46	46	46	46	46	46	47	49	49	559	

7 緊急一時保護 (月の在籍日数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
県厚木	30	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	平成29年4月19日から
横浜市南部	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	平成30年1月19日から
県中央	0	4	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	平成30年5月28日から
県小田原	0	0	0	0	0	20	31	30	31	16	0	0	128	平成30年9月11日から
合計	47	21	15	0	0	20	31	30	31	16	0	0	211	

8 身体障害者手帳 (平成31年3月1日現在)

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
男	8	8	2	2	0	0	20
女	3	5	2	0	0	0	10
計	11	13	4	2	0	0	30

9 療育手帳 (平成31年3月1日現在)

	A1	A2	B1	B2	合計
男	16	0	0	6	22
女	4	5	2	4	15
計	20	5	2	10	37

10 入所前の所在（平成31年3月1日現在）

障害名	男	女	合計
家庭	12	4	16
乳児院	10	9	19
知的障害児施設	1	1	2
肢体不自由児施設	0	1	1
肢体不自由児療護施設	0	0	0
重症心身障害児施設	0	0	0
児童養護施設	1	0	1
病院	2	3	5
一時保護所	3	2	5
その他	0	0	0
合計	29	20	49

11 主たる入所理由（平成31年3月1日現在）

入所理由	男	女	合計
虐待	14	13	27
養育困難	15	7	22
合計	29	20	49

虐待内訳	男	女	計
身体的虐待	6	6	12
ネグレクト	8	3	11
心理的虐待	1	1	2
性的虐待	0	3	3
合計	15	13	28

養育困難内訳	男	女	計
母子家庭	3	2	5
父子家庭	4	0	4
父母の疾患	3	3	6
父母の疲労	2	0	2
その他	2	2	4
合計	14	7	21

12 主たる障害（平成31年3月1日現在）

障害名	男	女	合計
脳性まひ	5	4	9
脳室周囲白質軟化症	1	0	1
硬膜下血腫後遺症	3	2	5
脳出血後遺症	1	1	2
水頭症	1	1	2
先天性筋緊張性ジストロフィ-症	2	0	2
先天性多発腸閉塞症	0	1	1
急性脳症、急性脳炎後遺症	2	0	2
髄膜炎後遺症	1	0	1
裂脳症	1	0	1

障害名	男	女	合計
総排泄腔外反症	1	0	1
多発奇形症候群	1	0	1
ダウン症	1	1	2
低酸素性虚血性脳症	0	1	1
SBS（揺さぶられっこ）症候群	0	1	1
レット症候群	0	1	1
部分13トリソミー	1	0	1
自閉症スペクトラム	3	1	4
知的障害	5	6	11
合計	29	20	49

13 日常生活動作（平成31年3月1日現在）

	移動					食事			着脱衣			入浴			排泄				
	自力歩行	一部介助	全介助	(補装具)	(車いす)	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	(オムツ)	(夜オムツ)
男	17	8	4	5	8	10	16	3	6	12	11	4	4	21	7	4	18	21	0
女	13	3	4	4	4	10	5	5	9	3	8	5	5	10	9	2	9	11	2
計	30	11	8	9	12	20	21	8	15	15	19	9	9	31	16	6	27	32	2
	49					49			49			49			49				

14 食事形態の状況（平成31年3月1日現在）

形態/kcal	900	1100	1300	1500	1700	1900	2000	2500	ヘルシー	合計	御飯の形態	合計
ミキサー	1	0	3	0	1	1	0	0	0	6	お粥ミキサー	0
軟菜	1	2	3	2	0	0	0	0	0	8	お粥	15
一口大	1	6	4	3	4	0	0	0	2	20	普通	33
普通食		1	2	2	7	1	0	1	1	15	ヘルシーライス	1
胃瘻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	3	9	12	7	12	2	0	1	3	49		49

15 在籍年数（平成31年3月1日現在）

	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10	11	12	13	14	15	16	合計
男	2	2	2	2	5	4	2	1	1	1	1	0	2	2	2	0	0	29
女	4	1	2	3	0	1	0	2	0	3	0	0	1	2	0	1	0	20
計	6	3	4	5	5	5	2	3	1	4	1	0	3	4	2	1	0	49

16 帰宅、面会の状況

頻度	男	女	合計
月に1回以上、帰宅・面会あり	4	5	9
月に1回以上、面会のみ	1	3	4
月に1回未満、帰宅・面会あり	9	2	11
月に1回未満、面会のみ	9	5	14
帰宅面会なし	6	5	11
合計	29	20	49

17 職員の採用・退職状況（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	採用										退職											
	常勤		準職員		パート		アルバイト		嘱託		合計	常勤		準職員		パート		アルバイト		嘱託		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
施設長											0											0
児発管											0											0
児童指導員	1	1									2	1										1
保育士				1							1											0
児童生活支援員											0											0
看護師						1		1			2											0
理学療法士											0											0
管理栄養士											0											0
調理員								2			2							2				2
事務員											0											0
介助員								2			2							2				2
用務員								1			1							1				1
カウンセラー											0											0
合計	1	1	0	1	0	1	0	6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0	0

※異動…平成31年3月31日付で児発管（女）1名、児童指導員（女）1名転出

18 平成31年4月1日現在の職員

	常勤		準職員		パート		アルバイト		嘱託		委託		合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
施設長	1												1
見発管	1												1
ケースワーカー	1												1
児童指導員	4	4					2						10
生活児童支援員	1												1
保育士	2	9											11
看護師		1			2		1						4
理学療法士		1											1
医師								1		1			2
(管理)栄養士		2											2
調理員				2		3		5					10
事務員		1				1							2
介助員								5					5
用務員								4				3	7
炊事員								1					1
合計	9	18	0	2	0	6	0	18	1	0	1	3	0

※委託は、清掃業務

19 入院状況 (入院時の年齢)

	氏名	性	年	入院理由	病院	入院日	退院日	入院期間
1	Y.O	男	9	整形手術/リハ	横浜リハ/総合療育	5月7日	8月10日	96日
2	R.K	男	7	整形手術/リハ	こども医療/総合療育	6月4日	7月25日	52日
3	R.K	男	7	グループ症候群	藤沢市民病院	7月25日	7月30日	5日
4	S.N	男	10	腸内視鏡	こども医療	8月2日	8月4日	3日
5	Y.K	女	13	整形手術	北里大学	10月5日	10月12日	8日
6	Y.Y	女	6	整形手術	北里大学	10月12日	11月5日	25日
7	A.S	女	17	整形手術/リハ	横浜リハ/総合療育	11月22日	2月15日	79日
9	H.T	男	9	胃腸炎	平塚市民	3月24日	(4月2日)	8日
	合計							276日

20 休校児童数 (病気及び通院等)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	5	6	6	7	1	23	9	5	7	6	29	7	111
延べ日数	3	7	3	5	19	24	6	7	26	28	25	8	161
入院	0	25	57	60	13	0	28	14	28	28	15	8	276

21 通院状況

病 院		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東海大学病院	人数	25	31	17	15	36	19	19	21	18	23	24	19	267
神奈川県リハビリテーション病院	人数	18	9	13	9	6	5	7	15	11	7	8	11	119
平塚市民病院	人数	2	0	6	2	3	6	0	4	5	2	6	3	39
県立こども医療センター	人数	3	3	4	6	1	2	4	2	1	7	4	3	40
平塚共済病院	人数	6	0	0	4	0	0	0	0	1	3	0	1	15
北里大学病院	人数	6	2	3	3	5	3	5	2	4	3	3	3	42
おしげ皮膚科	人数	0	4	5	1	3	4	4	1	2	2	1	1	28
四ノ宮耳鼻咽喉科	人数	5	2	3	3	0	5	10	10	4	5	6	6	59
くもで小児科	人数	4	5	2	1	1	5	5	7	3	2	2	7	44
藤多パークサイドクリニック	人数	6	6	12	11	13	10	10	6	7	12	10	22	125
芳賀デンタルクリニック	人数	15	13	12	3	12	14	12	9	3	4	8	21	126
高橋眼科	人数	0	1	4	0	1	0	1	0	3	1	1	0	12
久保田整形外科	人数	0	0	6	1	1	2	1	1	5	0	0	0	17
休日診療所	人数	0	1	1	2	0	0	0	2	1	1	0	0	8
茅ヶ崎市民病院	人数	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	3
県立総合療育相談センター	人数	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
横浜市リハビリテーション病院	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	人数	0	0	1	0	7	2	0	1	3	0	1	2	17
合 計	人数	90	77	90	61	90	77	79	81	72	73	74	99	963

22 診療科目通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
小児科	38	25	31	30	34	25	21	33	27	30	27	45	366
耳鼻科	1	2	2	2	6	2	1	2	2	1	4	3	28
歯 科	5	6	6	5	1	6	11	5	3	7	2	6	63
リハビリテーション科	3	3	1	1	1	2	2	2	1			2	18
皮膚科	17	13	9	6	6	10	14	16	10	9	13	7	130
精神科	14	14	14	3	13	14	15	10	5	9	9	23	143
整形外科	1	6	8	6	6	2	4	5	6	7	5	1	57
内 科	0	4	11	2	7	6	5	2	7	2	1	1	48
外 科	5	1	2	3	7	4	2	2	3	3	3	2	37
眼 科	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	4	2	20
泌尿器科	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2		13
脳外科	1	0	1	0	1	1	0	0	2	0	1	2	9
救急外来	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	4
休日診療所	2	0	0	1	3	1	1	0	1	0	2	2	13
その他	0	1	3	0	2	2	0	1	1	1	1	2	14
合 計	90	77	90	61	90	77	79	80	71	73	74	99	963

23 実習生・研修生等の受入・派遣

実習生の受入

	学校名	年	人数	性	実習期間	
1	大原医療秘書福祉保育専門学校	2	1名	女	6月5日	6月15日 10日間
2	聖徳大学短期大学部(通信)	1	1名	女	6月16日	6月27日 11日間
3	鶴見大学短期大学部	2	2名	男女	7月30日	8月10日 11日間
4	YMCA健康福祉専門学校	2	1名	男	8月13日	8月25日 11日間
5	小田原短期大学	2	1名	女	8月20日	8月31日 11日間
6	和洋女子大学	3	1名	女	8月22日	9月3日 12日間
7	鎌倉女子大学	3	2名	女	9月16日	9月27日 11日間
8	和泉短期大学	1	2名	男女	1月15日	1月30日 12日間
9	駒沢女子短期大学	1	1名	女	2月8日	2月19日 11日間
10	和泉短期大学	1	2名	女	2月12日	2月19日 12日間
11	鶴見大学短期大学部	1	2名	男女	2月25日	3月8日 11日間
12	武蔵野大学	2	2名	男女	3月7日	3月19日 12日間
13	湘北短期大学	1	2名	男女	3月8日	3月18日 10日間
14	聖徳大学(通信)	1	1名	男	3月18日	3月29日 11日間
15	関東学院大学	2	1名	女	3月19日	3月31日 12日間

24 研修生等の受入

	研修名	人数	研修期間
1	平塚養護学校教職員研修	12名	7月23日 ~ 8月17日

25 日本肢体不自由児療護施設連絡協議会 職員交換研修

	施設名	人数	性	職種	研修期間	
1	四天王寺太子学園より受入	1名	女	児童指導員	10/24~10/27	4日間
2	おおぞらのいえへ派遣	1名	女	保育士	11/26~11/29	4日間

26 園内研修

日時	内容	場所
6月26日	摂食指導	精陽学園
6月28日	タスクウェア導入説明会①	精陽学園
7月3日	タスクウェア導入説明会②	精陽学園
7月9日	タスクウェア導入説明会③	精陽学園
7月13日	タスクウェア導入説明会④	精陽学園
10月15日	トイレトレーニング研修会	精陽学園
12月7日	安心安全職員研修会①	精陽学園
12月19日	安心安全職員研修会②	精陽学園
1月11日	安心安全職員研修会③	精陽学園
1月25日	安心安全職員研修会④	精陽学園
2月4日	摂食指導	精陽学園

27 園外研修

日時	内容	場所
4月2日	法人新採用オリエンテーション	ソーレ平塚
4月18日	法人人事考課者研修	ソーレ平塚
8月23日	相談支援者現任研修	公文書館
8月23日	脳性まひ児の運動障害の見方	県総合療育相談センター
9月11日	スーパーバイザー研修	県社協
9月14日	県域児童発達支援部会	精陽学園
9月18日	市社協福祉施設部会施設長研修会	平塚市勤労会館
9月20日	相談支援従事者現任研修	県公文書館
9月25日	スーパーバイザー研修	県社協
10月3日	安全運転管理者講習会	市中央公民館
10月10日	障害福祉施設協議会新人研修	あけぼの
10月16日	スーパーバイザー研修	県社協
10月17日	相談支援従事者現任研修	県小田原合同庁舎
10月18日	JSYネット定例会・職員研修会	ソーレ平塚
10月18日	児童福祉職員研修	県社協
10月24日～27日	日肢療連交換職員研修受入	精陽学園
10月25日	児童福祉職員研修	県社協
11月3日	衝動的な行動への理解	東京ファッションタウン
11月7日	障害福祉施設協議会新人研修	県社協
11月7日	児童福祉職員研修	県社協
11月15日	相談支援従事者現任研修	県小田原合同庁舎
11月19日	権利擁護研修	県平塚合同庁舎
11月20日	スーパーバイザー研修	県社協
11月21日	権利擁護研修	県平塚合同庁舎
11月26日～29日	日肢療連職員交換研修派遣	おおぞらのいえ
12月7日	児童発達支援管理責任者研修	相模原南市民ホール
12月11日	相談支援従事者現任研修	県小田原合同庁舎
12月12日	児童福祉職員研修	県社協
12月17日	県障害福祉職員実践報告会	県社協
1月16日	相談支援従事者現任研修	県小田原合同庁舎
1月18日	自立支援協議会こども部会研修	平塚市教育会館
2月1日	こうさいセミナー	弘済学園
2月13日	市社協福祉施設部会職員研修会	サンライフガーデン
2月14日	法人幹部研修会	ソーレ平塚
2月15日	神療協看護職研修	ソーレ平塚
2月21日	指定事業者等指導講習会	県民サポートセンター
2月26日・27日	県強度行動障害支援者実践研修	横浜市技能文化会館
2月26日	児童発達支援管理責任者研修	小田原市民会館
2月27日	JSYネット定例会・職員研修会	わらべの杜
2月28日	法人幹部研修会	ソーレ平塚
3月13日	法人新採用職員研修	ソーレ平塚

28 業務連絡会

日時	内容	場所
5月14日	平塚養護学校との業務連絡会	精陽学園
5月15日	城島小学校との臨時業務連絡会	城島小学校
5月22日	東海大学ワークキャンプ業務連絡会	精陽学園
7月10日	つくしさん(ボランティア)との業務連絡会	精陽学園
10月18日	平塚養護学校との業務連絡会	平塚養護学校
10月18日	県域児相と県域福祉施設との業務連絡会	神奈川県中央児童相談所
10月24日	城島小学校との業務連絡会	精陽学園
11月28日	平塚A部門の進路に関する連絡会	平塚養護学校
1月30日	平塚児相管内心理担当連絡会	おおいそ学園
3月8日	平塚養護学校との業務連絡会	平塚養護学校

29 地域行事

日時	内容	場所
4月29日	貴船神社大祭	貴船神社
5月27日	YES,愛 DO!音楽祭	平塚市立総合体育館
6月17日	城島地区子ども大会	城島小学校
8月4日	夏まつり城所	貴船神社
8月4日	小鍋島八幡神社夏まつり	小鍋島八幡神社
10月7日	城島地区レクリエーション大会	城島小学校
12月8日	ふれあい福祉まつり	すこやか園
12月13日	あけぼの園クリスマス会	あけぼの園
1月12日	木遣り	精陽学園
3月2日・3日	城島公民館まつり	城島公民館
3月9日	城島子ども会いちご狩り	杉山農園

30 学校行事

日時	内容	場所
4月5日	城島小学校入学式	城島小学校
4月5日	平塚養護学校入学式	平塚養護学校
4月5日	大住中学校入学式	大住中学校
4月25日	学校評議員会	城島小学校
5月26日	城島小学校運動会	城島小学校
5月26日	平塚盲学校体育祭	平塚盲学校
5月30日	3校合同引き取り訓練	城島小学校、大住中学校
6月13日	平塚養護学校学校評議員会	平塚養護学校
6月22日	大住中学校厚生委員会来園	精陽学園
7月21日	十屋幼稚園1年生の会	十屋幼稚園
7月23日	平塚養護学校PTA夏まつり	平塚養護学校
9月8日	大住中学校運動会	大住中学校
10月20日	ふれあい音楽会	市中央公民館
11月22日、23日	平塚養護学校文化祭	平塚養護学校
11月30日	大住中学校厚生委員会来園	精陽学園
12月2日	よかよか(太鼓教室)	平塚養護学校
12月8日	城島地区餅つき大会	城島小学校
3月11日	大住中学校卒業式	大住中学校
3月13日	平塚養護学校高等部卒業式	平塚養護学校
3月15日	平塚盲学校卒業式	平塚盲学校
3月19日	平塚養護学校小・中学部卒業式	平塚養護学校
3月20日	城島小学校卒業式	城島小学校

31 園内行事

日時	内容	場所
4月3日	入学・進学を祝う会	精陽学園
5月4日	菖蒲湯、5/5	精陽学園
5月5日	子どもの日スペシャルランチ	精陽学園
5月10日	幼児デイケア遠足	ファンタジーキッズリゾート海老名
6月3日	父母の会	精陽学園
6月8日	職員健康診断(加齢児)	精陽学園
6月17日	にじのコンサート	精陽学園
6月26日	摂食指導、歯科検診	精陽学園
7月1日	内科検診	精陽学園
7月6日	七夕外出	平塚駅周辺
7月28日・29日	キャンプ(台風のため園内で実施)	精陽学園訓練棟
8月5日	日産労連ふれあいまつり	精陽学園
8月7日	遠足	江ノ島水族館
8月19日	ゾーレ平塚納涼祭	ゾーレ平塚
8月22日	遠足	品川アクアパーク
9月15日	遠足	東京方面
9月30日	秋まつり(台風のため園内関係者のみで実施)	精陽学園
10月13日	遠足	金沢自然動物園
10月22日	幼児デイケア遠足	ファンタジーキッズリゾート海老名
10月27日	遠足	金沢自然動物園
10月28日	インフルエンザ予防接種(1回目)	精陽学園
11月4日	七五三	貴船神社
11月11日	保護者会	精陽学園
11月17日	遠足	ディズニールランド
11月25日	インフルエンザ予防接種(2回目)	精陽学園
12月8日	ドルカスベビーホームクリスマス会	ドルカスベビーホーム
12月15日	遠足	サンリオピューロランド
12月28日	餅つき	精陽学園
1月19日	遠足	サンリオピューロランド

32 配食サービス

日時	内容	場所
4月20日	配食サービス	城島公民館
5月18日	配食サービス	城島公民館
6月26日	城島地区社協高齢者教室配食弁当	城島公民館
10月19日	配食サービス	城島公民館
11月16日	配食サービス	城島公民館
12月21日	配食サービス	城島公民館
1月18日	配食サービス	城島公民館
2月15日	配食サービス	城島公民館
3月15日	配食サービス	城島公民館

33 防災訓練

日時	内容	場所
4月14日	火災を想定した児童、利用者の避難誘導・初期消火訓練	精陽学園
5月13日	火災を想定した児童、利用者の避難誘導・初期消火訓練	精陽学園
6月30日	夜間に起きた地震及び火災を想定した児童、利用者の避難誘導・初期消火訓練	精陽学園
7月27日	火災を想定した児童、利用者の避難誘導・初期消火訓練	精陽学園
8月29日	火災を想定した児童、利用者の避難誘導・初期消火訓練	精陽学園
9月9日	地震及び火災を想定した児童、利用者の避難誘導・初期消火訓練	精陽学園
10月4日	火災を想定した児童、利用者の避難誘導・初期消火訓練	精陽学園
10月14日	洪水を想定した児童、利用者の避難誘導訓練	精陽学園
11月14日	実際の消火器を利用した初期消火訓練・児童、利用者の避難誘導・初期消火訓練	精陽学園
12月29日	火災を想定した児童、利用者の避難誘導・初期消火訓練	精陽学園
1月28日	火災を想定した児童、利用者の避難誘導・初期消火訓練、緊急連絡網を使用した緊急通報訓練	精陽学園
2月24日	火災を想定した児童、利用者の避難誘導・初期消火訓練	精陽学園
3月29日	火災を想定した児童、利用者の避難誘導・初期消火訓練、非常食の調理訓練	精陽学園

34 内部会議等

日時	内容	場所
4月2日	全体職員会議	精陽学園
4月2日	リーダーミーティング	精陽学園
4月12日	全体職員会議	精陽学園
4月13日	全体職員会議	精陽学園
4月16日	全体職員会議	精陽学園
4月19日	R・Mさん 入所検討会議	精陽学園
4月19日	クラス会議	精陽学園
4月20日	クラス会議	精陽学園
4月22日	クラス会議	精陽学園
4月23日	クラス会議	精陽学園
4月25日	クラス会議	精陽学園
4月30日	クラス会議	精陽学園
5月1日	生教育係会議	精陽学園
6月8日	生教育係会議	精陽学園
6月11日	生教育係会議	精陽学園
7月10日	生教育係会議	精陽学園
7月23日	生教育係会議	精陽学園
8月17日	生教育係会議	精陽学園
10月4日	生教育係会議	精陽学園
10月15日	Y・Nさん 入所検討会議	精陽学園
10月19日	クラス会議	精陽学園
10月22日	クラス会議	精陽学園
10月25日	クラス会議	精陽学園
10月30日	クラス会議	精陽学園
11月5日	クラス会議	精陽学園
11月7日	K・Kくん 入所検討会議	精陽学園
11月16日	生教育係会議	精陽学園
12月4日	研修プロジェクト 会議	精陽学園
12月5日	検証プロジェクト 会議	精陽学園
12月14日	生教育係会議	精陽学園
2月5日	クラス会議	精陽学園
2月6日	生教育係会議	精陽学園
2月6日	M・Sくん 入所検討会議	精陽学園
2月8日	クラス会議	精陽学園
2月13日	クラス会議	精陽学園
2月14日	クラス会議	精陽学園
2月18日	クラス会議	精陽学園
2月25日	クラス会議	精陽学園

日時	内容	場所
4月3日	法人永年勤続者表彰式	ソーレ平塚
4月3日	市社協福祉施設部会役員会	市社会福祉会館
4月2日	法人辞令交付式	ソーレ平塚
4月3日	弁護士相談	大川宏之弁護士事務所
4月4日	個別対応の相談	大住中学校
4月7日	NPO法人たてば 理事会	平塚二葉会
4月10日	法人施設運営会議	あけぼの園
4月10日	法人施設運営会議	あけぼの園
4月12日	市社協福祉施設部会役員会	市社会福祉会館
4月12日	市社協福祉施設部会監事監査	市社会福祉会館
4月16日	県身障協会計監査	精陽学園
4月17日	県障害福祉施設事業所団体説明会	県民ホール
4月17日	身障協体育委員会	ソーレ平塚
4月19日	法人経営会議	ソーレ平塚
4月19日	法人経営会議	ソーレ平塚
4月20日	神療協施設長会・総会	県社協
4月20日	身障協施設長会・総会	県社協
4月26日	企画政策委員会	県社会福祉協議会
5月1日	法人施設運営会議	精陽学園
5月1日	法人施設運営会議	精陽学園
5月9日	児童発達支援部会引き継ぎ	横浜訓盲院
5月9日	法人機関紙委員会	ソーレ平塚
5月9日	法人機関紙編集委員会	ソーレ平塚
5月10日	ISYネット事務局打合せ	ソーレ平塚
5月16日	城島地区社会福祉協議会総会	城島公民館
5月17日	平塚市社協福祉施設部会総会	グランドホテル神奈中平塚
5月17日	法人規程整備委員会	ソーレ平塚
5月17日	市社協福祉施設部会役員会・総会	グランドホテル神奈中
5月18日	NPO法人たてば 総会	平塚二葉会
5月21日	企画政策委員会	県社会福祉協議会
5月28日	法人経営会議	ソーレ平塚
5月28日	法人経営会議	ソーレ平塚
5月29日	法人監事監査	あけぼの園
5月29日	法人監事監査	あけぼの園
5月30日	ありがとう運営協議会役員会	平塚市社会福祉会館
6月1日	法人理事会	ソーレ平塚
6月4日	平塚市地域福祉計画策定会議	平塚市役所
6月5日	市社協理事会	市社会福祉会館
6月6日	法人施設運営会議	ソーレ平塚
6月14日	法人経営会議	ソーレ平塚
6月14日	福祉ショップありがとう監事監査	ソーレ平塚
6月14日	法人経営会議	ソーレ平塚
6月15日	児童発達支援部会	すみれ園
6月16日	法人評議員会	精陽学園
6月20日	市社協福祉施設部会役員会	カリア桜ヶ丘
6月21日	ありがとう運営協議会役員会	平塚市社会福祉会館
6月21日	福祉ショップありがとう役員会	市社会福祉会館
6月22日	中原保育園評議員会	中原保育園
6月22日	身障協体育委員会	県社協
6月25日	企画政策委員会	県社会福祉会館
6月27日	平塚市福祉施設連絡協議会	平塚市教育会館
6月29日	ありがとう運営協議会総会	平塚市役所
6月29日	福祉ショップありがとう総会	平塚市役所
7月3日	法人施設運営会議	すこやか園
7月5日	身障協体育委員会RV大会後援依頼	県社協他
7月6日	身障協体育委員会RV大会後援依頼	座間市他
7月10日	法人機関紙編集委員会	ソーレ平塚
7月18日	神療協施設長会	県社協
7月18日	身障協施設長会	県社協
7月19日	法人経営会議	ソーレ平塚
7月24日	市障害施設連絡協議会	ソーレ平塚
8月3日	身障協体育委員会	県社協
8月9日	法人施設運営会議	あけぼの園
8月22日	民間社会福祉事業協会施設長会・総会	グランドホテル神奈中
8月23日	法人経営会議	ソーレ平塚
8月26日	身障協体育委員会RV審判講習会	藤沢市太陽の家
9月3日	身障協体育委員会	ソーレ平塚
9月4日	法人施設運営会議	精陽学園
9月11日	平塚市社協理事会	市社会福祉会館
9月18日	市社協福祉施設部会役員会	平塚市勤労会館
9月20日	法人経営会議	ソーレ平塚
9月21日	児童発達支援部会	光海学園
9月21日	身障協体育委員会RV大会前日準備	スカイアリーナ座間

9月27日	身障協体育委員会RV大会	スカイアリーナ座間
9月27日	指定更新面接	神奈川県庁
9月28日	城島地区地域活動推進会議	城島公民館
10月2日	法人施設運営会議	ソーレ平塚
10月3日	平塚市長との話し合い	平塚市役所
10月5日	法人総括安全衛生委員会	ソーレ平塚
10月18日	県及び見相との業務連絡会	県総合療育相談センター
10月18日	JSYネット定例会・職員研修会	ソーレ平塚
10月19日	県社会福祉関係者等表彰	県立青少年センター
10月21日	福祉のしごとフェア	タカシマヤローズホール
10月23日	市社協福祉施設部会役員会	市中央公民館
10月26日	身障協体育委員会	県社協
10月29日	法人経営会議	精陽学園
11月2日	法人理事会	ソーレ平塚
11月6日	法人施設運営会議	すこやか園
11月8日	法人情報管理システム委員会	ソーレ平塚
11月10日	法人評議員会	ソーレ平塚
11月15日	身障協体育委員会	県社協他
11月16日	法人経営会議	ソーレ平塚
11月21日	法人内部監査	精陽学園
11月21日	法人事務員会議	精陽学園
11月28日	児童発達支援部会	弘済学園
12月3日	性的事故カンファレンス	精陽学園
12月6日	市社協福祉施設部会役員会	市社会福祉会館
12月11日	市社協理事会	市社会福祉会館
12月19日	法人情報管理システム委員会	精陽学園
12月19日	JSYネット事務局打合せ	精陽学園
12月23日	法人経営会議	ソーレ平塚
1月8日	法人施設運営会議	精陽学園
1月9日	JSYネット事務局打合せ	精陽学園
1月13日	城島地区賀詞交歓会	城島公民館
1月13日	城島地区地域活動推進会議	城島公民館
1月16日	法人表彰・懲戒委員会	ソーレ平塚
1月23日	法人情報管理システム委員会	ソーレ平塚
1月24日	法人人材育成委員会	ソーレ平塚
1月29日	身障協施設長会	県社協
2月1日	学校評議員会	平塚養護学校
2月4日	平塚市地域福祉計画策定委員会	平塚市役所
2月5日	法人施設運営会議	ソーレ平塚
2月7日	働き方改革関連法説明会	県民ホール
2月12日	学校評議員会	城島小学校
2月12日	サポート事業見直しにかかる説明会	小田原合同庁舎
2月13日	市社協福祉施設部会役員会	サンライフガーデン
2月14日	社会保険労務士との打合せ	ソーレ平塚
2月16日	児童発達支援部会	くるみ学園
2月19日	平塚市民生児童委員推薦会	平塚市役所
2月19日	法人人材育成委員会	ソーレ平塚
2月25日	法人経営会議	ソーレ平塚
2月27日	JSYネット定例会・職員研修会	わらべの社
3月1日	法人理事会	ソーレ平塚
3月6日	共同募金会平塚支会・常任委員会	市社会福祉会館
3月7日	障害保健福祉関係主管課長会議	厚生労働省
3月12日	法人経営会議	ソーレ平塚
3月12日	市社協福祉施設部会役員会	市社会福祉会館
3月14日	法人情報管理システム委員会	ソーレ平塚
3月16日	法人評議員会	すこやか園
3月21日	法人就職説明会	すこやか園
3月22日	法人総括安全衛生委員会	すこやか園
3月23日	卒園式	あけぼの園

36 園内カンファレンス

日時	内容	場所
4月9日	性的事故 園内カンファレンス	精陽学園
4月18日	S・Nくん 園内カンファレンス	精陽学園
4月25日	H・Iくん 園内カンファレンス	精陽学園
5月7日	Y・Hくん 園内カンファレンス	精陽学園
5月18日	今年度手術予定者についての話し合い	精陽学園
5月29日	H・Kさん 園内カンファレンス	精陽学園
7月13日	R・Mさん 園内カンファレンス	精陽学園
8月10日	S・Nくん 園内カンファレンス	精陽学園
8月19日	性的事故園内カンファレンス	精陽学園
8月22日	K・Yくん 園内カンファレンス	精陽学園
8月28日	Y・Sくん 園内カンファレンス	精陽学園
8月31日	Y・Hくん 園内カンファレンス	精陽学園
9月29日	H・Iくん 園内カンファレンス	精陽学園

10月22日	Y・Hくん 園内カンファレンス	精陽学園
11月29日	R・Mさん 園内カンファレンス	精陽学園
12月4日	Y・Hくん 園内カンファレンス	精陽学園
12月19日	Y・Hくん 園内カンファレンス	精陽学園
12月19日	H兄弟 園内カンファレンス	精陽学園
12月21日	S・Kくん 園内カンファレンス	精陽学園
1月18日	H・Tくん 園内カンファレンス	精陽学園

37 関係機関とのカンファレンス等

日時	内容	場所
4月3日	E・Hさん カンファレンス	精陽学園
4月3日	S・Wくん カンファレンス	精陽学園
4月3日	R・Oくん 性的事故情報交換・面接	精陽学園
4月4日	S・Wくん カンファレンス	精陽学園
4月8日	M・Nさん GIJ契約	第二貴峯館
4月9日	性的事故 関係機関カンファレンス	精陽学園
4月11日	M・Sくん 情報交換	精陽学園
4月11日	S・Hくん 平養との話し合い	平塚養護学校
4月17日	R・Mさん ケース説明会	精陽学園
4月18日	Y・Yさん 情報交換	精陽学園
4月18日	N・Yくん 情報交換	精陽学園
4月19日	S・Wくん 児相との話し合い	精陽学園
4月20日	K・Yくん 児相面会	精陽学園
4月20日	E・Hさん 情報交換	精陽学園
4月25日	H・Tくん 情報交換・面会	精陽学園
4月25日	R・Oくん 児相との話し合い	精陽学園
5月1日	K・Hさん 情報交換	精陽学園
5月7日	R・Sくん ケース説明会	精陽学園
5月7日	H・Eさん 保護者面接	精陽学園
5月7日	S・Wくん 児相との話し合い	精陽学園
5月10日	R・Mさん ケース説明会	さらし
5月11日	H・Eさん 保護者面接・役所手続き	伊勢原市役所
5月11日	S・Mくん 情報交換	精陽学園
5月11日	S・Nさん 情報交換	精陽学園
5月11日	R・Nくん 情報交換	精陽学園
5月15日	性的事故関係機関合同カンファレンス	精陽学園
5月15日	S・Nくん 城島小との話し合い	城島小学校
5月18日	性的事故関係機関合同カンファレンス	精陽学園
5月22日	M・Mさん 情報交換	精陽学園
5月22日	S・Nくん 情報交換	精陽学園
5月22日	N・Iさん 情報交換	精陽学園
5月24日	H・Eさん 保護者面接・役所手続き	伊勢原市役所
5月24日	E・Iさん 情報交換	精陽学園
5月28日	N・Yくん 情報交換	精陽学園
5月31日	S・Kくん 情報交換	精陽学園
5月31日	R・Kくん 情報交換	精陽学園
6月1日	A・Nくん 情報交換	精陽学園
6月6日	S・Wくん 合同ミーティング	鎌倉三浦地域児童相談所
6月6日	I・Hくん 家庭支援カンファレンス	精陽学園
6月7日	H・Kくん 情報交換	精陽学園
6月7日	A・Sさん 情報交換	精陽学園
6月12日	K・Nくん 情報交換	精陽学園
6月12日	H・Eさん 保護者面接	精陽学園
6月12日	E・Hさん 情報交換	精陽学園
6月13日	M・Oくん 保護者面接	清川村役場
6月14日	E・Hさん 合同ミーティング	精陽学園
6月20日	N・Yくん 情報交換	精陽学園
6月25日	M・Oくん 保護者面接	精陽学園
6月26日	M・Oくん 保護者面接・相談	厚木年金事務所
6月27日	S・Nさん 情報交換	精陽学園
6月27日	R・Nさん 情報交換	精陽学園
7月2日	性的事故関係機関合同カンファレンス	精陽学園
7月4日	S・Wくん 合同ミーティング	鎌倉三浦地域児童相談所
7月4日	Y・Kさん 情報交換	精陽学園
7月5日	T・Oくん 判定会議	井田障害者センター
7月11日	H・Hさん 情報交換	精陽学園
7月11日	O・Yくん 情報交換	精陽学園
7月11日	Y・Yさん 情報交換	精陽学園
7月11日	I・Aくん 情報交換	精陽学園
7月17日	Y・Rさん 情報交換	精陽学園
7月18日	E・Hさん 合同ミーティング	精陽学園
7月19日	性的事故関係機関合同カンファレンス	精陽学園
7月20日	R・Mさん 情報交換	精陽学園
7月22日	H・Hさん ご家族・児相との話し合い	精陽学園
7月23日	E・Iさん 情報交換	精陽学園

7月24日	H・Kくん 合同ミーティング	精陽学園
8月3日	I・Hくん 情報交換	精陽学園
8月6日	S・Hくん 児相とのカンファレンス	精陽学園
8月9日	K・Yくん 情報交換	精陽学園
8月10日	H・Iくん 情報交換	精陽学園
8月10日	A・Sさん 情報交換	精陽学園
8月10日	A・Nくん 情報交換	精陽学園
8月14日	R・Kくん 情報交換	精陽学園
8月15日	N・Yくん 情報交換	精陽学園
8月15日	M・Sさん 情報交換	精陽学園
8月16日	S・Nくん 関係機関カンファレンス	精陽学園
8月16日	H・Kさん 関係機関カンファレンス	精陽学園
8月17日	R・Mさん 関係機関カンファレンス	平塚児童相談所
8月28日	K・Yくん 合同ミーティング	精陽学園
8月28日	A・Iさん 情報交換	精陽学園
8月29日	性的事故関係機関合同カンファレンス	精陽学園
8月31日	F・Hさん 合同ミーティング	精陽学園
9月6日	性的事故関係機関合同カンファレンス	精陽学園
9月6日	Y・Hくん カンファレンス	精陽学園
9月6日	K・Kくん ケース説明会	精陽学園
9月12日	R・Kさん 情報交換	精陽学園
9月13日	Y・Sくん 訪問・面接	横浜市中央児童相談所
9月14日	S・Hくん 児相とのカンファレンス	精陽学園
9月14日	A・Nくん 情報交換	精陽学園
9月18日	S・Iくん 合同ミーティング	厚木児童相談所
10月4日	性的事故関係機関合同カンファレンス	精陽学園
10月4日	安心安全プロジェクトミーティング	精陽学園
10月4日	H・Kさん 保護者面接	精陽学園
10月5日	H・Yさん 情報交換	精陽学園
10月9日	N・Yくん 情報交換	精陽学園
10月10日	E・Hさん 合同ミーティング	精陽学園
10月10日	H兄弟 合同ミーティング	精陽学園
10月11日	S・Hくん 児相とのカンファレンス	精陽学園
10月12日	R・Mさん 情報交換	精陽学園
10月15日	A・Sさん 保護者面接	精陽学園
10月19日	R・Kさん 情報交換	精陽学園
10月22日	R・Kさん 合同ミーティング	精陽学園
10月23日	H・Hさん 情報交換	精陽学園
10月25日	S・Wくん 合同ミーティング	鎌倉市福祉センター
10月25日	Y・Hくん カンファレンス	精陽学園
10月25日	E・Hさん 情報交換	精陽学園
10月28日	S・Hくん 保護者話し合い	精陽学園
10月29日	I・Kさん 秦野精華園入所相談	秦野精華園
10月30日	安心安全プロジェクト 話し合い	精陽学園
10月31日	R・Mさん 情報交換	精陽学園
10月31日	R・Oくん 情報交換	精陽学園
11月6日	Y・Hくん 情報交換	精陽学園
11月12日	安心安全プロジェクト 話し合い	精陽学園
11月12日	E・Iさん 情報交換	精陽学園
11月13日	R・Kさん 向田小学校教員訪問	精陽学園
11月14日	K・Hさん 情報交換	精陽学園
11月15日	H・Iくん 関係機関カンファレンス	精陽学園
11月21日	K・Kくん 関係機関カンファレンス	精陽学園
11月26日	S・Hくん 情報交換	精陽学園
11月29日	R・Mさん 関係機関カンファレンス	精陽学園
12月3日	性的事故関係機関合同カンファレンス	精陽学園
12月3日	Y・Rさん 情報交換	精陽学園
12月4日	T・Oくん 児相との話し合い	精陽学園
12月5日	I・Hくん 合同ミーティング	精陽学園
12月5日	J・Aくん 情報交換	精陽学園
12月11日	Y・Sくん ぶどうの実訪問	ぶどうの実
12月12日	E・Hさん 合同ミーティング	精陽学園
12月12日	R・Kさん 合同ミーティング	精陽学園
12月12日	M・Hさん 情報交換	精陽学園
12月14日	S・Hくん 合同ミーティング	厚木児童相談所
12月14日	R・Mさん 情報交換	精陽学園
12月14日	E・Hさん 情報交換	精陽学園
12月22日	Y・Oくん 情報交換	精陽学園
12月26日	N・Yくん 情報交換	精陽学園
12月27日	Y・Nさん 情報交換	精陽学園
1月3日	H・Kさん 保護者話し合い	精陽学園
1月15日	S・Wくん 合同ミーティング	鎌倉市福祉センター
1月18日	M・Mさん ケース説明会	精陽学園
1月18日	E・Hさん 情報交換	精陽学園
1月20日	M・Mさん 合同ミーティング	精陽学園

1月25日	H・Jさん 情報交換	精陽学園
2月4日	H・Kさん 移行支援会議	秦野精華園
2月6日	A・Nくん 情報交換	精陽学園
2月6日	N・Yくん 情報交換	精陽学園
2月10日	S・Kくん 合同ミーティング	精陽学園
2月18日	T・Oくん 柿生学園入所調整会議	柿生学園
2月19日	S・Wくん 合同ミーティング	精陽学園
2月19日	M・Mさん 情報交換	精陽学園
2月21日	H・Kさん 相談支援「せいか」職員訪問	精陽学園
2月22日	R・Nくん 情報交換	精陽学園
2月28日	S・Hくん 情報交換	精陽学園
3月5日	E・Iさん 合同ミーティング	精陽学園
3月6日	Y・Sくん ケースカンファレンス	平塚養護学校
3月7日	S・Hくん 合同ミーティング	原木児童相談所
3月7日	E・Iさん 合同ミーティング	相模原市児童相談所
3月8日	S・Wくん 合同ミーティング	鎌倉市福祉センター
3月8日	H・Kさん 相談支援「せいか」職員訪問	精陽学園
3月10日	E・Hさん 話し合い	精陽学園
3月10日	S・Wくん 話し合い	精陽学園
3月11日	A・Nくん 情報交換	精陽学園
3月11日	安心安全プロジェクト話し合い	精陽学園
3月15日	M・Sくん ケース説明会	精陽学園
3月20日	M・Mさん 情報交換	精陽学園
3月22日	Y・Sくん ケースカンファレンス	平塚養護学校
3月22日	A・Aさん ケース説明会	精陽学園

38 加齢児の移行支援カンファレンス等

日時	内容	場所
4月2日	M・Nさん 就職先訪問	JA湘南経済センター
4月23日	H・Eさん 移行カンファレンス	精陽学園
5月8日	N・Iさん 足柄療護園職員訪問	精陽学園
5月18日	H・Eさん すぎなの郷施設見学	すぎなの郷
5月22日	H・Eさん 清川ホーム施設見学	清川ホーム
6月4日	N・Iさん 移行カンファレンス	精陽学園
6月25日	H・Eさん すぎなの郷施設見学	すぎなの郷
6月26日	H・Eさん GHやしの木施設見学	GHやしの木
7月19日	Y・Oさん アフターフォロー	町田デザイン専門学校
9月18日	H・Eさん 素心学院施設見学	素心学院
10月4日	M・Nさん アフターフォロー	第二貴峯館
10月6日	M・Nさん アフターフォロー	平塚駅
10月26日	H・Eさん みどり園施設見学	みどり園
11月5日	Y・Oさん アフターフォロー	町田デザイン専門学校
11月18日	Y・Oさん アフターフォロー	精陽学園
11月27日	H・Eさん 障害支援区分認定調査	精陽学園
12月18日	M・Nさん アフターフォロー	第二貴峯館
1月25日	N・Iさん アフターフォロー	足柄療護園
2月12日	H・Eさん 移行カンファレンス	精陽学園

39 在学生等の移行支援カンファレンス等

日時	内容	場所
4月10日	ドルカスベビーホーム職員来園	精陽学園
4月24日	平塚養護学校在籍児童移行話し合い	平塚養護学校
4月25日	ドルカスベビーホーム職員来園	精陽学園
5月9日	H・Kさん 移行カンファレンス	平塚養護学校
5月9日	K・Nくん 訪問	きらり
5月10日	R・Mさん ケース説明会	きらり
5月17日	A・Jくん ご自宅家庭訪問	JPくん保護者宅(磯子区)
5月18日	R・Mさん 慣らし保育	精陽学園
5月24日	R・Mさん 慣らし保育	精陽学園
5月25日	Y・Kくん 移行カンファレンス	鶴見区役所
5月25日	R・Sくん 訪問	聖園ベビーホーム
5月28日	T・Oくん 移行カンファレンス	精陽学園
5月31日	A・Hさん 移行カンファレンス	精陽学園
6月6日	H・Kさん 実習先事前訪問	秦野精華園
6月8日	新入学生就学相談	精陽学園
6月11日	T・Oくん 障害支援区分認定調査	井田障害者センター
6月15日	Y・Kくん 恵和青年寮施設見学	恵和青年寮
6月15日	M・Hさん 訪問	しゃんぐりらベビーホーム
6月19日	Y・Kくん てらん広場施設見学	てらん広場
6月21日	H・Hさん 移行カンファレンス	県中央児童相談所
7月3日	O・Yくん 平塚養護学校見学	平塚養護学校
7月5日	A・Hさん 愛名やまゆり園施設見学	愛名やまゆり園
7月5日	M・Hさん 慣らし保育	精陽学園
7月6日	M・Kくん 移行カンファレンス	精陽学園

7月11日	H・Kさん 移行カンファレンス	平塚養護学校
7月12日	H・Yさん 移行カンファレンス	精陽学園
7月12日	M・Hさん 慣らし保育	精陽学園
7月13日	M・Mさん 移行カンファレンス	精陽学園
7月13日	R・Mさん アフターフォロー	精陽学園
7月18日	A・Hさん 湘南希望の郷施設見学	湘南希望の郷
7月19日	M・Hさん 慣らし保育	精陽学園
8月6日	A・Sさん 移行カンファレンス	精陽学園
8月8日	M・Mさん 松下園施設見学	松下園
8月14日	A・Hさん 障害支援区分認定調査	精陽学園
8月20日	T・Oくん 七沢学園施設見学	七沢学園
8月21日	M・Kくん 永耕園施設見学	永耕園
8月21日	M・Kくん ほうあんふじみのさと施設見学	ほうあんふじみのさと
8月22日	Y・Kくん 白根の里施設見学	白根の里
8月24日	M・Kくん よるべ沼代施設見学	よるべ沼代
8月24日	M・Kくん 竹の子学園施設見学	竹の子学園
8月27日	M・Mさん みんなの広場施設見学	みんなの広場
8月27日	T・Oくん 川崎授産学園施設見学	川崎授産学園
8月29日	I・Yさん クロスハートハイツ施設見学	GIクロスハートハイツ
8月30日	野百合園施設見学(CWのみ)	野百合園
9月4日	J・Aくん 移行カンファレンス	横浜市中央児童相談所
9月5日	A・Hさん 移行カンファレンス	平塚養護学校
9月6日	H・Kさん 移行カンファレンス	平塚養護学校
9月12日	Y・Yさん 平塚養護学校見学	平塚養護学校
9月19日	平塚養護学校在籍児童移行話し合い	平塚養護学校
9月21日	神奈川 後保護施設施設見学(CWのみ)	神奈川後保護施設
9月25日	H・Kさん 移行カンファレンス	平塚養護学校
9月27日	平塚養護学校在籍児童移行話し合い	平塚養護学校
9月27日	Y・Kくん てらん広場来訪	平塚養護学校
10月12日	Y・Nさん 訪問	ドルカスベビーホーム
10月15日	H・Kさん 七沢学園施設見学	七沢学園
10月23日	I・Kさん 実習見学会	妻野精華園
11月1日	A・Hさん 平養教員訪問	精陽学園
11月2日	H・Hさん さがみ緑風園施設見学	さがみ緑風園
11月5日	K・Kくん 訪問	聖園ベビーホーム
11月7日	O・Yくん 平塚養護学校入学相談	平塚養護学校
11月9日	H・Hさん ソーレ平塚施設見学	ソーレ平塚
11月13日	Y・Nさん 慣らし保育	精陽学園
11月15日	A・Sさん 移行カンファレンス	精陽学園
11月16日	M・Kくん 移行カンファレンス	精陽学園
11月16日	M・Kくん 障害支援区分認定調査	精陽学園
11月20日	H・Kさん 移行カンファレンス	平塚養護学校
11月20日	平塚養護学校在籍児童移行話し合い	平塚養護学校
11月21日	A・Hさん 愛名やまゆり園職員訪問	精陽学園
11月27日	H・Yさん 移行カンファレンス	精陽学園
11月29日	平塚養護学校在籍児童移行話し合い	平塚養護学校
11月30日	Y・Nさん 慣らし保育	精陽学園
12月1日	Y/Sくん 退園対応	ぶどうの実
12月3日	K・Kくん 慣らし保育	聖園ベビーホーム
12月6日	Y・Nさん 慣らし保育	精陽学園
12月7日	H・Jさん 移行カンファレンス	精陽学園
12月10日	J・Aくん 移行カンファレンス	横浜市中央児童相談所
12月13日	A・Hさん 湘南希望の郷職員訪問	平塚養護学校
12月13日	Y・Nさん 慣らし保育	精陽学園
12月15日	K・Kくん 慣らし保育	聖園ベビーホーム
12月17日	Y・Nさん 慣らし保育	精陽学園
12月18日	T・Oくん 柿生学園アセスメント	柿生学園
12月19日	A・Hさん 移行カンファレンス	平塚養護学校
12月21日	K・Kくん 慣らし保育	精陽学園
1月7日	K・Kくん 慣らし保育	精陽学園
1月8日	H・Hさん 障害支援区分認定調査	精陽学園
1月9日	J・Aくん 移行カンファレンス	横浜市中央児童相談所
1月9日	T・Oくん 川崎授産学園アセスメント	川崎授産学園
1月9日	Y・Nさん アフターフォロー	精陽学園
1月16日	K・Kくん 慣らし保育	精陽学園
1月23日	K・Kくん 慣らし保育	精陽学園
1月30日	K・Kくん アフターフォロー	精陽学園
1月31日	K・Kくん アフターフォロー	精陽学園
2月1日	M・Sくん 訪問	長野小緒高原病院
2月2日	K・Kくん アフターフォロー	精陽学園
2月6日	K・Kくん アフターフォロー	精陽学園
2月7日	A・Hさん 湘南希望の郷職員訪問	精陽学園
2月8日	K・Kくん 就園相談	平塚市役所学務課
2月12日	E・Hさん 家庭訪問	ご自宅

2月13日	K・Kくん アフターフォロー	精陽学園
2月14日	H・Yさん 障害支援区分認定調査	精陽学園
2月15日	R・Iくん 移行カンファレンス	精陽学園
2月18日	T・Oくん 移行カンファレンス	川崎市中原区役所
2月19日	H・Hさん 足柄療護園職員訪問	精陽学園
2月19日	A・Hさん 足柄療護園職員訪問	精陽学園
2月22日	K・Kくん アフターフォロー	精陽学園
2月25日	H・Iくん 移行カンファレンス	精陽学園
3月5日	K・Kくん アフターフォロー	精陽学園
3月6日	J・Aくん 障害支援区分認定調査	精陽学園
3月8日	Y・Kくん 移行カンファレンス	平塚養護学校
3月14日	平塚養護学校在籍児童移行話し合い	平塚養護学校
3月15日	Y・Kくん 移行カンファレンス	横浜市鶴見区役所
3月15日	M・Mさん 秦野精華園GH施設見学	秦野精華園GH
3月19日	A・Sさん 移行カンファレンス	精陽学園
3月25日	H・Iくん たっちほがや施設見学	たっちほがや
3月27日	T・Oくん 移行	柿生学園

40 関係機関による面接・心理判定等

日時	内容	場所
4月3日	R・Oくん 性的事故情報交換・面接	精陽学園
4月5日	E・Hさん 心理判定	平塚児童相談所
4月9日	H・Eくん 児相面接	精陽学園
4月13日	J・Aくん 児相面接	精陽学園
4月18日	H・Iくん 児相面接	精陽学園
4月19日	Y・Sくん 児相面接	精陽学園
4月24日	Y・Hくん 児相面接	精陽学園
4月26日	M・Kくん 心理判定	精陽学園
5月10日	R・Oくん 児相面接	精陽学園
5月15日	Y・Hくん 心理判定	精陽学園
5月17日	Y・Yさん 心理判定	精陽学園
5月28日	S・Wくん 心理判定	精陽学園
6月1日	Y・Hくん 児相面接	精陽学園
6月5日	R・Oくん 児相面接	精陽学園
6月10日	S・Nくん 児相面接	精陽学園
6月18日	S・Nくん 心理判定	横浜市南部児童相談所
6月19日	R・Oくん 児相面接	精陽学園
6月28日	T・Oくん 心理判定	平塚養護学校
6月30日	S・Nくん 児相面接	精陽学園
8月2日	S・Nさん 心理判定	精陽学園
8月6日	E・Hさん 心理面接	精陽学園
8月15日	Y・Oくん 心理判定	精陽学園
8月17日	H・Hさん 重心認定	精陽学園
8月20日	Y・Hくん 児相面接	精陽学園
8月24日	E・Iさん 児相面接	精陽学園
8月27日	E・Iさん 児相面接	精陽学園
9月14日	R・Kさん 心理判定	精陽学園
9月16日	S・Nくん 児相面接	精陽学園
9月20日	R・Kさん 児相面接	精陽学園
9月21日	S・Mくん 心理判定	精陽学園
9月25日	R・Kさん 児相面接	精陽学園
9月25日	S・Kくん 心理判定	精陽学園
10月5日	R・Kさん 児相面接	精陽学園
10月9日	H・Yさん 心理判定	精陽学園
10月17日	S・Nさん 児相面接	精陽学園
10月24日	R・Kさん 児相面接	精陽学園
10月26日	M・Sさん 心理判定	精陽学園
10月31日	R・Kさん 児相面接	精陽学園
11月7日	R・Kさん 児相面接	精陽学園
11月16日	R・Kさん 児相面接	精陽学園
11月22日	R・Kさん 児相面接	精陽学園
11月26日	N・Yくん 心理判定	精陽学園
11月27日	R・Kさん 児相面接	精陽学園
11月30日	E・Hさん 心理面接	精陽学園
12月4日	Y・Hくん 児相面接	精陽学園
12月7日	R・Kさん 児相面接	精陽学園
12月14日	Y・Hくん 児相面接	精陽学園
12月28日	R・Kさん 児相面接	精陽学園
1月7日	H・Kさん 心理判定	平塚児童相談所
1月15日	R・Kさん 児相面接	精陽学園
1月24日	H・Iくん 児相面接	精陽学園
2月14日	Y・Hくん 児相面接	精陽学園
2月22日	S・Nさん 児相面接	精陽学園
3月8日	E・Hさん 児相面接	精陽学園

3月12日	T・Oくん 柿生学園面接	柿生学園
3月12日	H・Iくん 心理判定	精陽学園
3月14日	S・Nさん 児相面接	精陽学園
3月26日	E・Hさん 児相面接	精陽学園
3月27日	I・Hくん 心理判定	精陽学園
3月29日	A・Sさん 児相面接	精陽学園
3月29日	H・Iくん 児相面接	精陽学園

41 家族との交流等

日時	内容	場所
4月8日	Y・Sくん 家族交流	聖蹟桜ヶ丘駅
4月19日	S・Wくん 家族交流	精陽学園
4月25日	E・Hさん 母方祖父 母交流	精陽学園
5月7日	S・Wくん 家族交流	精陽学園
5月16日	S・Wくん 家族交流	精陽学園
5月21日	S・Wくん 家族交流	精陽学園
5月27日	Y・Sくん 家族交流	聖蹟桜ヶ丘駅
6月7日	Y・Sくん 母子交流	横浜市北部児童相談所
7月20日	Y・Oくん 家族交流	精陽学園
8月5日	Y・Sくん 家族交流	聖蹟桜ヶ丘駅
9月16日	Y・Oくん 母子交流	精陽学園
10月23日	Y・Oくん 家族交流	精陽学園

42 退園者へのアフターフォロー

日時	内容	場所
4月2日	M・Nさん 就職先訪問	JA湘南経済センター
5月8日	N・Iさん 足柄療護園職員訪問	精陽学園
7月19日	Y・Oさん アフターフォロー	町田デザイン専門学校
10月4日	M・Nさん アフターフォロー	第二貴峯館
10月6日	M・Nさん アフターフォロー	平塚駅
11月5日	Y・Oさん アフターフォロー	町田デザイン専門学校
11月18日	Y・Oさん アフターフォロー	精陽学園
12月8日	Y・Sくん アフターフォロー	ぶどうの実
12月18日	M・Nさん アフターフォロー	第二貴峯館
1月25日	N・Iさん アフターフォロー	足柄療護園

資料 2-4

平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人 至泉会

ソーレ平塚

I 障害者支援施設（施設入所支援・生活介護）『ソール平塚』

1. 概況

平成 11 年 4 月に事業を開始してから 20 年が経過しました。開所当時から在籍されている方は、51 名中 25 名です。入所者は、男性 28 名、女性 23 名、最高年齢の利用者は、79 歳になりました。65 歳以上の利用者は、27 名で全利用者の 53% となり、平均年齢は 60 歳です。今年度は、病気による死亡、常時医療ケアが必要となり病院へ転院した 2 名が退所しました。新規契約者は、在宅から 1 名入所しました。

高齢化による疾患、医療的なケアの必要性が高まり、入院、通院が増える傾向が顕著になっています。入退院の際には、施設で対応できる健康状態の範囲と病院での入院基準の判断が異なることもあり、施設の状況を理解して頂けるように苦慮しました。生活の中でも、障がいの進行や重度化もあり、日常的な介助量が増え、見守りを含めた状況確認の頻度、バイタルサイン測定等、生活支援員と看護師との連携がより重要になってきました。そのため、情報共有ツールとしての記録ソフトを有効に活用しています。

職員体制は、年度当初より必要な職員数の確保が困難であり、常時募集をしていますが、採用に至らない状況が継続しています。夜勤専従のアルバイトの雇用により、常時 3 名の夜勤体制は、11 月より配置が可能になりました。職員の採用は、常勤 2 名、派遣 2 名、非常勤 6 名を雇用し、7 月には、施設長が異動により交替しました。また、生活支援員 1 名が産休・育休に入りました。退職は、常勤 3 名、派遣 3 名、非常勤 5 名となっています。生活支援員の派遣の導入を試みましたが、適性が合わずに継続できませんでした。特に女性職員の採用が困難になっていることにより、医療ケアの必要な方を除き、短期入所の利用制限をかけざるを得ない状態が続き、年度末には女性の入浴回数を一時的に減らす対応も行いました。

建物及び設備の老築化に伴い、大規模修繕工事を行いました。7 月に外壁及びバルコニーの塗装工事、屋上及びテラスの防水塗装工事、ボイラーの交換、冷温水発生機（冷暖房装置）の交換、全館 LED 電気設備への交換についての入札を行い、8 月から 12 月の約 5 か月間で完了しました。その他、2 階浴室の天井走行リフターの交換、1 階中庭にあるウッドデッキの腐食では、地面をコンクリートで埋める工事を行いました。設備関係の交換により、光熱水費の節約につながりました。

利用者に対する支援では、平成 17 年度に制定したサービス提供指針「愛の 12 か条」を職員一人ひとりが継続的に振り返る機会を持つこと、職員からの不適切な言動がないかを利用者から聞き取る機会を持つこと、虐待防止のための自己チェックを行うこと、第三者委員の相談会を設けること等を行うことにより、適切な支援が行えるように配慮しました。

2. 運営課題に対する評価

(1) 高齢化に伴う介助の見直し

利用者の高齢化、心身機能の低下に伴い、症状の重症化、長期間入院する傾向が顕著に見られました。入院件数は、実人数 14 名、延べ人数 24 名、延べ日数 576 日となっています（昨年度、同 8 名、9 名、171 日）。退院後、車いすへの乗車や自力走行が困難となり、リクライニング型車いすへの変更、身体状況に合わせた介助の見直しやセラピストによるリハビリテーションを継続的に提供しました。また、骨折を伴う事故が 2 件発生し、危険因子を減らすリスク対策に努めました。介助の見直しについては、ヒヤリハット事例をきっかけに、順次見直しを図りましたが、職員が気付かないところで、擦り傷や切り傷、皮膚の発赤箇所なども見受けられました。原因としては長時間の車椅子乗車、衣類やオムツのよれ、ファスナーの接触によるものと推測され、日々のスキンチェックや未然に防ぐための配慮に努めました。

(2) 個別活動の更なる充実

個別支援計画を立てる際は、外出のニーズが最も多く、目的地の選定から実施に至るまで、利用者が主体となって、計画が進められるように努めました。インターネットを通じて、行きたい場所やお店の検索、現地までの交通手段をチェックする等、支援員は外出に至るまでのプロセスを大切にしながらサポートしました。中でも介護タクシーを使って単独で外出する機会が増え、近隣のららぽーとやオリンピック、イオンなどのショッピングセンターでの買い物や映画鑑賞を楽しむ外出が見られました。また、利用者同士で外出計画を立て、お互いの目的に合った外出先を選んで楽しむ様子も見受けられました。

(3) リハビリテーションの実施

整形外科の医師によるリハビリ実施計画書に基づき、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、鍼灸あんまマッサージ師により、計画的にリハビリテーションを提供することができました。加齢や骨折による身体機能の低下や退院後の身体状況の変化等、適宜セラピストの評価を受けて、介助方法の見直しを図りました。また、リハビリ委員会にはセラピストにも参加してもらい、活発な意見交換と利用者の情報共有に努めました。

3 月に神奈川県理学療法士会との共催で、「車椅子のシーティング」をテーマにリハビリ研修会を行いました。利用者 2 名が参加し、実際にシーティング評価を受けながら、アドバイスをもらう実践的な研修となりました。

(4) 健康管理に対する取り組み

日々の暮らしの中で、健康に対する意識を持ち、その人にとっての健康の維持増

進を促し、楽しい生活が送れるよう支援しました。優しく寄り添い、居心地の良い雰囲気の中で安心して生活が送れるよう配慮し、心身の苦痛の緩和とストレスの軽減、免疫力の向上を図りました。

年々加齢に伴い心身状態が低下していく利用者が増えています。より良い健康状態を保つために、疾患の早期発見と適切な初期対応、ケガによる受傷等の防止が重要であり、看護師、生活支援員、主治医、セラピストとの連携の機会を多く持ちました。また感染予防対策においては、各フロアに2台ずつ大型加湿器を設置し、適切な湿度管理に努めました。

(5) 楽しい食事の提供

今年度も行事食として4月、6月、7月、10月、2月、3月に旬彩の日を実施し、鰻のタタキ、穴子と夏野菜の天丼、土用丑の日には鰻丼、栗ご飯、鰻の漬け丼（茶漬け風）、カニちらしと鮎のやまかけなど、旬の食材を献立に取り入れ、喜んでもらえました。5月、9月、11月、3月には、利用者からのリクエストにより、スペシャルランチデイを実施しました。鰻丼、美味しい肉の洋食風コース料理、海鮮丼、お肉料理と珍しいパンを提供しました。また、平塚総合公園から頂いた梅を使用し、手作り梅ジュースを提供しました。昨年の夏は一段と暑かったため、さっぱりした味付けが好評でした。クリスマスメニューでは、居住者からのリクエストを中心に提供し、見た目にも楽しんでもらえました。お正月にはおせち料理とお刺身を提供し、大変好評でした。

(6) 安心で安全な生活

水害時の対応マニュアルとして、「要配慮者利用施設における避難確保計画」を防火管理委員会にて検討しました。7月の台風12号上陸の際には、近隣地区に「避難準備・高齢者等避難開始」が発令されたため、1階居住者及び短期利用者28名が3階ホールへ、医療ケアの必要な方2名が2階短期入所居室に一晚避難しました。毎月の利用者懇談会においても、防災・防火・防犯に関する話題を提供することで、災害時に混乱が起きないように注意喚起しました。また、8月に平塚警察署に講師を依頼し、不審者侵入想定防犯訓練を実施しました。講話には利用者も参加し、刺叉の使用方法や身の安全の守り方などを学ぶ有意義な機会となりました。11月に夜間火災想定避難訓練を実施しました。宿直者も参加する中、夜勤職員との連携について確認する有意義な機会となりました。

(7) やりがいの持てる職場づくり

階層別研修では、6月に「2～8年目研修」を行いました。今回は「記録」をテーマに、記録業務の重要性の理解と正しい文章表現を学ぶ機会となりました。また、記録ソフト導入に伴って、記録時間の短縮や職員の情報共有の在り方など、業務の

効率化について改めて考える機会にもなりました。12月には、「ストレス」をテーマに「9～17年目研修」を行いました。支援を通じて感じるストレスとの向き合い方について、講義とグループワークを通して振り返る機会となりました。外部研修においては、各職員の研修希望や課題を勘案し、適宜必要な研修に派遣しました。外部研修の報告については、各会議の中で伝達するように努めています。

3. 事業内容

(1) 生活支援

①個別支援

- a. 利用者と担当者が十分な話し合いを行い年間の目標、課題を達成するための個別支援計画を立案、実施しました。支援目標は、それぞれの項目に評価期間を設定して、カンファレンスを行い、目標課題の評価を行いました。必要があれば再評価期間を設定しました。
- b. 課題の設定及び評価の際には、必要に応じてリハビリ実施計画（生活支援評価表）を活用し、専門職の意見又は評価を取り入れることにより、理論的な検証を行いました。また、可能な限り当事者も参加し、グループ会議を中心に意見交換を行っています。利用者本人の評価は必ず取り入れ、個別支援計画が利用者自身のものとなるように取り組みました。
- c. 利用者の健康管理、安全な生活を確保する上でやむを得ず、身体拘束にあたる行為をする際には、その状況を適宜カンファレンスにて見直し、不必要に身体拘束が行われないように取り組みました。

②健康管理

- a. 利用者の健康管理については、個々の生育歴、障がいと病歴、家族背景、年齢、服薬の長期継続、生活習慣などによる個別性を考慮し、生活支援員、各セラピスト、看護師、嘱託医(内科医、整形外科医、精神科医)が連携して行っています。専門的な科目の診療が必要な場合は、地域の協力医療機関へ通院を行いました。また、48名の胸部レントゲン撮影を行いました。

入院者は延べ24名でした。診療科目の内訳は、呼吸器疾患12名、消化器疾患延べ8名、内科・神経内科・精神科・眼科は、各1名でした。呼吸器疾患の内3名は、前年度末からの継続入院であり、1名は入院中のてんかん重積発作により長期化(3か月間)し、1名は呼吸不全による入退院の繰り返し後転院となり、1名は亡くなりました。消化器疾患で入院を繰り返していた方が外科的処置にてストマを造設しました。原因が特定できない発熱を繰り返していた方が壊死性血管炎との診断に至り対症療法を行っています。

b. 加齢や障がいの進行により、疾患時の重症化と長期化、病後の体力低下が見られ、医療的ケアの必要性が増しているため、体調の把握と早期発見、早期対応に繋がる連携を深め、重度化の予防に努めてきました。また、生活支援員が行える医療的ケアの資格取得を進めるとともに、有資格者の知識、手技の確認を行い、より安全な医療的ケアの提供を行いました。今年度、新たに資格を取得した職員が3名、フォローアップ研修は4名受講しました。食事や排泄などの生活に関わる医療的ケアについては、生活支援員と看護師が協働で関わっていただけるように取り組んでいます。

c. 利用者自身が自分の健康管理に関心を持ち、積極的に取り組めるように支援しています。やりたいことの実現に向けて、体調維持、感染予防や事故防止の為に必要な環境整備を個々の生活スタイルを尊重しながら行いました。

日々の生活が安心で、優しさや思いやりを感じながら過ごせるよう、生活支援員、看護師は所作や言葉遣いに気を配り、利用者には目を向けた支援を行いました。

d. 杉山デンタルクリニックの医師には、往診と歯科検診のご協力を頂いています。口腔内の衛生を保ち、適切なケアを行うことは、誤嚥性肺炎を始め、合併症の予防と安定した食事摂取などの健康維持に欠かせない支援です。ありがとうございます。みんなファミリークリニック平塚には、発熱など臨時通院の協力を頂いています。おしげ皮膚科クリニックには、必要時の通院の他、遠隔診療とネット再診にて継続的な診療のご協力を頂いています。また、専門科として、もりた眼科医院、まきの耳鼻科医院に通院のご協力を頂いています。

③リハビリテーション

リハビリ実施計画に基づき、各セラピスト（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、鍼灸あんまマッサージ師）により、身体機能の評価、個別メニューの実施、補装具の作成を行いました。

④栄養管理

管理栄養士が中心となり、栄養ケアマネジメントを継続的に実施しました。利用者個々の生活機能の維持・向上を目指し、食事委員会の中で専門職種間での情報交換、食事時間の巡視を通じて利用者の健康状態を確認しました。

入院者が多かった為、退院時のミニカンファレンスで情報共有する機会を多く持ち、主に食形態に関しては、利用者の体調面を考慮しながら、多職種協同で確認を行い、柔軟に対応しました。また、過体重者には、間食や個人購入品の見直しを行ってもらい、改善が見られるようになってきました。痩せ傾向については、改善している方もいますが、改善が難しい方も一定数おり、栄養補助食品で対応しています。一日の塩分量については9g以下を目指し、汁物の種類や回数の変更を実施しました。また11月より、感染予防の一

環で、毎食時に乳酸菌飲料のヤクルトを提供しました。

⑤アクティビティ活動

a. クラブ活動

ボランティアの協力のもと、定期的に書道、パソコン、コーラス、陶芸、車椅子ハッピーダンス、華道・茶道、七宝焼き、将棋の活動を行うとともに、地域行事へも積極的に参加しました。コーラスでは、「YES, 愛 DO! 音楽祭」、「金田公民館まつり」「身障協ステージ発表」「精陽学園」に出向きコーラスを発表しました。製作では、平塚市役所で行っている「平塚市福祉ショップありがとう」への期間出店、平塚市内の関係事業所と共催の「展示即売会」に出店し、活動作品を販売しました。発表、展示、販売等を通じて、利用者が意欲を持って活動できるよう支援しました。

b. 趣味活動

ローリングバレーボール、卓上競技、ボッチャ、料理、創作、映画等の各種活動を定期的にも実施しました。ローリングバレーボールにおいては、6月の神奈川交流大会、9月の神奈川県身障協大会、3月のぱっする杯に出場しました。卓上競技では、12月の「身障協卓上競技大会」に、オセロ、将棋、囲碁の競技に参加しました。また、県陸上競技大会、県フライングディスク大会にも平塚市の選手として参加しました。

c. 外出

単独外出が難しい方には職員が付き添い、介護タクシー、バス、電車等の交通機関を利用して外出し、個々の状況に応じて支援しました。また、単独で外出できる方は、職員に口頭で伝えてもらい、外出を楽しまれました。

個別支援計画に沿って、買い物や日帰り旅行を楽しむ方が増えました。有料ヘルパーや介護タクシー等を積極的に利用し、顔馴染みになることで外出に対する利用者の不安も軽減されました。

d. コーヒーショップ「アモーレ」

毎週水曜日に喫茶店を営業し、質の高いコーヒー、紅茶等のメニューを揃え、くつろぎと楽しみの時間を共有できる場の提供を行いました。第2、4水曜日はボランティアの協力を頂き、数種類のケーキをメニューに加え、さらに楽しまれました。

「アモーレを楽しむ会」に所属する利用者の発案で6月にチョコレートフェア、8月にゼリーフェア、9月に秋のフルーツフェア、10月にハロウィンフェア、1月にお屠蘇アモーレ、2月にバレンタインフェア、3月にホワイトデイフェアを開催し、特別メニューを提供しました。

⑥行事

- a. 旅行会社に車いす設置ができる観光バスを依頼して、5月に富士サファリパーク、9月に箱根へ日帰り旅行に出かけました。利用者も、家族、職員、ボランティアが付き添うことで、安心して旅行を楽しむことが出来ました。
- b. 8月の納涼祭は、猛暑の影響を配慮し、例年の屋上開催から駐車場での開催に変更しました。スペースは狭くなりましたが、全体的なまとまりや移動時間の短縮、食事提供の利便さもあり、これまでとは違った雰囲気の中、ご家族やボランティアとふれあいながら、屋台や盆踊り、抽選会等を楽しまれ、地域からも多くの方々が来場され、大変好評に終えることができました。ボランティアは、学生、一般の方44名にご協力をいただきました。
- c. 12月にクリスマス会をレインボーホールで開催しました。賑やかなクリスマスメニューの昼食。舞台では、利用者と職員の出し物を中心に、楽しい時間を過ごすことができました。

4. 苦情解決の取り組み

- (1) 毎月利用者との懇談会を開催し、情報の提供や日々の生活面の話し合いを行いました。また、懇談会で出された意見や要望を生活委員会にて検討し、日々の利用者支援に反映できるように努めました。また、職員のサービス提供指針である「愛の12か条」をもとに、各グループで振り返り、日々の支援で意識できるよう取り組みました。10月には「職員の高圧的な言動と態度に関するアンケート」を実施し、利用者の意見を収集し、職員対応について見直す機会としました。10月と3月に、第三者委員による相談会を開催し、延べ2名の利用者が面談しました。
- (2) 苦情の受付
今年度の苦情の申し出はありませんでした。

5. 防災・防犯訓練

多様な災害、防犯を想定し、消防署、警察署、防災設備会社の協力を得ながら、以下の防災・防犯訓練を行いました。

実施日	内容
4月6日	消防設備、ガス設備の業者説明（対象：新採用職員）
4月20日	救急救命訓練（講師：平塚市消防本部）
5月20日	水害想定避難訓練
6月22日	合同防災避難訓練（天ぷら油消火訓練、水消火器使用訓練）
8月3日	不審者対応の防犯訓練（講師：平塚警察署）
8月22日	消防設備点検
10月18日	火災による緊急連絡訓練
10月19日	防災倉庫の棚卸、整理
11月19日	火災による避難・消火訓練（夜間想定）
2月15日	火災による消防署への通報訓練

6. 事故報告

(1) 介護事故

①件名：右手第1指末節骨骨折

日時：平成30年5月17日（木）14:15頃

利用者：51歳女性（支給市町村：平塚市）

概要：右手第1指のほぼ全体にわたって内出血が見られる。翌日、整形外科へ通院し、レントゲンの結果、末節骨のヒビとの診断を受ける。

原因：受傷の原因は特定できなかったが、何らかの備品に指が接触したと思われる。

対策：本人の動作や介護上で指をぶつけそうな備品をピックアップし、安全面に配慮した対応策を検討した。

a. 木製の車椅子テーブルの使用を中止する。

b. 入浴時に使用するストレッチャー柵にクッション性のあるもので保護する。

②件名：左足脛骨、腓骨骨折

日時：平成31年1月8日（火）22:30頃

利用者：57歳男性（支給市町村）

概要：左脛に腫脹、熱感あり、翌朝、左足首から外踝にかけて青くなってきたため、整形外科に通院し、レントゲンの結果、左足脛骨、腓骨の骨折との診断を受ける。

原因：受傷の原因は特定できなかったが、電動車椅子乗車時の姿勢を直すために、自分でテーブルや寝台に脛を日常的にあてていたとの報告があった。

対策：a. 姿勢を直す場合は、職員に依頼してもらう。

- b. 骨が脆いため、介助時は十分に気を付ける。
- c. 骨を強くするため、起立台の使用や日光浴を取り入れていく。

7. 安全衛生

職員の健康管理では、産業医と連携し、今年度も定期健康診断やストレスチェックの結果を確認して頂き、その結果をもとに、個別面談を適宜実施しています。また介助機器の活用により腰痛の報告が年々減少してきています。働き方改革の一環としてノー残業デーを導入しました。

施設内の感染症対策では、昨年度と一昨年度に感染症が拡大した反省点を活かし、感染症拡大予防策の実施を徹底するため、職員間へ対策の周知と浸透をあらためて図りました。個別に感染症の報告はされていますが、大規模な感染症には至りませんでした。これは、予防策が職員間に浸透し、功を奏したからだと思われまます。

労災の申請は、3件ありました。2月に常勤職員が介助中に腰を痛め、通院して回復しています。3月に常勤職員が介助中にバランスを崩し、右手を痛め治療しています。同じく、非常勤職員が階段を踏み外し、足首を骨折し休養しています。

8. その他

(1) 横浜保護観察所の社会貢献活動参加者（保護観察対象者）の受け入れ

7月に2名の参加者を受け入れました。主にローリングバレーの活動を通じて利用者と関わり、活動準備から練習の補助、片付け等を行ってもらいました。8月は参加者不在で中止になりましたが、12月に2名の参加者を受け入れました。主に車椅子清掃の活動を通じて、利用者と交流しました。いずれも保護司2名と保護観察官1名が同席しました。

(2) ボランティアの受け入れと地域交流の充実

日枝神社例大祭に伴う神輿休憩所の提供、近隣のサンキッズ金田ほいくえん、金田小学校4年生との交流を図りました。また、10月に地域交流会を開催し、音楽活動している大学生を招き、クラシック演奏を楽しみました。その他、喫茶アモーレ、陸上競技大会、湘南平塚七夕まつり見学、納涼祭、日帰り旅行、クリスマス会等の行事でボランティアを受け入れました。

(3) 広報活動

4月、6月、10月、12月の市役所展示即売会、5月のYES,愛DO!音楽祭、8月のカップ祭り、10月の社会福祉展、3月の金田公民館まつり、県身体障害施設協会作品展を通じて、作品の展示や販売をし、地域の方々に当施設の活動を広めています。

(4) 各協会、地域事業への活動参加

神奈川県身体障害施設協会の体育委員会、卓上競技委員会、文化委員会に職員を派遣しました。体育委員会では事務局を担当し、ローリングバレー大会や審判講習会等を企画運営しました。その他、神奈川県身体障害施設協会企画政策委員会及び会計監査、神奈川県身体障害者療護施設協議会、平塚市社会福祉協議会福祉施設部会、平塚市障がい福祉施設連絡協議会、平塚市福祉ショップ運営協議会、平塚市高齢者及び障がい者虐待防止等ネットワーク協議会、平塚市成年後見支援ネットワーク協議会、湘南西部障害保健福祉圏域自立支援協議会、障害福祉サービス地域ネットワーク強化事業に係る県域会議、サービス管理責任者研修ファシリテーター等に参加しています。

(5) 寄付金

寄付金 33件 190,000円

(6) 大規模修繕工事

①工期：平成30年8月13日(月)～12月20日(木)

②合計支払い額 135,961,200円(税込み)

③工事の内容

a.外壁塗装・屋上防水・LED照明交換工事(株式会社 小島組)

入札額 87,600,000円 税込み 94,608,000円

精算額 税込み 98,107,200円

差額 3,499,200円

※差額の内容ー外壁の下地補修・防音壁及び外塀の塗装・点字ブロック・LED照明等の追加工事 4,268,700円

照明器具設置による天井・壁補修工事の取り消し -769,500円

b.冷温水発生機交換工事(山王総合株式会社)

入札額 24,000,000円 税込み 25,920,000円

精算額 税込み 26,622,000円

差額 702,000円

※差額の内容ークレーン車(25t)による大型機器の搬出入工事について、当初予定されていた1日間から2日間に延長となったため。

c.ボイラー交換工事(山王総合株式会社)

入札額 10,400,000円 税込み 11,232,000円

精算額 税込み 11,232,000円

差額 0円

Ⅱ. 短期入所事業『ソーレ平塚』

1. 利用者の状況

(1) 安定した良質なサービスの提供

契約者数は、男性 87 名、女性 73 名、合計 160 名が登録されています。女性職員の欠員より、4 月から女性利用者の受け入れを制限してきましたが、その後も必要な職員数の確保ができず、女性利用者の受け入れ再開には至りませんでした。上半期から継続して、医療的なケアが常時必要（日中、夜間問わず看護師の対応が必要）な利用者の一部は、男女ともに受け入れをしました。ベッドの稼働率は男性 60.0%（昨年度比-21.2%）、女性 7.7%（昨年度比-38.3%）となり、利用を希望される方への対応が十分にできませんでした。利用実績は、実利用者 44 名、延べ件数 238 件、延べ日数 743 日となっています。

(2) 関係機関との調整

新規利用の相談は、24 件ありました。家族から直接相談が入るケースや、ケアマネージャーからの相談もあり、障がいの相談支援事業所に入ってもらよう連絡調整をしました。新規利用相談の半数近くは女性だったため、利用につながる件数は男性のごく一部となりました。

利用者を取り巻く環境の変化等を確認するため、利用者家族と会う機会を作り、他事業所と情報の交換を行いました。法人内での情報共有については、記録ソフトの導入によりソーレ平塚ケアセンターと迅速で正確な情報交換と、ソーレ平塚生活支援センターとは月に 1 回の会議の中で共有することができています。

(3) 障害福祉サービス等地域拠点事業（湘南西部あんしんネット事業）の実施

契約者数のうち、男性 15 名、女性 12 名、合計 27 名が登録されており、実利用者数は 17 名となっています。女性利用者の受け入れを制限していますが、本事業では、当事業所以外での短期利用が困難な方を中心に女性利用者の受け入れを行い、合計延べ件数 108 件、延べ日数 312 日の提供を行いました。（昨年度、同 390 日）。

本事業は、神奈川県と平塚市、伊勢原市、秦野市、大磯町、二宮町、中井町と連携した事業となっています。医療的ケアが必要な方や行動障害の方が、自宅の近くで短期入所を受けることができる貴重なサービスとなっています。今後の事業の継続性については、地域生活支援拠点等が整備される令和 2 年度末をもって終了という方向が県で検討されています。

2. 短期入所事業関係資料

(1) 市町別、利用者延べ数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
湘南西部	平塚	42	44	38	34	33	46	41	47	28	28	35	29	446
	秦野	4	3	7	8	6	12	9	5	12	8	7	3	84
	伊勢原	2	5	6	11	15	3	11	10	3			8	74
	大磯		2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	20
	二宮	8	6	5	5	6	3	5	6		6	8	3	61
湘南東部	茅ヶ崎													
	寒川				3		3	3	3	6	6	3	3	30
	藤沢													
県西	小田原													
	中井		3	4	3	4	1	3	3		2	2	2	27
横/三	横須賀													
県央	厚木											2		2
	綾瀬													
	横浜													
	その他													
合計		56	63	60	66	66	70	74	76	51	52	59	50	743
稼働率 (%)		31.1	33.9	33.3	35.5	35.5	38.9	39.8	42.2	27.4	28	35.1	26.9	33.96303

(2) 市町別、利用者件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
湘南西部	平塚	12	13	13	10	10	13	12	14	8	8	12	9	134
	秦野	1	1	2	2	1	3	3	2	3	3	3	1	25
	伊勢原	1	2	3	4	4	1	3	3	1			3	25
	大磯		1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
	二宮	3	2	2	2	2	1	2	2		2	3	1	22
湘南東部	茅ヶ崎													
	寒川				1		1	1	1	2	2	1	1	10
	藤沢													
県西	小田原													
	中井		1	1	1	2	1	1	1		1	1	1	11
横/三	横須賀													
県央	厚木											1		1
	綾瀬													
	横浜													
	その他													
合計		17	20	21	21	20	21	23	24	15	17	22	17	238

(3) 入所理由・日数別、利用者数

	1日～5日	6日～10日	11日～15日	16日～20日	21日～25日	26日～31日	合計
入院・療養	180	5	0	0	0	0	185
冠婚葬祭	7	0	0	0	0	0	7
介護困難	3	0	0	0	0	0	3
外出	35	1	0	0	0	0	36
その他	7	0	0	0	0	0	7
合計	232	6	0	0	0	0	238

(4) 年度別、利用者数

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成28年度	平成30年度
件数	194	203	175	252	281	301	238	238
延べ人数(上)	694	519	343	490	541	595	696	381
延べ人数(下)	417	552	285	479	598	586	362	362
合計	1111	1071	628	969	1139	1181	1058	743

(5) 市町村別、契約者数

	湘南西部					湘南東部			横須賀・三浦			県央			県西		
	平塚	秦野	伊勢原	大磯	二宮	藤沢	茅ヶ崎	寒川	横須賀	鎌倉	葉山	厚木	每老	名綾瀬	小田原	松田	中井
男性	46	11	10	1	1	0	3	1	2	1	0	5	1	0	1	0	1
女性	31	9	7	0	3	0	2	1	1	1	1	8	1	1	1	0	1
合計	77	20	17	1	4	0	5	2	3	2	1	13	2	1	2	0	2

	県外		合計
	横浜	その他	
男性	1	2	84
女性	1	4	68
合計	2	6	152

(6) 男女別、障害程度区分

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	不明※1	合計
男性	1	2	9	8	13	51	3	87
女性	1	3	9	5	17	38	0	73
合計	2	5	18	13	30	89	3	160

※1 新障害程度区分に変更後の利用がない為、不明。

(7) 男女別、障害程度区分(児童)

	区分1	区分2	区分3	合計
男性	0	0	0	0
女性	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

参考資料

1. 利用者の状況 (H31.3.31現在)

[表1-1] 月別、入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
初日在籍	52	51	51	52	52	52	52	52	52	52	51	51
入所	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
月末在籍	51	51	52	52	52	52	52	52	52	51	51	51

[表1-2] 機関別、利用者数

	湘南内部保健福祉圏域					湘南中部			横須賀・三浦			県央		県西	他	合計	
	平塚	秦野	伊勢原	大磯	二宮	藤沢	茅ヶ崎	寒川	横須賀	鎌倉	三浦	葉山	綾瀬	厚木	真鶴		川崎
男性	12	2	1	2	1	3	2	1	2	0	1	0	0	0	1	0	28
女性	9	2	1	0	1	2	1	0	1	0	1	1	2	1	0	1	23
合計	21	4	2	2	2	5	3	1	3	0	2	1	2	1	1	1	51

[表1-3] 入退所の経路

	[入所]									[退所]						
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	合計	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	合計
学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在宅 無職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
在宅 作業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在宅 就労	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在宅 通所施設	0	0	1	2	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0
入所施設	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1
病院	1	1	1	2	1	0	0	6	0	1	1	1	2	0	1	6
その他	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1	2	0	1	6
合計	1	2	3	4	2	0	1	13	1	3	2	4	2	0	2	14

[表1-4] 障害別、等級別、利用者数

	脳性まひ	脳血管障害	頭部外傷	脊髄損傷	脊髄小脳変性症	多発性硬化症	筋ジストロフィー	てんかん	脊椎カリエス	その他	合計	1級	2級	3級
男性	9	8	6	2	1	0	0	0	0	2	28	19	8	1
女性	14	2	1	3	0	1	0	2	0	0	23	16	6	1
合計	23	10	7	5	1	1	0	2	0	2	51	35	14	2

[表1-5] 男女別、年齢表

	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～	合計	
男性	0	1	2	1	6	2	8	8	28	
女性	0	1	2	4	3	1	3	9	23	
合計	0	2	4	5	9	3	11	17	51	
平均年齢			男性 61歳		女性 60歳		全体 60歳			
最高齢			79歳		最年少 23歳					

[表1-6] 障害支援区分

	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	0	7	21	28
女性	0	0	0	0	7	16	23
合計	0	0	0	0	14	37	51

[表1-7]男女別、日常生活動作 - 一覧表

	起座			立ち上がり			着脱衣			整容動作			歩行			車椅子使用			
	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	使用無
男性	6	3	19	5	7	16	4	6	18	4	12	12	2	4	22	12	4	10	2
女性	2	8	13	2	7	14	2	11	10	5	10	8	1	2	20	12	7	4	0
合計	8	11	32	7	14	30	6	17	28	9	22	20	3	6	42	24	11	14	2
	食事				入浴			寝返り				おむつ使用			排泄				
	自立	一部介助	全部介助	胃ろう	自立	一部介助	全部介助	自立	一部介助	全部介助	体交	自立	一時使用	常時使用	自立	一部介助	全部介助	導尿等	摘便等
男性	14	5	7	3	2	5	21	11	3	14	5	11	4	13	3	9	16	3	6
女性	7	11	5	0	0	7	16	9	3	11	10	4	3	16	2	6	15	5	4
合計	21	16	12	3	2	12	37	20	6	25	15	15	7	29	5	15	31	8	10

[表1-8]病院別、通院状況

病院名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平塚市民病院	12	8	9	8	7	9	8	4	6	11	6	8	96
平塚共済病院	5	5	4	2	3	4	4	7	8	6	8	12	68
東海大学伊勢原病院	3	1	2	3	4	4	4	3	3	4	1	1	33
東海大学大磯病院	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3
神奈川リハビリテーション病院	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	3
ありがとうファミリークリニック平塚	6	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	12
伊勢原協同病院	1	1	1	1	3	2	2	2	1	1	1	2	18
おしげ皮膚科クリニック	11	6	20	11	8	27	13	9	8	12	18	15	158
杉山デンタルクリニック	3	3	3	1	0	2	6	4	3	3	3	8	39
まきの耳鼻科クリニック	4	6	2	4	2	1	3	1	5	6	7	3	44
もりた眼科クリニック	6	5	3	7	5	3	2	4	1	1	3	4	44
済生会湘南平塚病院	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
静岡てんかんセンター	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
久保田整形外科医院	0	1	3	3	0	0	0	0	2	0	0	0	9
内田クリニック	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	15
平塚病院	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1	1	7
かとう腎泌尿器科クリニック	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3
湘南厚木病院	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
障害者歯科診療所	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
上岡眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	54	39	50	44	37	56	47	38	44	49	50	62	570

※1回の通院で複数の科の受診あり。

[表1-9]医務室診察状況 (漏託送、協力医)

診療科目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	51	51	77	54	53	74	53	50	52	52	53	62	682
整形外科	3	8	11	13	17	10	18	18	5	13	8	12	136
精神科1	6	5	5	6	5	6	7	6	5	6	7	6	70
精神科2	5	7	8	8	6	6	8	9	9	10	8	9	93
歯科	0	4	7	5	7	5	19	14	5	5	0	7	78
合計	65	75	108	86	88	101	105	97	76	86	76	96	1059

[表1-10]診療科目別、通院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	15	5	3	1	4	6	7	4	9	7	3	11	75
神経内科	4	3	4	3	2	2	3	2	3	4	2	3	35
外科	0	2	3	2	0	1	0	1	0	0	2	1	12
整形外科	0	1	3	3	1	0	1	0	2	2	1	1	15
歯科	3	3	3	1	1	2	6	4	3	3	3	8	48
皮膚科	11	7	20	11	8	4	14	13	10	14	20	27	159
耳鼻科	4	6	2	4	2	1	3	1	5	6	7	3	44
眼科	6	5	3	7	5	5	2	4	1	2	3	4	47
泌尿器科	5	5	7	6	7	5	6	6	6	6	5	8	72
小児科	2	0	0	2	0	1	1	0	1	2	1	0	10
循環器科	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
脳外科	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	5
形成外科	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1	1	7
婦人科	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
ペイン	1	1	1	1	2	1	1	1	0	0	0	0	9
救急外来	2	1	3	0	2	2	1	1	2	2	2	4	22
													0
合計	57	39	52	43	34	30	48	38	44	50	60	72	566

[表1-11]入院状況、入院理由

病院名	4月1日～9月30日		10月1日～3月31日		年間	
	延べ人数	延べ日数	延べ人数	延べ日数	延べ人数	延べ日数
平塚市民病院	10	206	6(1)	160	16	366
平塚共済病院	0	0	5	56	5	56
済生会湘南平塚病院	1	21	0	0	1	21
東海大学病院	1	31	0	0	1	31
平塚病院	1	87	(1)	15	1	102
小計	13	345	11	231	24	576

	氏名	性	病院	診療科	病名	入院期間
1	Y.M	女	平塚市民病院	呼吸器内科	喘息発作	4/1 ~ 4/9 9日間
2	Y.Y	女	平塚市民病院	呼吸器内科	誤嚥性肺炎	4/1 ~ 6/25 83日間
3	S.K	男	平塚市民病院	内科	イレウス	4/1 ~ 4/11 11日間
4	S.T	男	済生会湘南平塚病	内科	肺炎	4/1 ~ 4/21 21日間
5	K.S	男	平塚市民病院	内科	肺炎	4/3 ~ 5/2 30日間
6	K.K	男	平塚市民病院	内科	肺炎球菌性肺炎	4/17 ~ 4/25 9日間
7	M.Y	女	平塚市民病院	内科	低Na 胸水	4/26 ~ 5/31 35日間
8	M.Y	女	平塚市民病院	内科	呼吸不全	8/2 ~ 9/7 34日間
9	Y.M	女	平塚病院	精神科	器質性精神障害	7/6 ~ 10/5 92日間
10	U.S	男	平塚市民病院	外科	ソクイヘルニア(注)	7/11 ~ 7/14 4日間
11	D.N	女	東海大学病院	眼科	涙嚢炎	8/4 ~ 9/3 31日間
12	S.K	男	平塚市民病院	外科	小腸捻転性イレ	8/22 ~ 9/5 15日間
13	M.Y	女	平塚市民病院	内科	呼吸不全	9/21 ~ 10/22 32日間
14	K.M	男	平塚市民病院	内科	胃内出血	10/3 ~ 10/16 13日間
15	M.Y	女	平塚市民病院	内科	呼吸不全	11/11 ~ 1/11 62日間
16	F.K	男	平塚共済病院	消化器内科	S状結腸軸捻転	11/9 ~ 11/21 13日間
17	F.K	男	平塚共済病院	消化器内科	S状結腸軸捻転	1/5 ~ 1/15 11日間
18	S.K	男	平塚市民病院	消化器内科	糞便性イレウス	1/10 ~ 1/20 11日間
19	S.F	男	平塚市民病院	神経内科	症候性てんかん	2/27 ~ 3/25 27日間
20	F.K	男	平塚共済病院	外科	S状結腸過長腸	3/5 ~ 3/22 18日間
21	Y.H	男	平塚市民病院	呼吸器内科	誤嚥性肺炎	3/11 ~ 21日間
22	K.A	女	平塚共済病院	内科	発熱・不顕性誤嚥	3/20 ~ 12日間
23	Y.Y	女	平塚市民病院	呼吸器内科	気管支肺炎	3/28 ~ 4日間
24	D.N	女	平塚共済病院	内科	発熱	3/20 ~ 2日間

[表1-12]趣味・クラブ活動

活動種目	回数	ボラ	1回の参加者
書道教室	週1	1名	6名
パソコン教室	週2	2名	3名
陶芸教室	週1	3名	2名
華道・茶道教室	月1	3名	14名
囲碁・将棋教室	週1	2名	2名
七宝焼きクラブ	月1	1名	6名
コーラスクラブ	月2	1名	8名
車いすハッピーダンス	月1	10名	10名
コーロピアチェーレ (コーラス)	週1	1名	3名
ローリングバレーボールクラブ	週1		6名
創作	不定期		5名
映画	不定期		8名

[表1-13]外出

外出手段	利用方法	利用者
単独外出	公共交通機関を利用した外出、電動車いすでの外出、近隣への散歩・買い物等	4名
介護タクシーの利用	日帰りでの観光、買い物、美術館、食事等	8名
職員の付き添い	個別支援計画における外出 アクティビティ活動における外出等	48名
その他		0名

[表1-14] 行事

	地域行事	施設行事
4月	春のてんそく（市役所展示即売会） 日枝神社例大祭	花見
5月	県陸上競技大会（相模原） Yes. 愛do！ まちぐるみ大清掃	菖蒲湯 1F懇談会 日帰り旅行①（富士サファリパーク） サンキッズ保育園交流会①（車椅子乗車体験） ドッグヒーリングスペース
6月	ローリングバレー・神奈川交流大会 夏のてんそく（市役所展示即売会）	2F懇談会
7月	湘南平塚七夕まつり	ソ・ン杯卓上競技大会 金田小4年生との交流① 1F懇談会
8月	金田地区盆踊り ローリングバレー審判実技講習会 カップ祭り サンキッズ金田保育園納涼会	納涼祭 プール外出 2F懇談会
9月	県ローリングバレー大会 精陽学園秋まつり（中止）	日帰り旅行②（箱根） 1F懇談会 胸部レントゲン撮影
10月	赤い羽根共同募金 秋のてんそく（市役所展示即売会） 金田敬老福祉まつり 金田地区市民レクリエーション 社会福祉展	金田小4年生との交流② 地域交流会（フルーツ・ピアノ演奏会） サンキッズ保育園交流会② 2F懇談会 第三者委員との相談会
11月	身障協ステージ発表	インフルエンザ予防接種 卓上競技交流大会 1F懇談会
12月	身障協卓上競技大会 冬のでんそく（市役所展示即売会）	茶道クリスマス会 クリスマス会 ゆず湯 サンキッズ保育園交流会③ 2F懇談会 餅つき
1月	日枝神社歳旦祭 どんど焼き 金田公民館新春の集い	お屠蘇アモーレ 初詣外出 家族懇談会・コンサート（フォルクローレ演奏）
2月	つるし雛展（浄信寺）	節分豆まき 1F懇談会 2F懇談会
3月	ローリングバレー・ぱっする杯 金田公民館まつり 身障協作品展示・販売	第三者委員との相談会 ボランティア懇談会

[表1-15] 選択食&行事食

	選択食	行事食
4月	味噌ソースカツ丼orしらす丼	【旬菜の日】 鯉のタタキ しじみ汁
5月	スズキの酒蒸しor鶏水炊き	【スペシャルランチデイ】 鰻丼他
6月	鮭グラタン焼きor八宝菜	【旬菜の日】 穴子と夏野菜の天井
7月	カツ煮or鶏トマト煮	【旬菜の日】 鰻丼 (土用丑の日)
8月	海老チリor白身魚の磯部揚げ	【納涼祭】
		焼き鳥、焼きそば、フランクフルト、ちらし寿司、カスタードドッグ、枝豆
9月	秋刀魚塩焼きor豚の角煮	【スペシャルランチデイ】 ビーフシチュー他
10月	鯛の黄身焼きor海老カツ	【旬菜の日】 栗ご飯 鯉のタタキ 秋野菜の煮物
11月	チキンカツor手作りつくね	【スペシャルランチデイ】 秋の海鮮丼他
12月		クリスマス会 海老ドリア 手羽先フライ 星形ハンバーグ スモークサーモン ツリーポテト サンタ饅頭 コーンポタージュスープ クリスマスケーキ
		12/19~25 クリスマスお楽しみ週間
1月	鱈西京焼きor海老天丼	1/1~9 正月料理
		おせち料理、赤飯、刺身の盛り合わせ他
2月	海老グラタンorエビフライ	節分 そば、豆製品 (揚げ出し豆腐)
		【旬菜の日】 鯛漬け丼 (茶漬け)
3月	焼き餃子orレバニラ	ひなまつり 海鮮ちらし寿司 菜の花 桃ゼリー
		【スペシャルランチデイ】 牛肉のホワイソソース

※3/3ひな祭りは、寄付により豪華なメニューが提供出来ました。

[表1-16] 食事形態

	形態	摂取量	男	女	合計	
常食	そのまま	ご飯 通常 1600kcal	4	2	6	
		油脂制限食 1600kcal	1		1	
	一口大	ご飯 通常 1600kcal	1	2	3	
		制限 1400kcal	2	1	3	
	小計		8	5	13	
軟菜食	一口大	ご飯 通常 1600kcal	1	2	3	
		油脂制限食 1600kcal	1		1	
		付加 1800kcal	1		1	
	お粥	通常 1600kcal	2	1	3	
		通常 1400kcal		3	3	
		油脂制限食1400kcal	1		1	
		塩分制限1400kcal		1	1	
	小計		6	7	13	
ミキサー	中間食	ご飯 通常 1600kcal	1		1	
		付加 1800kcal	1		1	
		お粥 通常 1600kcal	3	4	7	
		制限 1400kcal		2	2	
	小計	制限 1200kcal		1	1	
			5	7	12	
		ソフト	お粥 通常 1600kcal	1		1
		五分粥 通常 1600kcal	1		1	
	ペースト	お粥ペースト 通常 1600kcal	1	3	4	
		お粥 通常 1600kcal	1		1	
		お粥ペースト 通常 1600kcal	1		1	
		通常 1400kcal		1	1	
小計	付加 1800kcal	1		1		
		6	4	10		
経管栄養	胃ろうのみ		2		2	
	ソフト	嚥下訓練食	※1		1	
	小計		3		3	
合計			28	23	51	

※普段は経管栄養 (胃ろう) を使用し、昼食のみ訓練食を提供しています。

2. 施設運営の状況

[表2-1]職員採用、退職職員(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	法人内異動		採用				退職				平成31年4月1日現在				合計
	転入	転出	常勤	準職員	パート	パート	常勤	準職員	パート	パート	常勤	準職員	パート	パート	
施設長	1	1									1				1
事務員											1				1
管理栄養士											1				1
サービス管理責任者											1				1
生活支援員/介助員	1		2			3	3	1	1	3	28		4	14	46
生活支援員(派遣)			1		1		2		1						
看護師						2				2	4			4	8
看護師(派遣)												1			1
相談員															0
医師(委託)														4	4
産業医(委託)														1	1
理学療法士(委託)														6	6
作業療法士(委託)														2	2
臨床心理士(委託)															0
言語聴覚士(委託)														1	1
鍼灸マッサージ師(委託)														2	2
宿直、日直										1				7	7
運転														1	1
合計	2	1	3	0	1	5	5	1	2	6	36	0	5	42	83

[表2-2]施設内部研修会等

実施日	内容	外部講師	対象
4月1日	新採用職員オリエンテーション		新採用職員
4月23日	全体職員会議(他、25日、27日)		全職員
6月20日	2～8年目研修		2～8年目職員
7月27日	新採用職員マニュアル説明		新採用職員
8月3日	防犯研修	平塚警察署員	生活支援員、看護師、管理栄養士等
10月29日	摂食研修①	歯科医師	生活支援員、看護師、管理栄養士等
12月19日	9～17年目研修		9～17年目職員
2月14日	法人幹部職員研修(他28日)		1次考課者
2月19日	防犯アドバイザー派遣事業	神奈川県警08	関係職員
2月25日	摂食研修②	歯科医師	生活支援員、看護師、管理栄養士等
3月1日	リハビリ研修	ライフステップサービス	生活支援員、看護師
3月13日	新採用職員研修		新採用職員

[表2-3]外部研修

実施日	内容	場所
6月8日	サービス管理責任者研修	湘南希望の郷
7月12日	モチベーションマネジメント研修	県社会福祉会館
8月31日	感染予防研修（他9月20日）	平塚保健福祉事務所
9月18日	平塚市社会福祉協議会施設長研修会	平塚市勤労会館
9月22日	白壁職員キャリアパス生涯研修課程（他9月23日）	県社会福祉会館
9月27日	関東・甲信越地区身体障害者施設職員研修大会（他9月28日）	ホテルブエナビスタ
11月28日	サービス管理責任者補足研修（他11月29日）	大和芸術文化ホール
11月22日	非正規職員向け研修	県社会福祉会館
12月3日	支援者のための金融講座	秦野市保健福祉センター
12月17日	かながわ災害福祉広域支援ネットワーク研修	神奈川公会堂
12月17日	県障害福祉施設職員実践報告会	県社会福祉会館
1月21日	湘南西部圏域・障害者差別解消フォーラム2019	伊勢原市立中央公民館
2月1日	苦情解決研修会	県社会福祉会館
2月1日	短期入所担当者研修	足柄療護園
2月13日	平塚市社会福祉協議会施設部会研修会	ホテルサンライフガーデン
2月15日	身障協看護職研修会	ソーレ平塚
3月14日	経営者部会・施設部会合同研修会	キャメロットジャパン

[表2-4] 外部会議、ケア会議など

実施日	内容	場所
4月3日	平塚市社会福祉協議会施設部会役員会	平塚市福祉会館
4月12日	平塚市社会福祉協議会施設部会役員会	平塚市福祉会館
4月12日	平塚市社会福祉協議会施設部会監事監査	平塚市福祉会館
4月13日	秦野市認定調査	ソーレ平塚
4月16日	川崎市認定調査	ソーレ平塚
4月17日	身障協体育委員会①	ソーレ平塚
4月20日	神療協施設長会議	県社会福祉会館
4月20日	身障協施設長会議	県社会福祉会館
5月17日	平塚市社会福祉協議会施設部会役員会・総会	グランドホテル神奈中
6月4日	平塚市地域福祉策定会議	平塚市役所
6月5日	平塚市社会福祉協議会理事会	平塚市福祉会館
6月11日	身障協関係プロ施設長会・総会	ホテルメトロポリタン高崎
6月14日	福祉ショップありがとう監事監査	ソーレ平塚
6月20日	平塚市社会福祉協議会施設部会役員会	カメラア桜ヶ丘
6月21日	福祉ショップありがとう役員会	平塚市福祉会館
6月22日	身障協体育委員会②	県社会福祉会館
6月29日	福祉ショップありがとう総会	平塚市役所
6月29日	平塚市認定調査①	ソーレ平塚
7月6日	身障協文化委員会①	太陽の家
7月12日	平塚市後見支援ネットワーク協議会	平塚市保健センター
7月18日	神療協施設長会議	県社会福祉会館
7月18日	身障協施設長会議	県社会福祉会館
7月24日	平塚市障がい福祉施設連絡協議会	ソーレ平塚
8月8日	企画政策委員会	県社会福祉会館
8月29日	日本肢体不自由児療護施設連絡協議会	大阪市立青少年センター
9月13日	企画政策委員会	県社会福祉会館
9月14日	県域児童発達支援部会	精陽学園
9月20日	平塚市虐待防止ネットワーク協議会	平塚市役所

9月21日	児童発達支援部会	わらべの森
9月21日	身障協文化委員会②	太陽の家
10月4日	平塚市長との話し合い	平塚市役所
10月9日	平塚市認定調査②	ソーレ平塚
10月12日	身障協施設長研修会	県社会福祉会館
10月12日	身障協文化委員会③	太陽の家
10月19日	NPO法人たてば理事会	平塚二葉会
10月19日	県障害福祉サービス事業者等指導講習会	かながわ県民ホール
10月19日	神奈川県社会福祉大会授賞式	県立音楽堂
10月24日	湘南西部障害保健福祉圏域自立支援協議会	秦野市保健センター
10月24日	平塚市認定調査③	ソーレ平塚
10月25日	平塚市認定調査④	ソーレ平塚
10月26日	平塚市認定調査⑤	ソーレ平塚
11月8日	企画政策委員会	県社会福祉会館
11月16日	身障協文化委員会④	太陽の家
11月20日	身障協関東・甲信越地区ブロック施設長会	全国社会福祉協議会
11月28日	平塚市認定調査⑥	ソーレ平塚
12月4日	障害福祉サービス地域ネットワーク強化事業に係る	神奈川県庁
12月7日	湘南西部圏域重心及び医療的ケアを必要とする方を	秦野赤十字病院
12月12日	平塚市要介護認定	平塚市民病院
12月17日	県障害福祉施設職員実践報告会	県社会福祉会館
12月20日	平塚市虐待防止等ネットワーク実務検討会	平塚市役所
1月18日	事業所情報交換会	ソーレ平塚
1月23日	企画政策委員会	県社会福祉会館
1月29日	神療協施設長会議	県社会福祉会館
1月29日	身障協施設長会議	県社会福祉会館
1月29日	横須賀市認定調査	ソーレ平塚
2月7日	働き方改革法案説明会	かながわ県民ホール
2月8日	湘南西部圏域重心・医療的ケアネットワーク会議	平塚養護学校
2月7日	身障協文化委員会⑤	太陽の家
2月13日	県地域生活サポート事業等の見直し説明会	県藤沢合同庁舎
2月20日	不在者投票事務説明会	教育会館
2月20日	湘南西部圏域自立支援協議会	平塚市保健福祉事務所
2月21日	身障協関東・甲信越地区ブロック施設長会・総会	ホテル国際21
2月21日	平塚市成年後見支援ネットワーク連絡会	平塚市保健センター
2月22日	実習指導者懇談会	神奈川社会福祉専門学校
3月5日	身障協施設長会議	県社会福祉会館
3月7日	障害福祉関係主管課長会議（傍聴）	厚労省
3月13日	平塚市福祉ショップ運営協議会役員会	平塚市福祉会館
3月14日	全国身障協経営セミナー	灘尾ホール
3月19日	湘南西部圏域あんしんネット協議会	ソーレ平塚
3月27日	障害児入所施設の在り方に関する検討会	中央労働委員会

[表2-5] 見学、交流、一般開放等

実施日	見学、交流、一般開放	人数
5月19日	ホール開放 (訪問看護ステーションひかり)	名
6月12日	金旭中PTA厚生委員見学	4名
6月19日	中奈川社会福祉専門学校1年生見学	27名
7月18日	金田小4年生との交流会①	90名
7月30日	社会貢献活動①	2名
10月3日	金田小4年生との交流会②	30名
10月12日	金田小4年生との交流会③	30名
10月31日	金田小4年生との交流会④	30名
10月17日	ホール開放 (JSYネット研修会)	40名
11月19日	梅香園職員見学	5名
12月5日	社会貢献活動②	2名

[表2-7] 実習生の受け入れ

学校名等	期間	日数	人数	受け入れ先
神奈川社会福祉専門学校2年生	8月29日 ~ 9月28日	23日	1人	2F
東海大学健康科学部3年生	2月4日 ~ 3月4日	23日	1人	2F

資料 2-5

平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人 至泉会

ソーレ平塚地域支援センター

I 生活介護事業『ソール平塚ケアセンター』

1. 概況

(1) 利用者の動向

平成 30 年 4 月は登録者 35 名で始まり、平成 31 年 3 月末の登録者は 37 名となっています。この 1 年で 5 名の解約、7 名の新規利用契約がありました。解約の内訳は施設入所された方が 1 名、亡くなられた方が 1 名、体調不良により入院が長期化し在宅復帰が難しくなった方が 3 名でした。延べ利用人数は、平成 29 年度は 3,716 名でしたが平成 30 年度は 3,618 名で 98 名の減少となりました。出席率は 81%でした。

減少の原因は、本人や介護者が体調を崩したことで長期間の入院、短期入所利用による欠席が複数名重なったことが大きく影響しています。通所再開の目途が立たない方は順次解約手続きを行い、12 月以降に新規利用者の受け入れを進めました。

【資料 7】

(2) 活動の展開

活動では、達成感や向上心を感じて頂けるよう、職員は利用者一人一人の個性に目を向け、各々のペースに合わせて活動を提供しました。【資料 8】

(3) デイサービスの役割

個別支援計画を中心に本人、家族から具体的なニーズを聞き取り、職員一人ひとりがサービス内容を考え、職員全体で統一した関わりを持つようにしました。また、提供したサービスにより生活の満足度が向上・変化するのかを意識し、計画的に支援を実践しました。

(4) その他の課題

利用者と家族の高齢化が進む中、介助度が高くなっている事が大きな課題となっています。施設内における静養スペースの確保をはじめ、送迎車における車椅子固定の増加、自宅における送り出し、迎え入れに伴うヘルパー利用の必要性等がその例です。今後も継続して相談支援事業所やヘルパー事業所、訪問看護ステーション等との連携を強化し、関係機関が一体となったサービス展開が求められます。

業務の効率化を目的に、記録ソフト（タスクウェア）を導入しました。それに伴って、ノートパソコンを 3 台、タブレット端末を 2 台購入し、無線通信環境の整備を行いました。情報共有の迅速化、記録時間の短縮が徐々に出来ました。

2. 運営課題

(1) 活動の充実

- ① 空グループ（中途障がい）では、利用者が中心となって、毎月の活動内容を決めています。ゴロ卓球や風船バレー、ボッチャ等の運動を中心に、制作やちぎり絵、喫茶アモーレ等を行っています。また、あじさい祭り、飲食店、近隣にある県立公園（花菜ガーデン）等への外出もできました。【表 8-3】
- ② 風グループ（知的障がい）では、音楽活動や絵本読み聞かせ、制作を行いました。

年間を通じて取り組んでいるカレンダー作りは、作った作品を展示し鑑賞して楽しみました。壁面制作では、地域行事の「かっぱ祭り」に出展した、かっぱをモチーフにした花紙の作品が、地域の方にも好評でした。外出機会をより多く確保するために、他グループの協力も得て職員配置を工夫して外出支援を行いました。

【表 8-2】

- ③ 午後の活動は、個々のニーズにより即した活動を提供する為、グループの枠を超えて、パソコンやポッチャ、カードゲーム等を行いました。
 - ④ 七宝、コーラス、華茶道、陶芸、囲碁のアクティビティでは、ボランティアの先生の指導のもと、利用者は活動を楽しむとともに、発表や展示に向けて、技術向上に励みました。【表 8-4】
 - ⑤ 書道教室、パソコン教室では、入所と協力して職員を配置し、個々のニーズやペースに合わせた活動を行いました。【表 8-4】
 - ⑥ 毎週月曜日に活動しているローリングバレーボールクラブ（バルソーレ平塚）は、ミニゲームを中心とした練習を行い、楽しみながら試合感覚を養っています。6月に神奈川交流大会、9月に県ローリングバレーボール大会、3月にぱっする杯に参加しました。県ローリングバレーボール大会は1回戦敗退となってしまいました。【表 8-1、4】
 - ⑦ 小グループでの日帰り外出では、幾つかのコースから選択できるよう、本人と家族にアンケートを取り実施しました。「平塚美術館」「ららぽーと湘南平塚」「戸川公園」「生命の星地球博物館」等へ行き、買い物や観賞、食事を楽しみました。計33名の利用者が参加しました。【表 8-3】
 - ⑧ 利用者及びご家族を対象に、事業所評価アンケートを実施しました。課題を一つひとつを精査して、サービス推進会議で対応の確認と検討を行いました。結果については3月に行った懇談会で報告をしました。
- (2) 専門職との連携とスーパーバイズの充実
- ① リハビリについては、整形外科の医師による診察のもと、リハビリ実施計画を作成しています。生活支援員が中心となり、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師、鍼灸按摩マッサージ師等の専門分野からの意見を必要に応じて取り入れ、支援に活かしました。
 - ② 理学療法士や作業療法士と連携し、介助の困難な方への介助方法を検討し、職員で介助方法の統一を図りました。また、会議で報告を行い、チームアプローチによる支援の方向性を明確にしました。
 - ③ 理学療法士や作業療法士による個別のリハビリ時間を毎月設定し、1日7名程度の利用者に対しリハビリを提供しました。8月に理学療法士（委託）が1名退職し、金曜日はリハビリの専門職が不在となっていますが、希望者を他の曜日に振り替えて対応しました。
 - ④ 食事形態については、言語聴覚士に評価を依頼し、管理栄養士とも連携して利用

者に合わせたものを提供できるように取り組みました。

- ⑤ 複数のサービスを利用している方に関しては、相談支援事業所と連携して、他機関からの情報収集を行い、支援の統一を図り、サービスの向上に努めました。
- ⑥ 通所が安定しない利用者に対しては定期的に自宅を訪問し、コミュニケーションを取ることで健康状態の確認を行なうとともに、通所の再開を促しました。
- ⑦ 地域での単身生活が困難になり、日中に出来る限りの見守りが必要となった方には、行政、関係機関、相談支援事業所と連携し、通所日を増やして見守り時間の確保に努めました。

(3) 個別支援計画

- ① 利用者の希望をもとに個別支援計画を作成し、日々の支援に活かしました。また、各グループに 1 名の個別支援計画担当者を設け、サービス内容の確認を行い、適切なサービスの提供に努めました。
- ② 自己選択、自己決定の困難な利用者においては、家族を含めた話し合いの中で、本人が望むもの、好きなことを探し実践しました。

3. 防災・防犯・事故対策

- (1) 消防設備説明と消火訓練、救命救急講習（4 月）、消火訓練と消防署職員による講話（6 月）、平塚警察署の協力による防犯訓練（8 月）、緊急連絡網訓練（10 月）、火災想定のお知らせ訓練（2 月）を行いました。
- (2) 台風 21 号の影響で、強風及び大雨が予測されていた為、営業時間を短縮して、療育園ともども早帰りとなりました。利用者の安全を第一に考え、今後も異常気象や地震対策に迅速に対応します。
- (3) 事故報告は、9 件ありました。1 件は異食のリスクが無いと判断していた利用者が七宝焼きの作品を口にしてしまう事故でした。緊急で通院し、CT等を撮影したところ 2 mm大のガラスの破片を飲み込んでしまっていることが分かり、内視鏡で取り除きました。幸いにもその後は体調不良を起こすことなくすごされています。なおこの件は県、市にも報告をしました。他 8 件の内容は服薬忘れや欠席時の欠食申請忘れ等でした。
- (4) 転倒報告は、3 件ありました。3 件の内訳は、①便器への移乗の際にバランスを崩して転倒、②椅子から立ち上がり、移動しようとした際にバランスを崩して転倒、③トイレでストレッチャーを使用し着替えをしていた時にバランスを崩して転倒となっています。幸いにも、どれも怪我等はありませんでしたが、再発防止のため介助方法の見直しや環境設定の見直しを行いました。
- (5) 事故・ヒヤリハットが発生した場合は、当日中に職員間で発生した原因や課題を検討し、同じミスが発生させない様に情報を共有しながら改善策を立てました。

4. 苦情解決

- (1) 第三者委員による相談会を10月と3月に行いました。2名の利用者が参加しました。
- (2) 苦情の申し立てはありませんでした。

5. 委員会・会議

(1) 運営会議

月1回 役職者により、課題の整理・検討、外部研修の調整、センター会議の内容の検討等を行っています。

(2) サービス推進会議

月1回 常勤により、課題の具体的な検討、新規利用者の受け入れの検討、行事の実施計画の打合せ等を行っています。

(3) センター会議

月1回 職員全体で個別支援計画及びモニタリングの検討、課題の検討、研修報告等を行っています。当日は利用者の送り時間を2時間早めて実施しています。

(4) グループ会議

センター会議の前には、午前を中心に行っている各グループでの当月の活動の反省と翌月の予定の打合せ等を行い、充実した支援を目指しています。

(5) 虐待防止委員会

年2回 役職者により虐待防止に関する検討、課題の提示、自己チェックリストの実施と集計。チェックリストで挙げた課題を各種会議にて職員全体に周知し課題の検討や改善に向けた取り組みを行っています。

(6) 幹部打ち合わせ

毎週月曜日の午前中、地域支援センターセンター長、副センター長、相談支援課主任、ソーレ平塚施設長、生活支援課長、法人本部課長で週の予定その他当面の懸案事項について協議しています。

(7) その他

- ① ソーレ平塚と合同で行っている委員会、係の担当職員は定期的に会議日を設け、課題検討を行っています。防火管理委員会、食事委員会、編集図書委員会、安全衛生委員会、販売係、フロア連携会議。

ヒヤリはっと委員会、アクティビティ係はそれぞれの部署での課題が異なっている為、部署ごとで会議を行ない、必要に応じて合同で会議を実施しました。

(8) 外部会議等

身障協体育委員会、身障協卓上競技委員会、平塚市障がい者自立支援協議会（こども部会）等の施設外部の会議に委員として参加しています。【表 5-3】

Ⅱ 児童発達支援事業・生活介護事業 『ソーレ平塚療育園』

1. 概況

(1) 利用者の動向

「児童発達支援事業」は、前年度より継続利用の年長児 1 名、年中児 1 名で、登録者は 2 名でした。4 月より 2 名共に長期の入院となり、約 3 か月間利用がありませんでしたが、7 月に無事に退院し、利用を再開することが出来ました。延べ利用者数は 77 名で、前年度の 120 名より大幅な減少となりました。これは年中児 1 名が月曜日に幼稚園通園になったことに加え、2 名とも体調が不安定だったことが原因です。1 名が 3 月末で卒園となり、新年度からは 1 名、週 1 回のみの利用となります。

「生活介護事業」の登録者は 4 月当初は 10 名でしたが、1 名が 12 月にケアセンターに移籍したことで 3 月末の登録者は 9 名となっています。延べ利用者数は 959 人で、出席率は 86.8%でした。利用者数は登録者が減ったことで前年を下回りましたが、出席率は大きく変わりはありませんでした。【資料 12】

(2) 活動の展開

活動によって、グループに分かれ、課題に取り組みました。大きなグループでは、いろいろな意見や賑やかな雰囲気を感じ、小さなグループでは、落ち着いた中でゆったりと過ごしています。制作活動も充実しており、カレンダー制作は、季節を感じながら取り組んでいます。ケアセンター“風グループ”と共同で仕上げた壁面制作の「かっぱ」は、地域のお祭りに出展し、大変好評を得られました。

「個別支援計画」には、本人の楽しみを実現するための前向きな内容を盛り込むようにしており、家族からの聞き取りでも、より具体的な希望が上がるようになってきました。工夫をしながら個別の支援や外出の機会を作り、継続的な関わりの中で様々な反応や可能性を引き出しています。【資料 13、14、15】

(3) その他の課題

業務の効率化を目的に、記録ソフト（タスクウェア）を導入しました。

(1 ページ 1 概況 (4) 参照)

2. 運営課題

(1) 幼児に対する療育の充実（児童発達支援事業）

- ① 一人ひとりの発達状況や個性に合わせた療育を展開しています。療育日は月曜日と木曜日の週 2 回で、療育時間は 9 時 20 分から 13 時 30 分です。個別支援に基づき、日々の療育や関わりに目的と目標を持って取り組んでいます。
- ② 子ども同士の関わりや、反応の違いを感じながら、ふれ合いの中で成長を促すことができるようになりました。
- ③ 近隣保育園との交流を行ないました。体操やお遊戯に取り組む園児たちの輪の中に入り、緊張感や楽しさを共感したことで、様々な表情の変化が見られました。
- ④ 整形外科医の指示の基に、理学療法士によるリハビリを定期的に行ないました。成長や状態に伴う変化が著しいので、症状に合わせて適切な判断をしながらプロ

グラムを実施しています。家族との情報交換も密に行いました。

- ⑤ クリスマスにちなんだお楽しみ会では、大勢の方々と、楽しくプログラムに参加しました。普段の療育と違う雰囲気の中で、興味の広がりを見ることが出来ました。
- ⑥ 児童発達支援評価表を用いて事業所の自己評価を行い、結果をホームページ上で公表しました。

(2) 成人に対するサービスの充実（生活介護事業）

- ① 一人ひとりの身体状況を確認しながら、環境づくりやプログラムを立案しています。健康状態の変化に迅速に対応し、排痰やリラックスを目的とした関わりを行いました。
- ② 個別支援計画は、本人と家族の意向や要望を確認しながら作成し、日々の生活に活かし、それぞれが掲げた目標に沿って取り組みました。
- ③ 今年度も、季節感を大切にした取り組みとして、年間を通してカレンダー制作に取り組みました。それぞれ個性豊かな作品が仕上がり、ご家族にも喜んでもらえました。
- ④ 加齢や身体状況の変化に伴い、食事姿勢や食事形態の見直しを摂食指導の専門医の助言を基に、セラピスト、栄養士と連携し検討しました。
- ⑤ 利用者及びご家族を対象に、事業所評価アンケートを実施しました。課題を一つひとつ精査して、支援の向上に繋がられるよう取り組みました。

Ⅲ 平塚市地域活動支援センター事業『ソーレ平塚地域活動支援センター』

1. 概況

(1) 利用者の動向

重度重複障がい児の放課後支援であるタイムケア事業は、3月末日で2名の登録数となりました。平成30年度は実利用児数2名、延べ人数は69名の利用で、平成29年度より大幅に減少しました。

一方、地域活動支援センター利用者延べ人数は、6名でした。今後も生活支援センター（相談支援事業）と連携し、通所先の無い方々に対応していきます。また、受け入れ部署は年間を通して、人所部門と通所部門が協力して行い、細かな要望に応じています。【資料16】

(2) 事業の展開

学齢児の放課後支援（タイムケア事業）については、専属の看護師と支援職員を配置して対応しました。タイムケア登録者は全員が重症児であり、現在登録している2名のうち1名は医療的ケアが必要な児童です。今後も本人と家族のニーズに応え、利用児が地域で安心した生活が送れるようサポートします。

当施設の地域活動支援センターは、活動を目的とした定期利用と、土日の家族の外出による一時預かり、法事や家族の就労支援、また、家族の通院、手術、外出等によるデイサービス終了後の平日の受け入れが主な理由となっています。

2. 運営課題

(1) 放課後支援（タイムケア事業）のあり方の検討

学齢児の放課後支援においては、地域に放課後等デイサービスの事業所が増えたことで、市の事業として行ってきたタイムケア事業の役割は、放課後等デイサービスで担えるようになりました。医療的ケア児の対応が出来る事業所もあり、タイムケア事業へのニーズは減っています。新年度も新規利用の希望は挙がりません。

現在の利用児に適切な支援を継続的に行うと同時に現状を分析し、今後のタイムケア事業のあり方を検討しています。

(2) 関係機関との連携

タイムケア事業では、「放課後等支援事業所連絡会」、「学齢児サービス提供事業所情報交換会」に参加し、各施設の情報共有と今後の課題について検討しました。

IV 平塚市障がい児者相談支援事業『ソーレ平塚生活支援センター』

1. 概況

平成 29 年の相談件数は 5,800 件でしたが、平成 30 年度の相談件数は 6,601 件と、801 件増加しました。増加の理由は相談支援事業所の存在が地域や各関係機関に浸透したこと、サービス等利用計画作成・モニタリングに伴う電話連絡や調整、利用計画で関わりだしたことで生じた新たな障がい者、障がい者家族のニーズが見えて来たことが大きな要因です。平成 30 年度はモニタリングも含むサービス等利用計画作成の延べ件数は 708 件で、平成 29 年度の 612 件から 96 件の増加となりました。増加の理由は法改正によりモニタリングの頻度が高まっていることが要因です。

『相談員の集い』は、2 年目となる今年度も相談員のスキルアップや情報交換等の場として継続しました。また、相談支援体制の一本化に向けて、課長、主任相談員で行う『コア会議』で具体的な検討を進め、10 月からは相談員の集いを月 2 回の開催に変更して、相談員が集まる機会を増やしました。新年度からは『しせん相談支援連絡会』と名称を改めて、相談員研修やスーパーバイズの機会を増やしていきます。

2. 支援の状況

(1) 相談支援事業実績

平成 30 年度の相談の利用状況は、実人員 211 名、延べ件数 6,601 件でした。電話での対応が 75%と中心になっています。相談者は、医療・福祉関係者が 47%、本人が 25%、家族が 17%となり、行政からの相談が 10%です。医療・福祉関係者からの相談が多く、関係機関との連携や相談が増えています。内容は、利用調整が 51%、次いで保険・医療・健康管理関係が 10%、施設関係が 8%となっています。

一方、新規相談者は 74 名で、平成 30 年度から新たにサービス等利用計画を作成し、関わりを持ちだした方は 14 名です。平塚市障がい福祉課からのサービス導入に伴う計画作成依頼が主ですが、他事業所・医療保険の訪問系サービスからのサービス調整依頼が 2 件ありました。残りの方は、電話や来所相談にて、就労先・利用出来るサービス内容・福祉用具・入所先・集いの場探し等に関して、相談が挙がり、制度の案内や紹介、情報収集と情報提供、他機関への紹介、不安傾聴で終了となっています。

3. 運営課題

(1) 相談員の質の確保と向上

平成 30 年度は相談支援課長を含め、相談員 4 名体制で業務にあたりました。初回の家庭訪問や困難ケースへの関わりには、複数の相談員で対応することを心掛けています。

また、すこやか園生活支援センターと相談員全員が集まる『相談員の集い』を 10 回、課長、主任で行う『コア会議』を 3 回開催しました。併せて、入所施設（ソーレ平塚）と通所施設（ソーレ平塚ケアセンター・療育園）の『相談連絡会』は継続してい

ます。

(2) 一般的な相談と利用計画のバランスに配慮した業務の推進

平成30年4月の法改正で、サービス等利用計画のモニタリング標準期間が短く設定されたことで、本人及び家族、サービス提供事業者との面談・連絡回数は増加しました。一方で新規の相談も挙がるので、計画的かつ迅速な対応を常に心がけています。また、サービスありきではなくエンパワメントの視点に立って、当事者の出来る能力を見極めて関わりました。

(3) 地域ネットワーク化の推進

「ネットワーク会議」、「特別支援学校との業務連絡会」、「虐待防止ネットワーク」等に出席しました。学齢児から高齢者まで幅広く関係者・当事者と意見を交換し、ネットワーク化の推進に結び付けました。地域包括支援センター、特別支援学校や民生委員、地域の自治会等との連携はこれからの地域福祉を作っていく上で欠かすことのできない要素です。会議等に複数の職員で参加することにより、組織内に置いて会議の意味や役割を職員間で共通認識できるように取り組んでいます。その結果として、職員一人ひとりが地域におけるソーレ平塚生活支援センターの位置づけを理解し、役割と業務内容の明確化を課題としてとらえています。

(4) 平塚市障がい者自立支援協議会の運営

自立支援協議会に3回、企画運営部会に9回、身障分科会に5回、こども部会に1回、計画相談支援分科会に6回、出席しました。

(5) 当事者の声を反映させる支援の模索

福祉制度やサービスの展開だけでは、障がい者やその家族の生活が成り立たない現実があります。それは、社会保障費の抑制、貧富の格差拡大、地域や家族力の低下、母（父）子家庭の増加等の社会構造の変化に負うところが大きいです。こうした社会を少しでも障がい者が生きやすい社会に近づけるには、まずは、障がい者のことを地域の人たちに知ってもらう必要があります。普及啓発の方法や対象者、手段について課題はありますが、平塚市自立支援協議会の身障分科会の場を活用して、当事者と共にできることから企画し、実施していくことを考えています。

(6) 認定調査の実施

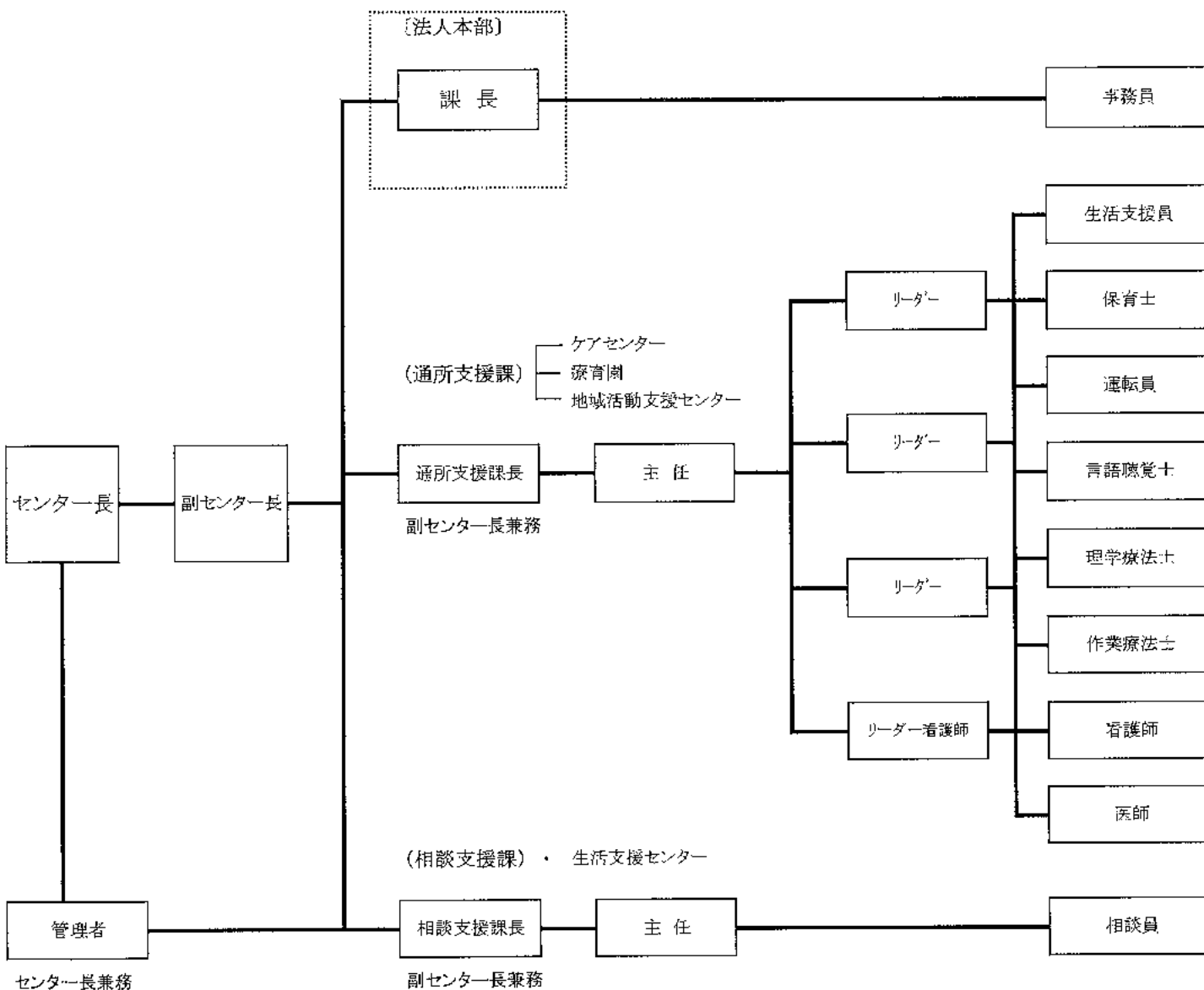
知的・精神・身体障がいと多様な障がい者の方の障害支援区分の認定調査を合計58件行いました。

【資料17】

(資料1) 平成30年度 ソーレ平塚地域支援センター 職員構成図

	常勤	準職員	パート	アルバイト	業務委託	合計
ソーレ平塚ケアセンター	7(兼務2)	0	6(兼務2)	0	6(兼務1)	19
ソーレ平塚療育園	2	0	2(兼務2)	0	3(兼務1)	7
ソーレ平塚地域活動支援センター	1(兼務)	0	1(兼務)	0	0	2
ソーレ平塚生活支援センター	3(兼務1)	0	2(兼務)	0	0	5
法人事務局	1	0	0	0	0	1
合計	14	0	11	0	9	34

(資料2) 平成30年度 ソーレ平塚地域支援センター 組織図



(資料3)

ソーレ平塚ケアセンター・療育園・地域活動支援センター

平成30年度 通所カレンダー(実績)

【2018~2019年】

4月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

11月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

12月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

1月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

→ 会議・大掃除(12月)の為14:00早送り

→ 休み

*月～金曜日の祝日は営業

260 日営業

(資料4) 組織、施設の運営状況

職員採用、退職職員(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	法人内異動	採用						退職					
		転入	転出	常勤	準職員	パート	アルバイト	委託	常勤	準職員	パート	アルバイト	委託
ケア	センター長												
	サービス管理												
	生活支援員										1		
	看護師					1					1		
	理学療法士												1
	作業療法士												
	言語聴覚士												
	運転手												
療育	嘱託医												
	児童発達支援管理								1				
	保育士												
	看護師												
	理学療法士												
	作業療法士												
	言語聴覚士												
地活	生活支援員												
支援	相談員												
兼務	管理栄養士												
兼務	事務員												
合計		0	0	0	0	1	0	0	1	0	2	0	1

(資料5) 施設内・外部研修及び外部会議・業務連絡会

表5-1 施設内部研修

実施日	内容	講師	対象者
4月23日	全体職員会議(他25、27)	施設長、センター長等	全職員(運転手を除く)
6月20日	2～8年目研修	勝山課長、城所副主任	星野
10月29日	摂食研修	大塚D r	小池、田島、中島、向井、星野
11月7日	9～17年目研修	センター長、勝山課長、佐藤主任	奥田、向井、寺澤
2月25日	摂食研修	大塚D r	小池、中島、向井、星野

表5-2-1 外部研修

実施日	研修内容	場所	出席者
4月18日	法人人事考課研修	ソーレ平塚	副センター長、佐藤
4月20日	救命救急講習	ソーレ平塚	麻生、鈴木、杉山
5月14日	平成30年度障害福祉サービス報酬改定説明及び勉強会	TKC東京駅日本橋 カンファレンスセンター	副センター長
5月29日	摂食研修	神奈川 リハビリテーション病院	奥田
6月28日	県サービス管理責任者研修補足研修	やまと芸術文化ホール	荻野

表5-2-2 外部研修

実施日	研修内容	場所	出席者
7月12日	平塚市権利擁護講演会	平塚市保健センター	副センター長
7月13日	平塚市障がい者自立支援協議会 こども部会第1回学齢児サービス提供事業所情報 交換会	平塚市勤労会館	向井
7月19日	平塚市障がい者自立支援協議会 こども部会障害児虐待研修	平塚保健センター	副センター長
7月31日 ～8月1日	全国身体障害者施設協議会研究発表大会	グランキューブ大阪	星野
8月24日	県サービス管理責任者研修共通講義	県社会福祉会館	荻野
9月5日	障害福祉サービス事業所における 感染症対策研修	県社会福祉会館	小池
9月11日	排泄ケア事例発表セミナー	八洲学園大学	向井
9月14日 ～16日	音楽療法全国大会	サンポートホール高松	中島
9月19日 ～20日	県サービス管理責任者研修	県社会福祉会館	荻野
10月2日	安全運転管理者法延講習	平塚中央公民館	佐藤
10月17日	JSYネット研修会	ソーレ平塚	副センター長、佐藤
10月19日	県事業所等指導講習会	県民センター	副センター長
11月1日	平塚市障がい者自立支援協議会こども部会研修会	平塚市勤労会館	副センター長
11月27日	平塚市障がい者自立支援協議会学齢児サービス提 供事業所情報交換会	平塚市教育会館	副センター長
12月17日	第36回神奈川県障害福祉職員実践報告会	県社会福祉会館	佐藤
12月18日	ライフステージにおける支援（研修）	横浜新都市ホール	奥田
1月18日	平塚市障がい者自立支援協議会こども部会研修会	平塚市教育会館	中島
1月19日	重度障害児者の「食べる」を支援する	太田区産業プラザPio	田島
2月7日	働き方改革説明会	県青少年センター	副センター長
2月8日	ケアテックス2019	東京ビッグサイト	荻野
2月21日	平成30年度従事者研修「けいれんのいろは」	平塚保健福祉事務所 秦野センター	星野
2月24日	重症心身障害児（者）と家族の看護	中野サンプラザ	小池
2月26日	平成30年度非正規職員向け研修（応用編）	県社会福祉会館	鈴木
3月14日	県社協施設部会研修会	キャメロットジャパン	副センター長

表5-3-1 外部会議及び業務連絡会

実施日	内容	場所	出席者
4月2日	法人新採用オリエンテーション	ソーレ平塚	麻生、鈴木、杉山
4月3日	法人永年勤続表彰	ソーレ平塚	中島、小池、向井、 佐藤正、竹内
4月6日	報酬改定事業所懇話会	保土ヶ谷公会堂	副センター長
4月19日	法人経営会議	ソーレ平塚	センター長
4月23 日、25 日、	全休職員会議	ソーレ平塚	全職員
4月23日	YES、愛DO！実行委員会	なでしこライオンズクラブ	中島

表5-3-2 外部会議及び業務連絡会

実施日	内容	場所	出席者
5月1日	法人施設運営会議	精陽学園	センター長
5月7日	YES、愛DO！出演者会議	なでしこライオンズクラブ	中島、荻野
5月9日	法人機関紙編集委員会	ソーレ平塚	奥田
5月10日	身障協卓上競技委員会	翔の会研修センター	向井
5月18日	合同事業所説明会	平塚総合体育館	副センター長、佐藤
5月21日	YES、愛DO！実行委員会	なでしこライオンズクラブ	中島
5月24日	鶴見短大保育科実習懇談会	鶴見短大学生会館	副センター長
5月28日	法人経営会議	ソーレ平塚	センター長
5月29日	法人監事監査	あけぼの園	センター長、副センター長
6月1日	法人理事会	ソーレ平塚	センター長、副センター長
6月6日	法人施設運営会議	ソーレ平塚	センター長、副センター長
6月14日	法人経営会議	ソーレ平塚	センター長
6月16日	法人評議員会	精陽学園	センター長、副センター長
6月18日	障がい者による作品展示販売会話し合い	平塚市福祉会館	副センター長
6月22日	身障協体育委員会	県社会福祉会館	星野
6月27日	平塚市施設長会議	平塚市教育会館	副センター長
7月3日	法人施設運営会議	すこやか園	センター長
7月12日	身障協卓上競技委員会	翔の会研修センター	向井
7月18日	福祉のしごとフェア	平塚ラスカホール	センター長、副センター長
7月19日	法人経営会議	ソーレ平塚	センター長
7月24日	平塚市障がい福祉施設連絡協議会第2回施設長会	ソーレ平塚	センター長、副センター長
7月25日	利用者担当者会議	利用者自宅	中島、小池
8月3日	身障協体育委員会	県社会福祉会館	星野
8月3日	福祉ショップ「ありがとう」売り子話し合い	サンメッセしんわ	副センター長
8月9日	法人施設運営会議	あけぼの園	センター長
8月23日	平塚市虐待防止ネットワーク協議会	平塚市保健センター	副センター長
8月23日	法人経営会議	ソーレ平塚	センター長
9月4日	法人施設運営会議	精陽学園	センター長
9月20日	法人経営会議	ソーレ平塚	センター長
9月21日	湘南西部重心及び医療的ケアネットワーク会議	精陽学園	副センター長
9月21日	身障協卓上競技委員会	太陽の家	向井
9月21日	平塚市障がい者自立支援協議会こども部会	平塚市にこにこ園	中島
9月21日	身障協体育委員会	スカイアリーナ座間	星野
10月2日	法人施設運営会議	ソーレ平塚	センター長
10月5日	法人安全衛生委員会	ソーレ平塚	センター長
10月10日	障がい者による作品展示販売会実行委員会	平塚市福祉会館	荻野
10月17日	JSYネット定例会	ソーレ平塚	センター長、副センター長、佐藤
10月19日	県事業所等指導講習会	県民センター	副センター長
10月26日	身障協体育委員会	県社会福祉会館	星野
10月29日	法人経営会議	ソーレ平塚	センター長
11月2日	法人理事会	ソーレ平塚	センター長、副センター長
11月6日	法人施設運営会議	すこやか園	センター長
11月8日	法人情報管理システム会議	精陽学園	佐藤
11月10日	法人評議員会	ソーレ平塚	センター長、副センター長
11月16日	法人経営会議	ソーレ平塚	センター長
11月22日	法人内部監査	精陽学園	寺澤

表5-3-3 外部会議及び業務連絡会

実施日	内容	場所	出席者
11月27日	平塚市障がい者自立支援協議会 子ども部会学齢児サービス提供事業所情報交換会	平塚市教育会館	副センター長
11月28日	肢体不自由教育部門生徒の進路に関わる連絡会	平塚養護学校	佐藤
11月30日	身障協卓上競技委員会	太陽の家	向井
12月6日	福祉ショップ「ありがとう」販売担当者会議	サンメッセしんわ	副センター長
12月14日	YES、愛DO！実行委員会	なでしこライオンズクラブ	副センター長
12月18日	法人人材育成委員会	ソーレ平塚	副センター長
12月20日	法人経営会議	ソーレ平塚	センター長
1月7日	新年賀詞交歓会	キャメロットジャパン	センター長
1月8日	法人施設運営会議	精陽学園	センター長
1月16日	法人表彰・懲戒委員会	ソーレ平塚	センター長
1月17日	法人経営会議	ソーレ平塚	センター長
1月17日	平塚市高齢者 及び障がい者虐待防止等ネットワーク協議会	平塚市保健センター	副センター長
1月23日	法人情報管理システム委員会	ソーレ平塚	佐藤
1月24日	法人人材育成委員会	ソーレ平塚	副センター長
1月31日	放課後支援関係事業所連絡会	平塚養護学校	荻野
2月1日	合同事業所説明会説明会	平塚養護学校	副センター長
2月5日	法人施設運営会議	ソーレ平塚	センター長
2月8日	湘南西部重心医療的ケアネットワーク会議	平塚養護学校	副センター長
2月13日	県地域生活サポート事業運営費補助事業説明会	県民センター	副センター長
2月18日	YES、愛DO！実行委員会	なでしこライオンズクラブ	副センター長
2月19日	法人人材育成委員会	ソーレ平塚	副センター長
2月27日	JSYネット定例会	わらべの社	センター長、副センター長、佐藤
3月1日	法人理事会	ソーレ平塚	センター長
3月14日	法人情報管理システム委員会	ソーレ平塚	佐藤
3月16日	法人評議員会	すこやか園	センター長、副センター長
3月22日	法人総括安全衛生委員会	すこやか園	センター長、副センター長

(資料6) 見学・実習生の受け入れ

表6-1 見学等

実施日	見学、交流	人数
5月18日	神奈川社会福祉専門学校1年生施設見学	28名
8月27日	平塚養護学校教員及び保護者見学	4名
11月19日	梅光園職員見学	8名

表6-2 実習生の受け入れ

学校名等	期間	日数	人数	受け入れ先
鶴見短期大学	8月24日～9月9日	11日	1人	ケアセンター
鎌倉女子大学	9月13日～27日	11日	1人	ケアセンター
神奈川社会福祉専門学校	11月15日～21日	5日	1人	ケアセンター
神奈川社会福祉専門学校	11月26日～30日	5日	1人	ケアセンター
鶴見短期大学	2月25日～3月11日	5日	1人	ケアセンター
関東学院大学	3月11日～3月26日	12日	1人	ケアセンター

(資料7) ソーレ平塚ケアセンター
支援の状況

表7-1 利用者の状況

	登録者	新規	終了	予定数	延べ人員	一般浴	特殊浴	給食	実習生	延べ人数
4月	35	0	0	354	296	9	120	263	0	0
5月	36	1	0	408	344	9	127	306	0	0
6月	36	0	0	369	277	8	104	254	0	0
7月	35	0	1	382	320	9	128	292	0	0
8月	35	0	0	321	268	7	95	236	0	0
9月	35	0	0	367	312	7	116	280	0	0
10月	35	0	0	418	331	9	130	292	0	0
11月	36	1	0	381	297	9	117	283	1	2
12月	38	3	1	368	270	8	114	238	0	0
1月	37	0	1	338	275	8	114	237	0	0
2月	38	1	0	367	304	8	121	265	1	2
3月	37	1	2	391	324	8	129	237	0	0
合計		7	5	4464	3618	99	1415	3183	2	4
平成29年度実績				4438	3716	210	1390			
平成28年度実績				4341	3752	282	1377			
平成27年度実績				4480	3806	317	1337			
平成26年度実績				5029	4479	344	1718			

表7-2 市町村別人数

	平塚市	藤沢市	伊勢原市	二宮町	大磯町	合計
男	22	0	0	1	0	23
女	13	0	0	1	0	14
合計	35	0	0	2	0	37

表7-3 障害種別人数

性別/障害	脳性麻痺	脳血管障害	頸椎損傷	頭部外傷	筋ジス	その他	合計
男	8	3	3	3	2	4	23
女	2	5	0	2	0	5	14
合計	10	8	3	5	2	9	37

表7-4 身体障害者手帳等級別人数

性別／等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
男	16	7	0	0	0	0	23
女	9	2	1	0	0	1	13
合計	25	9	1	0	0	1	36

表7-5 療育手帳障害程度別人数

性別／療育手帳	A1	A2	B1	B2	合計
男	5	2	0	0	7
女	3	2	0	0	5
合計	8	4	0	0	12

表7-6 精神障害者保健福祉手帳障害等級別人数

性別／等級	1級	2級	3級	合計
男	0	1	2	3
女	1	1	0	2
合計	1	2	2	5

表7-7 障害支援区分別人数

性別／障害支援区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0	0	2	4	7	10	23
女	0	1	2	2	2	7	14
合計	0	1	4	6	9	17	37

表7-8 年齢別人数

性別／年齢	18～ 19	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 64	65～	合計
男	2	1	6	6	7	1	0	23
女	0	1	2	6	3	2	0	14
合計	2	2	8	12	10	3	0	37

(資料8) 日中活動

表8-1 行事

	内 容
4月	花見外出、ソーレ周辺散歩、春の展示即売会 フライングディスク大会、日帰り外出①
5月	菖蒲湯入浴、YES、愛DO!、ドッグヒーリング 陸上競技大会、日帰り外出②③④ 喫茶ア・モーレイイベント①
6月	防災訓練、ローリングバレー神奈川交流大会、七夕飾りつけ 日帰り外出⑤⑥⑦ 喫茶ア・モーレイイベント②
7月	防災訓練、施設内卓上交流会、夏の展示即売会 喫茶ア・モーレイイベント③
8月	日帰り外出⑧⑨⑩ かつぱ祭り展示会、 ローリングバレー審判講習会
9月	日帰り外出⑪⑫、神奈川県ローリングバレーボール大会 喫茶ア・モーレイイベント③
10月	日帰り外出⑬、秋の展示即売会 ドッグヒーリング ふじみ園展示会、喫茶ア・モーレイイベント⑤
11月	日帰り外出⑭⑮、喫茶ア・モーレイイベント⑥ 身障協ステージ発表、施設内卓上競技大会、防災訓練
12月	地域支援センターお楽しみ会、茶道クリスマス会 日帰り外出⑯、ゆず湯、社会福祉展、冬の展示即売会 卓上競技大会、喫茶ア・モーレイイベント⑦
1月	日帰り外出⑰⑱
2月	節分豆まき、喫茶アモーレイイベント⑧ 通報訓練、市民プラザ障がい者作品展示即売会 喫茶ア・モーレイイベント⑧
3月	ローリングバレーボールぱっする杯、コーラス公民館祭り発表会 地域支援センター懇談会①②、身障協作品展示、喫茶ア・モーレイイベント⑨

表8-2 創作的活動

	グループ活動	自主活動
知的障がいグループ	ショットdeビンゴ、玉入れ、ポッチャ ボール運動、紙すき、風船バレーボール 絵本読み聞かせ、季節にあわせた制作、散歩 壁面制作、音楽活動、カレンダー制作、カルタ 水活動、カラオケ、ゴロ卓球、ポーリング	折り紙、音楽活動、検食簿のお届け ジグソーパズル、ストレッチ体操 日記、学習ドリル、歩行練習、カルタ 塗り絵、似顔絵、お花摘み、読書 ショットdeビンゴ、トランプ、ジェンガ、ドミノ
中途障がいグループ	七宝焼き、ちぎり絵、フランクデイス、販売会準備 パズル、手工芸、折り紙、ユラス、紙すき、避難訓練 ショットdeビンゴ、ポーリング、ポッチャ、ゴロ卓球、散歩 風船バレーボール、卓上ゲーム、季節にあわせた制作 華道、茶道、陶芸、書道、言語訓練、壁面制作	アソビーズ、折り紙、クラフト制作、ポッチャ ジグソーパズル、紙芝居制作、連想ゲーム、模写 ショットdeビンゴ、ユラス練習、大人の塗り絵 麻雀、トランプ、ウイ、ジェンガ、坊主めくり お花、連珠、将棋、連珠、囲碁、読書、陶芸

表8-3 主な外出先一覧

日帰り旅行等	ズーラシア、ららぽーと湘南平塚、戸川公園、オリンピック 生命の星地球博物館、平塚美術館
その他	ソーレ周辺散歩、花菜ガーデン、あさつゆ広場 平塚市役所等の展示即売会

表8-4 趣味活動、ボランティアとの関わり

活動種目	活動内容	回数	ボラ	1回の参加者
書道教室	書道の指導	週1	職員	5~7名
パソコン教室	基本的な使用方法の指導	週1	職員	2~3名
陶芸教室	基本的な作り方の指導	週1	2名	8名
華道・茶道教室	お花、お抹茶の指導	月1	4名	6~8名
囲碁教室	囲碁の指導	月2	1名	1名
ポーリングバレーボールクラブ	大会への参加、練習	週1	1名	5名
七宝焼きクラブ	基本的な作り方の指導	月3	1名	3~5名
ポッチャ	基本的なポッチャの練習	週1	0名	10名
ユーロ・ピアノフェスティバル	歌の発声、ピアノの伴奏、指導	週1	2名	9名
美容	美容(有償)	適宜	1名	希望
喫茶アモーレ	喫茶店のバイト	隔週1	14名	希望
オセロ・将棋	オセロ・将棋の指導	適宜	1名	希望
麻雀	マージャンの指導	週1	1名	3~4名

表8-5 スポーツ大会等への参加者

日 時	内 容	参加者人数	会 場
4/15 (上)	県FD競技会	3名	厚木及川球場
5/27 (日)	YES, 愛 DO	7名	トッケイセキュリティー平塚 総合体育館
5/13 (日)	県陸上競技大会	2名	相模原ギオンスタジアム
6/9 (土)	ローリングバレーボール大会	6名	藤沢市秋葉台体育館
9/22 (土)	ローリングバレーボール大会	6名	座間市立体育館
11/17 (土)	身障協ステージ発表	7名	藤沢市太陽の家体育館
12/1 (土)	身障協卓上競技大会	2名	藤沢市太陽の家体育館
3/2 (土)	金田公民館まつり	7名	金田公民館
3/9 (土)	ローリングバレーボール大会	3名	座間市立体育館

表8-6 医師の診察

(整形外科/リハビリに伴う診察、歯科、皮膚科)

診察科目	人数	回数
整形外科	39人	26回
歯科	0人	0回
皮膚科	0人	0回

(資料9) 年間行事予定表

4月	花見	10月	コーラス施設内発表	3月	懇談会
	県フライングディスク大会	11月	平塚市福祉まつり		ボランティア懇談会
5月	菖蒲湯		県身障協スーパージ発表		ひな祭り
	チャリティコンサートYes, 愛, do		卓上ソーレ杯		県身障協作品展示
	県陸上競技大会	12月	クリスマス会		県ローリングバレーボール大会
6月	卓上競技ソーレ杯		餅つき大会		金田公民館祭り
	県ローリングバレーボール大会		柚子湯		
8月	プール外出		県身障協卓上競技大会		
9月	県ローリングバレーボール大会	2月	節分	(通年) 日帰り旅行	

(資料10) 週間行事予定表

	午前	頻度	午後	頻度
月	書道	1/週	卓上競技	2/月
	パソコン	1/週	ローリングバレーボール	4/月
	理容	1/月	将棋・オセロ	1/週
	鍼灸マッサージ師	1/週	作業療法士	1/週
	言語聴覚士	1/週		
火	七宝焼き	4/月	囲碁	2/月
	理学療法士	1/月	将棋・オセロ	2/月
水	喫茶アモーレ	1/隔週	喫茶アモーレ	1/週
	パソコン	1/週	コーラス	1/週
	七宝焼き	1/月	杉山産業医	1/月
	作業療法士	2/月		
	コーラス	1/週		
木	鍼灸マッサージ師	1/週		
	整形外科医	2/月		
	理学療法士	1/週		
金	陶芸	1/週	スポーツ	1/月
	華道・茶道	1/月	創作	1/月
			料理	1/月
			カラオケ	1/月
他	美容	適宜		

(資料11) 日課表 (ソーレ平塚ケアセンター)

時間	活動内容	時間	活動内容
8:30	職員打合せ	13:00	バイタルチェック
8:50	お迎え出発		入浴、リハビリ、活動
9:50	利用者到着	15:30	利用者帰りの会
10:10	利用者朝の会	16:00	送り出発
	活動、リハビリ、入浴		
11:30	昼食準備	17:00	送迎終了、職員打合せ
12:00	昼食	17:30	業務終了

(資料12)

表12-1 機関別人数

機関名 市町村名		神奈川中央児童相談所			厚木児童相談所		合計
		平塚市	大磯町	二宮町	伊勢原市	秦野市	
成人	男	3	2	0	0	0	5
	女	3	0	0	1	0	4
幼児	男	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	1	1
合計		6	2	0	1	2	11

表12-2 利用状況・成人

	登録者	新規	終了	予定数	延べ人数	一般浴	特殊浴	実習生	延べ人数
4月	10	0	0	92	86	0	61	0	0
5月	10	0	0	99	85	0	55	0	0
6月	10	0	0	96	84	0	51	0	0
7月	10	0	0	97	80	0	54	0	0
8月	10	0	0	84	71	0	47	0	0
9月	10	0	0	93	77	0	52	0	0
10月	10	0	0	103	89	0	60	0	0
11月	10	0	0	104	91	0	59	0	0
12月	9	0	1	84	80	0	51	0	0
1月	9	0	0	78	62	0	41	0	0
2月	9	0	0	84	75	0	49	0	0
3月	9	0	0	91	79	0	41	0	0
合計		0	1	1105	959	0	621	0	0
平成29年度実績				1110	995	0	639		
平成28年度実績				1346	1182	0	711		
平成27年度実績				1383	1272	0	793		

表12-3 利用状況・幼児

	登録者	新規	終了	予定数	延べ人数
4月	2	0	0	13	4
5月	2	0	0	14	0
6月	2	0	0	12	0
7月	2	0	0	6	5
8月	2	0	0	10	8
9月	2	0	0	13	8
10月	2	0	0	13	10
11月	2	0	0	14	13
12月	2	0	0	12	7
1月	2	0	0	12	8
2月	2	0	0	12	8
3月	2	0	0	12	6
合計		0	0	143	77
平成29年度実績				186	120
平成28年度実績				100	40
平成27年度実績				100	32

表12-4 欠席理由

	SS	入院	通院	体調	その他	合計
成人	9.1	0	11.2	51.7	28	100
幼児	8.6	41.4	18.6	7.1	24.3	100

(表示は%)

表12-5 障害種別人数

性別/種別	脳性マヒ	小頭症	てんかん	その他	合計
男	3	0	2	2	7
女	2	0	1	1	4
合計	5	0	3	3	11

表12-6 身体障害者手帳等級別人数

性別/等級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
男	5	1	0	0	0	0	6
女	4	1	0	0	0	0	5
合計	9	2	0	0	0	0	11

表12-7 療育手帳障害程度別人数

性別/療育手帳	A1	A2	B1	B2	合計
男	7	0	0	0	7
女	4	0	0	0	4
合計	11	0	0	0	11

表12-8 年齢別人数

性別/年齢	0~2	年少	年中	年長	18~19	20~29	30~39	40~49	合計
男	0	0	0	1	0	2	2	1	6
女	0	0	1	0	0	0	4	0	5
合計	0	0	1	1	0	2	6	1	11

表12-9 大島分類

21	22	23	24	25	80 (IQ)
20	13	14	15	16	70
19	12	7	8	9	50
18	11	6	3	4	35
17	10		2 (1名)	1 (10名)	25
走れる	歩ける	歩行障害	すわれる	ねたきり	0

(資料13) 療育活動

表13-1 活動内容

感覚	外気浴、スヌーズレン、感触
音楽	リトミック、楽器演奏、歌
お話し	パネルシアター、紙芝居、ブラックシアター、絵本
制作	カレンダー、季節の制作
運動	バルーン、散歩、ストレッチ、トランポリン
その他	風船遊び、ペープサート

表13-2 行事

	成人	幼児
4月	花見外出、春の展示即売会	
5月	菖蒲湯、YES、愛DO!、ドッグヒーリング、日帰り外出①・②、喫茶ア・モーレイベント①	
6月	防災訓練、七夕飾りつけ、ローリングバレー神奈川交流会、日帰り外出③、④、喫茶ア・モーレイベント②	
7月	防災訓練、夏の展示即売会、日帰り外出⑤、喫茶ア・モーレイベント③	
8月	かつげ祭り展示会、日帰り外出⑥、プール外出	
9月	神奈川県ローリングバレーボール大会、日帰り外出⑦、⑧、喫茶ア・モーレイベント④	交流保育
10月	ドッグヒーリング、秋の展示即売会、ふじみ園展示会、喫茶ア・モーレイベント⑤、日帰り外出⑨	
11月	喫茶ア・モーレイベント⑥、身障協ステージ発表、社会福祉展、日帰り外出⑩、防災訓練	交流保育
12月	お楽しみ会、餅つき、ゆず湯 冬の展示即売会、社会福祉展、喫茶ア・モーレイベント⑦	お楽しみ会、引き取り訓練
1月	書初め	
2月	節分豆まき、防災訓練、喫茶ア・モーレイベント⑧市民プラザ障がい者作品展示即売会、通訳訓練	外出
3月	ローリングバレーボールぼつする杯、地域支援センター懇談会①・②、身障協作品展示、喫茶ア・モーレイベント⑨	卒園式

表13-3 主な外出先一覧

日帰り外出等	ズーラシア・ららぽーと湘南平塚・オリンピック・生命の星地球博物館
その他の外出	花菜ガーデン・ソーレ周辺・金田小学校

表13-4 関係機関との連携

月日		目的・内容	対応職員
9月21日	第1回児童発達支援事業所情報交換会	近況報告、情報交換	中島

表13-5 養護学校実習生の受け入れ

実施日	利用者	日数	学校名 学年
2月7日～8日		2日	平塚養護高等部2年

(資料14) 年間行事予定表 (ソーレ平塚療育園)

4月	(進級式)	12月	柚子湯
5月	菖蒲湯	1月	書初め
	(遠足)	2月	節分
6月	(保育参観)	3月	卒園式
8月	プール		懇談会
10月	運動会		ボランティア懇談会
	コーラス施設内発表		
12月	クリスマス発表会	(通年) 日帰り旅行 金田保育園との交流会	
	餅つき		

(資料15) 日課表 (ソーレ平塚療育園)

時間	活動内容(幼児)	時間	活動内容(成人)
8:30	職員打合せ	8:30	職員打合せ
8:50	活動準備	8:50	お迎え出発
9:20	登園(母子)、相談	9:50	利用者到着
10:00	バイタルチェック、リハビリ	10:10	利用者朝の会
10:30	朝の会		活動、リハビリ、入浴
	療育活動	11:30	昼食準備
11:30	昼食	12:00	昼食
12:30	自由保育	13:00	バイタルチェック
13:20	帰りの会		入浴、リハビリ、活動
13:30	降園	15:30	利用者帰りの会
		16:00	送り出発
		17:00	送迎終了、職員打合せ
		17:30	業務終了

(資料16) ソーレ平塚地域活動支援センター

支援の状況

表16-1 利用件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ソーレ平塚	男性1F	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	女性2F	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域支援 センター	男性	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	女性	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
タイムケア	男性	5	8	7	2	2	3	7	7	4	3	4	3	55
	女性	3	1	1	1	0	2	3	1	2	0	0	0	14
生活支援 センター	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		8	1	0	4	0	0	11	8	7	0	5	3	75

表16-2 利用時間

		2h	3h	4h	5h	6h	7h	8h	9h	10h	11h	合計
ソーレ平塚	男性1F	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
	女性2F	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域支援 センター	男性	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	女性	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
タイムケア	男性	0	45	10	0	0	0	0	0	0	0	55
	女性	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	14
生活支援 センター	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	75

※h=時間

表16-3 利用の理由

		タイムケア	デイサービス	放課後支援	一時預かり	アクティビティ	その他	合計
	男性	55	0	0	4	0	0	59
	女性	14	0	0	2	0	0	16
合計		69	0	0	6	0	0	75

(資料17)ソーレ平塚生活支援センター

表17-1 施設内部研修会

実施日	内容	講師	対象者
4月23日	平成30年度全体職員会議(他25日、27日)	施設長、センター長他	加藤、寺澤、水越

表17-2 外部研修

実施日	内容	場所	出席者
4月18日	法人人事考課研修	ソーレ平塚	加藤
6月26日	計画相談支援分科会第1回研修会	平塚市役所	加藤、寺澤
7月26日	計画相談支援分科会第2回研修会	平塚市役所	加藤、寺澤
10月19日	計画相談支援分科会第3回研修会	平塚市役所	副センター長、加藤、寺澤、水越
12月18日	計画相談支援分科会第4回研修会	平塚市役所	加藤、水越
2月13日	計画相談支援分科会第5回研修会	平塚市役所	水越

表17-3 外部会議など①

実施日	内容	場所	出席者
4月9日	第1回企画運営部会	平塚市役所	加藤、寺澤
4月26日	第1回計画相談支援分科会	サンシティ平塚	加藤、寺澤
5月15日	相談員の集い	ソーレ平塚生活支援センター	副センター長他相談員
5月16日	合同事業所説明会	平塚市総合体育館	副センター長他相談員
5月25日	第2回企画運営部会	平塚市役所	加藤、寺澤
6月15日	第1回身障分科会	平塚市役所	加藤、寺澤
6月22日	第3回企画運営部会	平塚市役所	加藤、寺澤
6月22日	相談員の集い コア会議	すこやか園	副センター長、加藤
6月26日	第2回計画相談支援分科会	サンシティ平塚	加藤、寺澤
6月29日	第1回自立支援協議会	平塚市役所	副センター長他相談員
7月4日	第1回相談支援ネットワーク会議	平塚市役所	加藤、寺澤
7月12日	成年後見支援ネットワーク会議	保健センター	加藤
7月13日	平塚養護学校情報交換会	平塚養護学校	加藤、寺澤、水越
7月18日	第4回企画運営部会	平塚市役所	加藤、寺澤
7月24日	第2回身障分科会	平塚市役所	加藤、寺澤
7月27日	相談員の集い コア会議	すこやか園	副センター長、加藤
8月10日	第3回身障分科会	平塚市役所	加藤、寺澤
8月23日	虐待防止ネットワーク実務検討会議	平塚保健所	副センター長、加藤
8月29日	相談員の集い コア会議	すこやか園	副センター長、加藤
8月29日	平塚市医療的ケア児支援のための関係機関の競技場設備に掛かる情報交換会	平塚市役所	副センター長、加藤、寺澤
9月11日	第3回計画相談支援分科会	サンシティ平塚	加藤、寺澤
9月12日	第2回相談支援ネットワーク会議	大磯町保健センター	加藤
9月21日	相談員の集い	ソーレ平塚生活支援センター	副センター長他相談員
9月26日	第5回企画運営部会	平塚市役所 本館	加藤、寺澤

表17-4 外部会議など②

実施日	内容	場所	出席者
10月17日	第4回身障分科会	平塚市役所	加藤、寺澤
10月19日	第6回企画運営部会	平塚市役所	加藤、寺澤
10月22日	相談員の集い	すこやか園	副センター長他相談員
11月2日	身障分科会 報告会	平塚市役所	加藤、寺澤
11月6日	第4回計画相談支援分化会	サンシティ平塚	加藤、寺澤
11月12日	相談員の集い	ソーレ平塚生活支援センター	副センター長他相談員
11月16日	第2回自立支援協議会	平塚市役所	加藤、寺澤
11月21日	第5回身障分科会	平塚市役所	加藤、寺澤
11月26日	相談員の集い	ソーレ平塚生活支援センター	副センター長他相談員
11月28日	平塚養護学校肢体不自由教育部門生徒の進路に関わる連絡会	平塚養護学校	副センター長他相談員
12月7日	第7回企画運営部会	平塚市役所	加藤、寺澤
12月10日	相談員の集い	すこやか園	副センター長他相談員
12月17日	県社協 実践報告発表	県社会福祉会館	佐藤、加藤
1月15日	相談員の集い	すこやか園	副センター長他相談員
1月17日	第12回平塚市高齢者及び障がい者虐待防止ネットワーク	平塚市勤労会館	副センター長
1月22日	第3回相談支援ネットワーク会議	伊勢原市青少年センター	副センター長、加藤
1月28日	相談員の集い	すこやか園	副センター長他相談員
1月29日	第5回計画相談支援分化会	平塚市役所 本館	加藤、寺澤
1月29日	第8回企画運営部会	平塚市役所 本館	加藤、寺澤
2月5日	第6回身障分科会	平塚市役所	加藤、寺澤
2月18日	相談員の集い	すこやか園	副センター長他相談員
2月27日	JSYネット	わらべの杜	副センター長、加藤
2月28日	法人幹部職員研修	ソーレ平塚	加藤
3月7日	第9回企画運営部会	平塚市役所	加藤、寺澤
3月11日	相談員の集い	すこやか園	副センター長他相談員
3月12日	第6回計画相談支援分化会	サンシティ平塚	加藤、寺澤
3月22日	第3回自立支援協議会	平塚市保健センター	加藤
3月25日	相談員の集い	ソーレ平塚生活支援センター	副センター長他相談員

1 対応方法（延べ件数）

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
個別対応	電話相談	436	446	425	440	386	355	460	420	358	467	357	419	4969
	来所相談	8	4	3	17	6	9	8	9	3	4	6	8	85
	訪問相談	89	97	74	102	83	76	105	80	79	97	94	89	1065
	同行（病院・施設等）	4	3	1	6	7	6	14	3	9	2	3	1	59
そ の 他		35	26	31	35	49	40	35	34	30	39	35	34	423
合 計		572	576	534	600	531	486	622	546	479	609	495	551	6601

2 年齢（延べ件数及び実人員件数）

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ件数	0～17歳まで	15	17	12	38	7	3	12	41	29	37	44	31	286
	18～39歳まで	157	152	121	180	155	123	182	180	170	149	89	145	1803
	40～64歳まで	385	398	380	358	347	355	415	317	269	380	356	365	4326
	65歳以上	15	9	21	24	22	4	13	7	10	43	6	9	183
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	3
合 計		572	576	534	600	531	486	622	546	479	609	495	551	6601
実人員	0～17歳まで	5	1	1	1	0	0	0	0	2	1	0	1	12
	18～39歳まで	31	9	2	5	3	2	1	2	2	0	1	1	59
	40～64歳まで	53	18	5	7	6	4	7	7	6	2	4	5	122
	65歳以上	6	3	3	1	0	0	1	0	0	1	0	1	16
	そ の 他	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合 計		97	29	11	14	9	6	9	9	10	4	5	8	211

3 新規・継続相談（実人員）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新 規	10	6	5	7	6	4	6	8	10	2	3	7	74
継 続	87	23	6	7	3	2	3	1	0	2	2	1	137
合 計	97	29	11	14	9	6	9	9	10	4	5	8	211

4 障害種別（実人数）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
身体障害	肢 体	67	19	8	4	5	4	7	8	7	1	2	6	138
	そ の 他	11	1	2	3	1	2	2	1	2	0	1	3	29
知的	15	3	1	2	2	2	2	0	0	0	1	2	30	
発達障害	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
精 神	4	1	0	2	1	1	0	0	1	0	0	0	10	
高次脳機能障害	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	
重 心	14	5	1	5	1	0	0	0	1	1	1	0	29	
そ の 他	4	1	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	9	
合 計	119	31	12	16	11	9	12	9	11	4	6	11	251	

(注) 一人で複数の障害を重複している場合は、それぞれ算定。

6 個別相談の相談事由（延べ件数）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
福祉制度・障害福祉サービスの問い合わせ	25	27	27	30	25	17	15	13	28	33	20	16	276
雇用・就労関係	18	17	9	17	22	34	45	26	11	9	22	17	247
住居・住宅関係	18	11	6	7	12	24	15	3	27	13	13	23	172
教育・発達関係	1	1	0	3	0	2	0	0	4	1	2	1	15
保健・医療・健康管理関係	80	60	46	69	58	58	80	60	53	85	42	61	762
家族関係	21	7	8	11	12	19	18	6	8	17	14	13	154
対人間関係	3	6	1	0	4	4	13	5	9	1	2	2	50
経済・年金関係	4	15	3	3	3	5	10	1	4	6	2	7	63
放課後支援	0	0	0	6	6	0	2	5	0	0	0	0	19
施設関係	28	94	62	35	30	39	64	78	28	36	31	50	575
引きこもり	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	4
不安感傾聴	19	17	13	17	21	31	19	7	10	23	10	17	204
利用調整	349	339	304	379	333	229	306	293	276	333	276	307	3724
福祉用具	45	37	42	40	31	38	49	54	29	58	36	22	481
支給決定	38	19	26	36	24	38	52	16	15	41	30	47	382
障害の理解	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
苦情対応	0	0	19	6	1	7	0	3	13	4	3	8	64
権利擁護	0	4	4	5	0	3	2	0	0	0	0	0	18
虐待	1	0	10	4	0	0	0	0	1	2	21	6	45
その他（区分不可能）	2	5	6	1	1	12	8	9	1	0	2	0	47
合 計	652	659	587	669	586	560	698	579	518	663	526	597	7294

（注） 1件の相談で複数の内容について相談を受けたものは、重複して算定。

5-2 （参考）サービス等利用計画作成に係る相談件数（延べ件数）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	509	517	468	551	463	436	560	499	436	580	471	506	5996

6 個別相談の相談者区分（延べ件数）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本人	169	162	116	144	139	128	148	138	125	140	145	128	1682
家族	83	80	95	107	82	86	121	92	85	118	90	100	1139
行政・教育関係	52	43	50	65	59	58	54	44	44	82	60	51	662
医療・福祉関係	266	290	270	279	250	209	296	270	224	268	200	268	3090
その他	2	1	3	5	1	5	3	2	1	1	0	4	28
合 計	572	576	534	600	531	486	622	546	479	609	495	551	6601

7 その他の要素

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ケア会議	5	9	7	5	4	2	4	3	4	2	0	4	49
障害支援区分認定調査	4	2	5	2	4	3	11	1	8	9	5	4	58
サービス等利用計画作成	7	4	11	12	12	11	11	13	14	12	18	12	137
モニタリング	35	39	42	51	47	53	40	44	58	44	52	66	571
講演・研修会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

資料 2-6

平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人 至泉会

すこやか園

I すこやか園

1 概況

平成30年度は、伊勢原市障害福祉センター指定管理者の運営受託（平成27年4月1日～平成32年3月31日）4年目（通算15年目）を迎えました。平成32年度からの5年間の指定管理については、10月に指定管理者候補者選定委員会を経て、運営受託が決定しました。また、伊勢原市の調整により、ボランティアが利用していた作業室を活動スペースとして使用できることとなったため、サービスの充実へ向け、準備を進めました。

職員体制では、児童療育課で欠員となっていた児童指導員を2月に雇用し、体制を整えました。

その他、全体的な取り組みは、以下のとおりです。

(1) 防犯対策

来園者の名札着用（着用していない場合は、職員より一声かける）を徹底しました。

防犯に関する具体策を示した「お知らせ(すこやか園防犯対策平成30年4月版)」の掲示を行い、利用者に発信しました。

9月に県の防犯アドバイザーからのアドバイスを受け、バルコニーにセンサーライトを設置するなど、防犯対策に取り組みました。

(2) 防災対策

6月に、伊勢原消防署員を講師に迎え、「消火訓練」を実施し、消火器の位置や使用方法の確認をしました。また、初期消火の重要性や避難方法、消防計画における自主消防隊の役割分担などを学ぶことができました。10月に総合防災訓練を行い、避難誘導の際のトランシーバーの活用が有効であったため、13台導入し、園内各部署に設置しました。その他、消防計画における自主消防隊の役割分担について確認しました。

【表1-5】

(3) 事故防止対策

事故防止の一環として、「ヒヤリ・ハット報告書」作成を継続的に取り組みました。

平成30年度のヒヤリ・ハット報告の延べ件数は、89件（3月末現在）でしたが、ヒヤリ・ハット報告を職員が意識することで、事故を未然に防ぐ意識が年々高まっています。

【表1-9】

(4) ストレスチェック

ストレスチェックを実施しました。産業医よりアドバイスを受け、職員が心身の健康状態を振り返る機会にもなりました。

(5) 労働衛生について

4月より2か月に1回、安全衛生委員会を開催し、園内の環境整備や職員の労働衛生、労災状況の確認などを行いました。9月には産業医に執務環境に関する助言のもと、換気扇を取り付けるなど、室内空調の改善に取り組みました。

(6) 虐待防止対策

6月より2か月に1回、虐待防止委員会を開催し、「障がい者虐待防止セルフチェックリスト」に基づく各課の取り組みについて共有しました。

(7) 福祉車両の更新等

送迎用の福祉車両1台（レジアスエース）が運用開始から14年経過し、不具合や修理の頻度が増え、サービスの低下を招く事態となったため、計画通り、6月に新たな福祉車両（キャラバン）に更新しました。また、1月には共同募金より助成金をいただき、福祉車両（キャラバン）を増車し、次年度以降考えられる、新規利用希望者増に備えました。

2 平成30年度の施設運営目標に対する評価

(1) すこやか園の指定管理者募集に対し、応募に向けた準備を進めます。

6月に指定管理に関する公募があり、園の運営会議で公募内容や過去に実施した面接審査の内容と、準備のプロセスについて確認しました。8月に、伊勢原市に申込書を提出し、10月には指定管理者候補者選定委員会面接審査を受けました。12月の市議会の決定を経て、平成32年からの5年間の指定管理が決定しました。

(2) 報酬改定に適切に対応します。

複数の職員が説明会等に参加し、情報収集に努めました。また、適切な事務処理を行えるよう変更内容を照らし合わせ、複数の職員で確認をとりながら、適切に対応しました。

3 事業内容

(1) 各事業内容

① 児童発達支援事業報告

「Ⅱ 児童発達支援事業報告」参照。

② 保育所等訪問支援事業報告

「Ⅲ 保育所等訪問支援事業報告」参照。

③ 地域活動支援センター事業報告

「Ⅳ 地域活動支援センター事業報告」参照。

④相談支援事業報告

「Ⅴ 相談支援事業（生活支援センター）報告」参照。

⑤日中一時支援事業報告

「Ⅵ 日中一時支援事業報告」参照。

(2) 伊勢原市指定管理施設運営受託事業

①ボランティア団体の利用承認およびその対応

4 その他

(1) 事故 (0 件)

(2) 苦情 (0 件)

(3) 園の運営についての意見具申や問題提起等をいただく運営委員会を年 2 回(7/13・2/10)開催し、療育や支援の見学や各事業の報告を行いました。前年度と同様に今回も療育・支援の様子を見学していただき、出席委員からは「各事業からの説明を聞き、一つ一つの療育や支援を丁寧に対応していると感じ、感銘を受けた」との意見をいただきました。そのほか、各事業のアンケート結果やヒヤリ・ハットの取り組みと現状分析等の報告を行いました。

Ⅱ 児童発達支援事業

1 概況

今年度は、利用児 63 名（内 19 名は 4 月からの新規利用児）でスタートし、3 月時点では 65 名の在籍となりました。年度の中での動向としては、5 月に 2 名、11 月には市からの依頼に合わせ、グループの編成を見直し、新たに 2 歳児のグループを作り 4 名が利用を開始しました。また、7、8 月に 3 名、12 月に 1 名が終了となりました。終了の理由としては、保護者同伴の療育の利用が難しくなったこと等、利用ニーズの変化により、他事業所を選択したことなどが挙げられます。

療育の編成としては、週 3 回グループを 2 つに増やし、頻度の高い療育を実施できる体制を整え、定員は年度初めから一杯になりました。週 1 回グループは、同じ年齢でのグループ編成を行い、昨年度までは、おおむね一律であったグループ療育の支援時間を 3 つの支援時間に変えました。

利用者への支援としては、昨年度と同様に個別支援計画作成時や支援の方向性を変更する時には、療育支援方針会議を実施し、職員間で支援の方向性を確認し、利用児の状態にあった療育を実施しました。また、臨床発達心理士・言語聴覚士、作業療法士、保育士、児童指導員など様々な職種の職員が療育の同じ場面を共有し、連携した支援を行いました。

保護者支援としては、個別支援計画書のフォーマットについて見直しを行い、保護者と支援内容を共有しやすくしました。グループの状態に合わせた懇談会の実施や、保護者の希望に合わせタイムリーな面談を実施しました。

職員の資質向上や健康面への取り組みとしては、毎日の業務終了前に課全員で行う振り返りの時間の中で、タイムリーな情報共有、職員間の連携と効率化、安全への意識を確認し合いました。会議の実施においては効率化と内容の充実を意識して行いました。昨年度の途中から保育士または児童指導員の欠員が続いていましたが、2 月に常勤児童指導員 1 名を採用しました。

今年度は報酬改定の年でしたが、複数の職員で説明会への参加や内容確認を行い、混乱することなく対応することが出来ました。

2 平成 30 年度の運営目標に対しての評価

(1) 子どもや保護者に対して、より良い支援を行うために、各職員が一丸となった療育体制を築き、職員一人ひとりが資質向上を図ります。

- ・個別支援計画の作成、支援の方向性を確認する際には療育支援方針会議を開き、

課職員で、支援の状況の確認や意見交換をし、支援の方向性の共有を図りました。

- ・個別支援計画作成のための会議の質の向上と効率化を図る工夫をし、支援内容の充実を目指しました。
- ・専門職（臨床発達心理士・言語聴覚士・作業療法士）が保育士、児童指導員と共にグループ療育に入り、振り返りや検討の時間を共有する機会を作りました。ケースを共有することで職員相互が支援の質を向上させました。

(2) 地域の中の療育機関の役割、求められていることを踏まえた療育体制を考えていきます。

- ・伊勢原市障がい福祉課、子ども家庭相談課とのやりとりや運営委員会の実施、地域の幼稚園や保育園への訪問など、地域の状況やニーズを聴く機会を作りました。
- ・週3回グループを2つに増やし、頻度の高い療育を提供できる体制にしました。
- ・週1回グループは、支援時間を3つの時間帯にしました。
- ・年長児と年中児については個別支援を実施しました。
(年長児は月1回、年中児は3、4ヶ月に1回の頻度)
- ・年長児は子どもの状態によって個別支援のみ(月2回)の支援を実施しました。
- ・保育所等訪問支援事業利用児は、個別支援を実施しました。
- ・週3回グループの分離登園は、子どもの状態を見極めながら実施を決めました。

3 事業の実施状況

(1) 利用児の状況(3月末現在)

【表2-2】

- ・4月は63名でスタートし、3月は65名の在籍となりました。
- 年齢構成としては、年長児19名、年中児20名、年少児18名、2歳児8名です。
- ・年間の開所日数は、234日、のべ利用人数は3,243人です。昨年度と比べ、のべ人数は311人増えています。

(2) 事業内容

①療育に関すること

(療育の実施)

- ・一人ひとりの子どもに作成した個別支援計画に基づき、必要な支援を行いました。
- ・各グループの子どもに必要な支援を考え、活動内容を工夫して実施しました。
- ・週3回グループの分離登園は、利用児の状態を踏まえ、グループごとにスタートする時期とやり方を考えて対応しました。

②通常療育以外の支援に関すること

a すこやか園内の他事業との連携

- ・利用児の支援について、保育所等訪問支援事業の利用など、適切と思われる支援

を提案しました。

b 他施設との連携

【表 2-3】

- ・ 併行通園先（幼稚園・保育園等）に職員が訪問し、今年度の事業の体制や現状等の説明をしました。その中で、お互いの状況や連携の仕方について共有しました。
- ・ 併行通園先（幼稚園・保育園等）への訪問や電話によるやりとりを行うなど、利用児の状態について共有する機会を作りました。

c 交流保育・家族参加日

- ・ 週3回グループを対象とし実施を予定していましたが、実施目的と利用児の状態を考え、見直しを行い、実施しませんでした。

d 嘱託医による相談

- ・ 月1回嘱託医が来園し、保護者の相談に応えました。さらに、週3回グループの利用児については、療育日の中で嘱託医と個別面談する機会を作りました。

e 就学支援

- ・ 就学相談を利用した子どもについて、教育センターへの情報提供を行いました。

f 保護者支援

- ・ 9月に、神奈川県立子ども自立生活支援センター職員の高橋隆志氏を講師に、保護者を対象として講演会を実施しました。

テーマ：「発達が気になる子どもの学齢期支援から幼児期の支援を考える」

- ・ 各グループに合わせた懇談会を実施しました。

（年長児）… 「就学に向けて」

（週3グループ：単位1）… 「言葉の発達について」

（重度心身障がい児グループ）… 「平塚養護学校について知る」

（平塚養護学校教諭2名来園）

… 「嘱託医師を囲んで」

③地域支援に関すること

- ・ 伊勢原市要保護児童対策地域協議会の代表者会議と実務者会議に出席しました。
- ・ 伊勢原市子ども家庭相談課からの依頼を受け、グループ編成の調整を行い、希望している子どもを受け入れました。
- ・ 見学を希望している方には、可能な限り対応しました。
- ・ 1月に神奈川県立子ども自立生活支援センター職員の高橋隆志氏を講師に利用児が併行通園している幼稚園・保育園の職員を対象とした講演会を実施し、8園17名が参加しました。

テーマ：「発達障がいの子どもの理解と支援」

④職員育成に関すること

- ・7月に、神奈川県立子ども自立生活支援センター職員の高橋隆志氏を講師に、園内研修を実施しました。

テーマ：「自閉症・発達障がいの学齢期支援から幼児期の支援を考える」

- ・各職員が必要な外部研修に参加しました。【資料2-1】

Ⅲ 保育所等訪問支援事業

1 概況

今年度は、新規児2名（年長児1名、年中児1名）の登録があり、年長児3名、年中児1名の計4名の利用となりました。

支援については、職員2名体制で行い、月2回（第2、3の火曜日、木曜日）の訪問を通して利用児の状況に合わせ、タイムリーに必要な支援を行ってきました。

2 平成30年度の運営目標に対する評価

(1) 児童発達支援事業との連携によるタイムリーな支援

- ・児童発達支援事業で行っている年1回の園訪問を踏まえ、集団生活において支援が必要な子どもに対して、保育所等訪問支援事業の利用を提案し支援に結びました。
- ・訪問支援先に対しては、児童発達支援事業の療育場面でみられる子どもの発達の特徴を踏まえ、発達の見通しや関わりの工夫について伝えることができました。さらに、子どもの家庭での様子や保護者の考えや思いを伝えることにより、訪問支援先の子どもや保護者への理解が深まり、よりよい支援に繋がりました。
- ・児童発達支援事業を利用していた子どもが地域の幼稚園へ入園する際に、安心して園生活をスタートできるように入園時期に合わせて訪問をしました。

(2) 地域における保育所等訪問支援について

- ・保護者の就労等の事情により頻回に児童発達支援事業を利用できない場合に、地域の保育園で安定した園生活が送れるように、保護者や保育園に対して保育所等訪問支援事業の利用を提案し支援に結びました。

3 事業内容

(1) 事業実績

登録児：4名（年中1名、年長3名）

訪問支援先：4園（保育園2園、幼稚園2園）

実施月：4月、5月、6月、7月、10月、11月、12月、1月、2月

（8月、9月、3月は訪問支援先との都合が合わず実施できず）

(2) 事業内容

支援頻度：継続児2名は3ヶ月に1回、新規児2名については子どもと訪問支援先の状況把握のための期間は月1回とし、その後は利用児の状況に合わせた頻度で支援を行いました。

支援の方法：利用児の課題となる集団場面を観察し、その後に訪問支援先と話し合
いをしました。

IV 地域活動支援センター

1 概況

平成 31 年 3 月 31 日現在の利用登録者数は、20 名となっています。利用実績は、延べ利用者数が 1,782 名で、通所予定数の 86%でした。なお、1 名が長期入院のため利用できておらず、また、家庭の事情により、1 名が週 3 回の通所から週 1 回に変更となっています。

支援の環境面に関しては、今年度よりボランティアが利用していた木曜日の作業室を市の調整により、活動スペースとして使用できることとなり、ボッチャのためのコートを設け、体を動かすためのプログラムの導入に積極的に取り組む事が出来るようになりました。重症心身障がい者の利用の増加が見込まれる中、ベッドの設置場所などスペースの課題は引き続きありますが、限られたスペースの中で、音楽活動や運動プログラムなどを積極的に導入し、利用者の現状を重視した支援に取り組みました。

2 平成 30 年度の施設運営目標に対しての評価

(1) 活動支援について

活動は 2 グループ制を基本とし、参加者のニーズに合わせ活動を提供しました。ウクレレを使った音楽活動、楽しみながら身体を動かすボッチャ活動、想像力を働かせる創作活動を中心とし、年間計画に基づき実施しました。音楽活動では一人ひとりが楽器を手にし、季節に応じた音楽を職員と一緒に演奏しました。活動と活動の合間のちょっとした時間にも音楽を取り入れ、楽しい活動を意識しました。「創作」活動では、夏まつりに向け、画用紙を使用し「海洋生物」や「金魚」を作成し、クリスマス会に向けては、たまごの殻や松ぼっくりといった身近にある素材を使用し、装飾品を作成しました。その他、節分の鬼のお面や新聞紙を使った豆も作り、完成した作品は、「伊勢原市民文化祭」や「ふれあい福祉まつり」に出展しました。「スノーズレン活動」では、リラクゼーションを意識しつつライティングに変化をつけ、室内の雰囲気を考え、選曲、アロマ等を使い五感への刺激を意識して関わりました。

「サークル活動」のデコスイーツグループに関しては、活動工程とパッケージングを見直し、より完成度の高い作品になるよう話し合いを行い実践しました。書道活動は、四季折々の事柄をテーマに活動を行い、夏祭りや伊勢原市民文化祭で披露しました。なお、書道ボランティアによる書道活動はボランティアの都合により、今年度いっぱい終了となりました。その他、マッサージやストレッチ体操を取り入れ、リラックスできるよう取り組み、秋の日帰り旅行では、生命の星地球博物館を中心に買い

物や食事等、社会経験をひろげる機会としました。

(2) 活動環境と支援体制について

音楽活動の充実を図るため、ウクレレやキーボード、楽譜を整備し、活動の活性化を図りました。また、運動としてのボッチャの活動においては作業室にコートを作り、より実践的に活動が行えるよう配慮しました。

医療的ケアに関しては、3名の看護師が看護ミーティングを通じて課題と対応を共有し、より安全で安心した支援サポートが実施できるように配慮しました。

介助中の安全性の観点からベッドの配置を変更しました。ベッドの両サイドから2名の職員が介助に入れるようにしました。

(3) 支援の質と職員間の連携について

8月に神奈川県総合リハビリテーション事業団が主催した高次脳機能障害セミナー理解編に参加し、支援技術の向上に努めました。また、9月に支援員と運転員を対象に、「苦情について」をテーマに外部講師から、苦情に関する一般的な考え方や、苦情に対する対応についての内部研修を実施しました。12月の社会福祉法人・施設職員災害対応研修会に1名、1月には虐待防止講演会に1名が参加しました。また、2月にAEDの取り扱い訓練を行い、安全について改めて考える時間となりました。

3 支援の状況

(1) 理学療法士によるリハビリテーション支援

①理学療法士1名が月3回（水・木曜中心）来園しました。嘱託医の整形外科医の指示のもと、リハビリテーションを実施し、幅広い利用者のニーズに応えることができました。また、職員への指導とアドバイスにより、日々の活動の中で機能訓練やストレッチ、マッサージ等を提供することができました。

②車椅子の新規作成依頼が1件、補装靴の新規作成が1件、シューホンの新規作成が1件あり、利用者、家族、嘱託医、理学療法士、業者と連携し対応しています。

(2) 関係機関との連携

①利用者の通所曜日の変更に対し、当園の相談支援専門員と連携を図り進めました。また、それに伴う送迎コース及び送迎時間の変更については、関係する全ての家族と相談し調整しました。その他、入浴曜日の変更についても検討し、実施しました。

②ソーレ平塚と合同で、春に平塚市役所で開催された「展示即売会」に作品を出品しました。

(3) 防災対策

6月に伊勢原市消防本部職員を講師に招き、消火訓練を実施しました。また、11月に総合防災訓練を実施し、利用者にも参加してもらい、避難路の確認や消火設備な

どの設置場所の確認を行なうとともに、消防計画における自主消防隊の役割分担について学びました。

(4) 実習生の受け入れ

10月に東海大学医学部2年生1名を5日間受け入れました。障がい者支援を通じ、人とのコミュニケーションの取り方を学ぶという実習の目的を確認し、それに沿った実習指導を行うことができました。

4 事業の実施状況

(1) 事業の名称

・地域活動支援センター

利用者の状況（利用人数）

表 3-1-1～表 3-1-7 参照。

(2) 活動内容および支援方法

表 3-1-8～表 3-1-11 参照。

(3) 各関係機関との連絡連携

表 3-2-1～表 3-2-3 参照。

V 相談支援事業（生活支援センター）

1 概況

平成30年度の障害福祉サービス等報酬改定により、相談支援事業においては、相談支援専門員を手厚く配置する事業所に対し、加算が付くようになりました。すこやか園生活支援センターでは、専任の相談支援専門員を常勤2名以上配置しているため、平成30年4月より特定事業所加算Ⅳを取得することができました。また、神奈川県は相談支援事業所運営支援事業費補助金の対象にもなったため、申請を行い、交付を受けました。上記の加算を受領したことで、事業費の増収に繋がりました。

新たな報酬体系についての勉強会が、伊勢原市障がい者とくらしを考える協議会相談支援部会や湘南西部障害保健福祉圏域相談支援ネットワークにて開催されました。相談支援専門員のみならず、事務員も参加し、情報収集を行いました。不明な点は県や市に確認を行い、過誤なく対応することができました。

平成31年3月31日現在のすこやか園生活支援センターの計画相談支援実施状況は、「指定特定相談支援事業」契約者数が66名、「指定障害児相談支援事業」契約者数が144名となっています。

2 平成30年度の運営目標に対する評価

(1) 法人内の相談支援事業の一本化へ向けた取り組みについて

平成29年度より、月に1回、法人内の相談支援事業所（ソーレ平塚生活支援センター、すこやか園生活支援センター、あけぼの園相談支援事業）の相談支援専門員が集まり、それぞれの事業所で使用している書式や統計方法の確認、事例検討等を行っています（相談員の集い）。平成30年10月より、月2回、実施しています。今後は、合同研修なども行う予定です。

一本化へ向けてより具体的に検討するため、各相談支援事業所の代表者（主任以上）が集まり、話し合いを行いました（相談員の集いコア会議）。各市の状況の確認や今後の法人の相談支援体制について検討しました。平成31年4月より、あけぼの園相談支援事業を休止し、すこやか園生活支援センターであけぼの園相談支援事業のケースを担っていくこととなりました。また、相談支援専門員を増員し（専任の常勤職員3名体制）、すこやか園生活支援センターの名称を「しせん相談室」へと変更することとなりました。

3 事業の実施状況

(1) 事業の名称

- ・指定特定相談支援事業（伊勢原市指定）
- ・指定障害児相談支援事業（伊勢原市指定）

(2) 相談者の状況（相談件数）

表 4-1-1 参照。

(3) 相談内容および支援方法

表 4-1-2 参照。

(4) サービス等利用計画作成数及びモニタリング実施件数

表 4-1-3 参照。

VI 日中一時支援事業

1 概況

今年度は新規登録が1名と2月に退所者が1名あり、3月31日現在、17名の登録となっています。そのうち医療的ケアを必要とする利用者（重心加算医療ケア対象）が11名で半数以上の割合となっています。また、延べ利用数は276名で、1日平均2.9名の利用がありました。

平成29年4月より平成30年6月まで行ってきた第4土曜日の試行開催について、懇談会などで利用児の保護者より意見をいただき、評価を行いました。その結果、『運動会等の兄弟児のイベントの際に利用児のお預かりを行う』といった、より保護者のニーズに対応したスポット開催に変更しました。「運動会と重なった際の土曜日が利用できるのはありがたい」と、家族からの感想を多くいただきました。

また、次年度は支援スペースの拡大が予定されるため、かねてより保護者より多くあった開所日増の希望の声に対応するために、障がい福祉課と連携し準備をしました。

2 平成30年度の施設運営目標に対する評価

(1) 利用児が心地良く過ごせるように、職員間の連携を深め、環境整備に努めます。

利用児が楽しく過ごせるよう季節感や立体的で動きのある装飾を用いた環境作りを行いました。支援においては、地域活動支援センターと連携し、エアーマットを使用しての感覚刺激やライトやアロマを使用したリラクゼーション活動を行い、イベントでは夏祭りやクリスマス会などを地域活動支援センターの利用者と一緒に楽しみました。

(2) 医療的ケアが必要な利用児がより安心して過ごすことが出来るよう、家族や関係機関と連携し、健康管理に努めます。

医療的ケアの必要な利用児が増え、医療情報を整理し、看護師間で共有しました。人工呼吸器の対応について、家族からの情報と主治医からの診療情報を支援のベースとすることを職員間で確認し、介助方法や支援内容が成長する利用児の現状や年齢にあった支援となっているのかを確認し、対応を見直しました。

また、診療情報提供書を見直し、医療的ケアについて、担当医師より具体的で明瞭な指示を得られるよう、書式を変更しました。

3 事業の実施状況

(1) 利用者支援

移乗介助については、二人介助を基本とし、安全面を考慮しました。また、クッション性のあるマットやジョイントマットを活用して、褥瘡予防やより安楽な姿勢が保てるように配慮しました。必要に応じて、理学療法士に相談し、姿勢の評価を行いました。移乗時は、介助者の腰への負担を軽減するために、利用児を段差のある場所まで移動した上で抱え、なるべく車椅子までの移乗距離を短くするよう工夫しました。また、介助方法について理学療法士の指導を受けました。環境面では、天井や窓ガラスなどに季節に応じた装飾を行い、臥床時でも、目で楽しめ、リラックスできるような空間を作りました。

(2) 家族支援

土曜日試行開催については、7月に評価を行いました。上半期の利用実績は、平均1.8名と少なかった一方で、運動会シーズンの利用を希望する意見が多く上がったため、より保護者のニーズに対応したスポット開催に変更しました。

定期的な利用と併せて、急な利用希望や空きが生じた際の追加利用など、可能な限り柔軟に対応しました。また、8月には5名定員のところを7名から利用希望が重なる日があり、いずれも家庭の事情から利用の必要性があり調整が難しいため、障がい福祉課と相談し、8月のみ定員を5名から8名に拡大して対応しました。9月以降は定員を5名に戻しています。また、保護者より多くの要望があり、今年度当初は予定になかった春休みに1日開所いたしました。定員を超える利用希望がありました。

(3) サービスの質の向上

利用児の個別支援目標を通じ、一人ひとりの興味・関心、身体状況など職員間で共通認識しアプローチすることで、より一層利用児の過ごしへの充実へ向け、取り組む事ができました。また、職員会議にてヒヤリ・ハット報告及び事故報告の内容を共有し、事故を未然に防ぐ改善策の検討と、事故・不祥事防止日常点検チェックリストや虐待防止セルフチェックリストを用いて毎月の会議の中で振り返り、よりよい支援に繋がるように取り組みました。

(4) 関係機関との連携

6月と1月に平塚養護学校主催の放課後支援事業所連絡会に出席し、子どもの利用

状況、懸案事項の確認や各事業所からの情報収集に努めました。

また、1名の重症心身障がい児の利用希望があり、当園の相談支援専門員や児童療育課職員と連携し、利用調整会議を経て受け入れました。

9月～10月にかけて、利用キャンセルが続き、さらには一時、保護者と連絡がとれなくなるというケースが1件ありました。本人は学校を長期休んでおり、関連する事業所も近況を把握できていないとの事であったため、相談支援専門員を通じ、学校や関係事業所と連携を図り、本人の安否の確認と状況の把握に努めました。

4 事業の実施状況

(1) 事業の名称

- ・日中一時支援事業

(2) 利用者の状況（利用人数）

表 5-1-1～表 5-1-4 参照。

(3) 各関係機関との連絡連携

表 5-1-5～表 5-1-6 参照。

関係資料1 すこやか園の状況（全体に関わるもの）

表1-1 全体等に関わる会議・説明会・式典等

説明会	内 容	場 所	出席者
4/2	辞令交付式・法人新採用オリエンテーション	ソーレ平塚	園長・西原・和山
4/3	法人永年勤続表彰授与式	ソーレ平塚	園長
5/9	法人機関誌委員会①	ソーレ平塚	園長
5/18	伊勢原市障がい者と暮らしを考える協議会 子ども支援部会	伊勢原市役所	園長
5/29	法人監事監査	あけぼの園	園長・佐藤
6/1	法人理事会	ソーレ平塚	園長・石川・春木
6/12	災害時支援部会	伊勢原市役所	春木
6/16	評議員会	ソーレ平塚	園長・石川・春木
6/28	伊勢原市障がい者と暮らしを考える協議会 子ども支援部会	伊勢原市役所	津野・関
6/28	自己評価票に関するヒアリング	すこやか園	園長・石川・春木
7/3	施設運営会議	すこやか園	園長・石川・矢野・大豆生田・春木
7/6	職員健康診断	すこやか園	対象職員
7/10	利用団体連絡会	すこやか園	園長・佐藤・春木
7/11	法人機関誌編集委員会②	ソーレ平塚	園長
7/13	すこやか園運営委員会①	すこやか園	園長・矢野・石川・大豆生田・春木
7/13	伊勢原市障がい者と暮らしを考える協議会	伊勢原市役所	園長・矢野
7/14	指定管理に伴う見学会	すこやか園	園長
7/27	法人職員交流会	伊勢原ボウル	
9/12	災害時支援部会	伊勢原市役所	春木
9/25	障がい者と暮らしを考える協議会②	伊勢原市役所	園長
10/5	総括安全衛生委員会①	ソーレ平塚	園長・春木
10/10	赤い羽根街頭募金	伊勢原駅前	津野・徳原
10/11	指定管理者候補者選定委員会	伊勢原市役所	園長・石川・矢野・大豆生田・福田・春木
10/17	JSYネット定例会	ソーレ平塚	園長・春木
11/1	虐待防止オレンジリボン街頭キャンペーン	伊勢原駅前	小俣
11/2	法人理事会	ソーレ平塚	園長・石川・春木
11/6	施設運営会議	すこやか園	園長・矢野・大豆生田・石川・春木
11/8	法人情報管理システム委員会	精陽学園	佐藤
11/9	インフルエンザ予防接種	すこやか園	対象職員
11/10	評議員会	ソーレ平塚	園長・石川・春木
11/22	法人内部監査	精陽学園	小俣・佐藤
11/22	法人施設事務員会議	精陽学園	佐藤
12/4	障害者週間街頭キャンペーン	伊勢原駅前	小川
12/12	年末たすけあい街頭募金	伊勢原駅前	矢野
12/18	法人人材育成委員会①	ソーレ平塚	春木

12/19	法人情報管理システム委員会	ソーレ平塚	佐藤
1/16	表彰・懲戒委員会	ソーレ平塚	園長
1/17	災害時支援部会	伊勢原市役所	春木
1/23	法人情報管理システム委員会	ソーレ平塚	佐藤
1/24	法人人材育成委員会②	ソーレ平塚	春木
2/1	すこやか園運営委員会②	すこやか園	園長・矢野・石川 大豆生田・春木
2/5	障がい者とくらしを考える協議会③	伊勢原市役所	園長
2/7	働き方改革関連法説明会	神奈川県民ホール	佐藤
2/15	施設運営管理研修	神奈川県社協	石川
2/20	湘南西部圏域自立支援協議会	平塚保険福祉事務所	園長
2/27	JSYネット定例会	わらべの杜	石川
2/28	障がい者とくらしを考える協議会 子ども支援部会	伊勢原市青少年センター	石川
3/1	理事会	ソーレ平塚	園長・石川・春木
3/5	高齢・障がい者虐待防止ネットワーク	シティプラザ	園長
3/14	法人情報管理システム委員会	ソーレ平塚	佐藤
3/16	評議員会	すこやか園	園長・石川・春木
3/22	総括安全衛生委員会②	すこやか園	園長・春木

※法人経営会議は毎月園長が出席。

表1-2 内部会議

会議内容	参加者	回数
運営会議	園長、石川、大豆生田、 矢野、佐藤、福田、春木	14
全体職員会議	各事業の定例会議出席職員	1
児童療育課会議	園長、児童療育課職員	12
ひなたぼっこ会議	園長、 日中一時支援事業職員	9
利用調整会議	園長、石川、大豆生田、 矢野、佐藤、福田、春木	4
センター会議	園長、 地域活動支援センター職員	12

表1-3 全体等に関わる研修

実施日	内 容	場 所	参加者
8/16, 8/17	防火管理・防災管理責任者講習	藤沢市民会館	園長
10/5	安全運転管理者法定講習会	伊勢原市民文化会館	福田
11/29	福祉施設のためのリスクマネジメントセミナー	損保ジャパン	大豆生田・福田
12/17	施設職員災害対応研修	パシフィコ横浜	福田
2/15	施設運営管理研修	神奈川県社協	石川
3/14	うつ病講習会	大和市保健福祉センター	石川

表1-4 ふれあい福祉まつり関係

内 容	実施日
主管打ち合わせ	7/30
実施委員会	9/6, 10/4, 11/8, 12/20
日産（株）への挨拶・打ち合わせ	9/19
ふれあい福祉まつり(当日)	12/8

表1-5 防災訓練

実施日	内 容	実施者	備 考
7/10	消火器訓練	伊勢原市消防署職員	当日の出勤職員
10/17	地震・火災想定 of 総合防災訓練	防災訓練係	職員及び館内利用児者
11/7	総合訓練実施後の振り返り	防災訓練係	運営会議出席者
2/13	応急救護訓練	伊勢原市消防署職員	当日の出勤職員

表1-6 工事・修繕関係

期 間	内 容	場 所
6/15～6/20	1階渡り廊下天井修繕	1階渡り廊下
6/8	入浴設備リモコン修繕	1階浴室
8/9	エアコンファンモーター交換修繕	1階録音室入浴室
9/5, 9/6	プレイルーム4壁紙貼替修繕	プレイルーム4
9/5, 9/7	プレイルーム5壁紙貼替修繕	プレイルーム5
10/23	センサーライト設置	2階バルコニー
12/6	プレイルーム1空調機入替	プレイルーム1
2/9	2階本館男子トイレ換気扇修繕	2階トイレ
2/9	2階本館男子トイレ自動水洗修繕	2階トイレ
2/9	地域活動支援センター男子トイレ自動水洗修繕	地域活動支援センタートイレ
2月	送迎車キャラバン3号車・4号車板金修理	
2/14	正面玄関防犯カメラ移設工事	正面玄関
2/23	相談室電話回線増設工事	相談室
2月	送迎車2台、公用車1台のドライブレコーダーの設置	
2/9	換気扇2台取付	1階職員室

表1-7 ボランティア利用人数 (単位：人)

	録音奉仕団	点訳奉仕団	拡大写本奉仕団	ことばの教室	その他
4月	105	97	57	12	0
5月	101	118	70	181	0
6月	108	101	58	173	0
7月	83	135	54	79	0
8月	66	44	38	6	0
9月	77	103	56	144	0
10月	104	100	51	194	0
11月	67	95	63	180	0
12月	66	67	37	94	0
1月	72	77	51	115	0
2月	75	129	50	180	0
3月	103	95	50	119	0
計	1,027	1,161	635	1,477	0
利用者総数	4,300				

表1-8 職員の現状・動向

H31.3.31現在 (単位：人)

職 員				内 訳 等								その他	
				法人内異動				平成30年度採用					平成30年度末および平成30年度途中退職
職 種	常勤	準職員 （パート・アルバイト）	委託	転入	転出	常勤	準職員 （パート・アルバイト）	委託	常勤	準職員 （パート・アルバイト）	委託		
園 長		1											
事務	1		1									1	
課長	(1)												園長事務
保育士	6								1				
児童指導員	3					1							
臨床発達心理士	1												
言語聴覚士			1										
作業療法士			1										
医師				1									
看護師			(2)										地域支援看護師業務
添乗員			1									1	
職 種	常勤	準職員 （パート・アルバイト）	委託	転入	転出	常勤	準職員 （パート・アルバイト）	委託	常勤	準職員 （パート・アルバイト）	委託		
課長	(1)												園長事務
主任	2												
副主任													
相談員	3(i)		1										常勤職員1名 およびパート・アルバイト
支援員	1		2										
看護師	1		2										
理学療法士				1									
医師				1									
入浴介助員			4										
運転員			4(1)										入浴介助員業務
清掃員			2										
合計	16(3)	2	22(3)	3	2	1	1		1			3	

※ () は兼務職員の数

平成30年度 ヒヤリハット・事故報告のまとめ（児童療育課） 【表1-9】

平成31年3月31日現在

日課	種別	負傷・怪我	子ども同士のトラブル	器物破損	送迎バス	情報伝達	物品管理	運営管理	個人情報関係	その他	計 内()事故
08:30	バス迎え～				●乗降場所の確保が不足で待たせてしまう						1 (1)
09:50	バス帰園							◎◎◎◎◎◎ ◎◎◎◎◎◎			0
09:50	登園 おしたく 自由あそび							◎◎◎◎◎◎ ◎◎◎◎◎◎			11
10:30	朝のあいさつ 運動あそび 中休み・おあつまり							◎◎◎◎◎◎ ◎◎◎◎◎◎			11
11:30	活動～							◎◎◎◎◎◎ ◎◎◎◎◎◎			15
12:00	昼食 はみがき							◎◎◎◎◎◎ ◎◎◎◎◎◎	○		12
13:00	自由遊び 活動							◎◎◎◎◎◎ ◎◎◎◎◎◎	●写真を旧住所に送ってしまう		12 (1)
13:20	帰りのあつまり										0
13:30	降園				△1階事務室から2階事務室への電話転送ミスで待たせてしまう			◎◎ ●他の子どものタオルを持ち帰らせてしまう			5 (2)
13:30	バス送り～								●原簿名の書いてある名札の紛失		1 (1)
14:30	バス帰園								●実習記録簿の記入漏れ		1 (1)
14:30	療育等						◎◎◎	◎実習記録簿を母が持ち帰る			4
17:30	～							●実習記録簿の写しを取り戻れる	◎原本をシュレッダーしてしまふ		2 (2)
	発生時間不明等					○次席連絡日未記入			○	○名前の漢字を間違える	4 (1)
	計 内()事故	0	0	0	1 (1)	2	0	67 (3)	6 (3)	3 (2)	○69△1 ●9 合計79(9)

○：グループヒヤリハット □：個別ヒヤリハット △：事務ヒヤリハット ●：G事故報告 ■：個別事故報告 ▲：事務

平成30年度 ヒヤリハット・事故報告のまとめ（地域支援課）

【表1-9】

平成31年3月31日現在

日課	種別	負傷 怪我	送迎関係	器物破損	トラブル	誤薬 関係	食物関係	感染症 関係	情報伝達	物品管理	運営管理	個人情報 関係	その他	計 内()事故
08:35	迎え出発～								●遅刻連絡の確約 不足により待たせ てしまう					1 (1)
10:00	送迎車到着								○井当のキャンセ ルを忘れる					1
10:00	朝の会、体 操、水分補給、バイタ ルドリンク										○女性職員の後後 から男性利用者が 抱き付く			1
10:30	午前の活動、 入浴													0
11:30	午前の活動終 了、昼食準備						●調理室で使 用した川湯が 利用者の服に接 していた							0
11:45	昼食、歯磨き 休息										△田にサインをち らつてい居間に子 どもから自を離す			2 (1)
13:00	午後の活動、 入浴								●1階事務室から2 階事務室への電話 機着きまで待たせ てしまう		○利用者からラン スを落して転倒し そうになる		2 (1)	
15:40	帰りの会										△面談時に子ども が機嫌にカレリン で描いてしまう			1
16:00	送り出発～											○送迎表を園 の玄関に置き 忘れる	1	
17:00	送迎車帰園		●園内にて送 迎車を円柱に 接触											1 (1)
17:30	振りの返り等 ～													0
	発生時間不明等													0
	計 内()事故	0	1(1)	0	0	0	1(1)	0	3(2)	0	4	1	0	04△2●4 合計10(4)

○；地活ヒヤリハット □；日中ヒヤリハット △；相談ヒヤリハット ●；地活事故報告 ■；日中事故報告 ▲；相談事故報告

関係資料2 児童療育課

表2-1 職員外部研修

実施月	内 容	参加者
6月	リフカー研修	石川
8月	強度行動障害支援者養成研修<基礎研修>フォローアップ研修 冰山モデルシートの活用	関根
10月	個人情報保護法研修会	石川
10月	強度行動障害支援者養成研修<基礎研修>フォローアップ研修 冰山モデルシートの活用	黒部
10月	食支援が必要な乳幼児の摂食嚥下機能発達	檜原
12月	どうすれば福祉のプロになれるか	原
2月	WTSC-4の結果を学校現場で活かす -検査結果の解釈と支援-	大豆生田
2月	H30年度プリセプター研修	石川
2月	対応の難しい保護者とその子どもへの支援	黒部
3月	アンガーマネジメント研修	関根

表2-2 利用児状況 (単位:人)

月名	登録数	全登園日数	延べ利用 人数	出席率	開所日
4月	63	267	242	85.4	20
5月	65	370	305	69.7	21
6月	65	383	312	69.2	21
7月	65	367	296	80.4	21
8月	63	307	251	77.1	18
9月	62	307	259	78.8	18
10月	65	369	279	74.1	22
11月	66	374	293	73.7	21
12月	66	287	241	82.9	17
1月	65	312	236	65.6	18
2月	65	334	267	78.9	19
3月	65	303	262	82.4	18
合計/平均	775	3980	3243	76.5	234

表2-3 併行通園状況 (単位:人)

幼稚園	保育園	合計
38	6	44

関係資料3 地域活動支援センター 利用者の状況

表3-1-1 登録者、利用実績状況 H31.3.31現在

	新規	終了	登録者	前年実績	予定数	延べ実績	入浴
4月	0	0	19	152	178	150	105
5月	0	0	19	159	190	169	116
6月	0	0	19	183	189	164	117
7月	0	0	19	169	198	161	117
8月	0	0	19	149	162	142	99
9月	0	0	19	162	163	139	97
10月	0	0	19	172	198	165	110
11月	0	0	19	182	191	161	116
12月	0	0	19	158	154	124	87
1月	0	0	19	152	146	131	95
2月	0	0	19	159	153	142	98
3月	0	0	20	177	162	134	98
合計	0	0		1,974	2,084	1,782	1,255

表3-1-2 曜日別契約者、入浴者 H31.3.31現在

曜日	契約者数	入浴
月曜日	10	7
火曜日	9	6
水曜日	10	6
木曜日	8	6
金曜日	9	7
合計	46	32

表3-1-3 障がい別利用者数 H31.3.31現在

	脳性麻痺	脳血管障害	特定疾患	脳外傷	その他	合計
男	5	2	0	2	2	11
女	4	2	1	0	1	8
合計	9	4	1	2	3	19

表3-1-4 身障手帳等級別 H31.3.31現在

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
男	9	2	0	0	0	0	11
女	3	4	1	0	0	0	8
合計	12	6	1	0	0	0	19

表3-1-5 療育手帳等級別 H31.3.31現在

	A1	A2	B1	B2	合計
男	4	1	1	1	7
女	4	0	0	0	4
合計	8	1	1	1	11

表3-1-6 障がい程度区分 H31.3.31現在

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0	0	1	1	2	7	11
女	0	0	0	3	2	3	8
合計	0	0	1	4	4	10	19

表3-1-7 年齢層別 H31.3.31現在

	18~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~	合計
男		5	1	4	0	0	0	10
女		2	3	2	2	0	0	9
合計	0	7	4	6	2	0	0	19

表3-1-8 行事

日 付	行 事 名	場 所
4/2～4/15	パスデーカード作り	すこやか園
4/26, 27	平塚市春のてんそく (ソーレ平塚と共同出品)	平塚市役所
5/8～6月中旬	利用者・家族面談	すこやか園
6月～7月	創作企画 (さらしの藍染 うちわ作り)	すこやか園
7/31 8/1, 2, 3	夏祭り	すこやか園
10/8, 10, 18, 19, 23 11/8, 14	日帰り旅行	生命の星地球博物館 花菜ガーデン
10/4, 5	平塚市秋のてんそく (ソーレ平塚と共同出品)	平塚市役所
10/30～11/4	伊勢原市民文化祭	伊勢原市中央公民館
11/9	インフルエンザ予防接種	すこやか園
11/17	避難訓練 (利用者参加)	すこやか園
11/22	音楽発表会	すこやか園
12/8	ふれあい福祉まつり (フェルトせっけんデコスイーツ販売出品)	すこやか園
12/13	クリスマス音楽イベント	すこやか園
12/17～12/21	クリスマス会	すこやか園
1/7, 8	新年会	すこやか園
1/16～18	伊勢原市福祉展	伊勢原市中央公民館
1/31, 2/1	節分豆まき	すこやか園
2/23	利用者・家族懇談会	すこやか園
3月	創作 (藍染 のれん作り)	すこやか園

その他、定例活動：創作(茶々のデコスイーツ)、スヌーズレン、書道、各種活動ミーティング

表3-1-9 活動

活動内容	活動日
音楽活動	月 (AM)
ポッチャ	火 (AM)・木 (AM)
スヌーズレン	月 (PM)・木 (AM)
書道	水 (PM)
ボーリング・体操	金 (AM)
茶々のデコスイーツ	水 (AM) 金 (PM)

個別活動：フェルト手芸、散歩、パソコン、卓上競技
絵本の読み聞かせ、ペグさし、塗り絵等

表3-1-10 PTによるリハビリテーション

内 容	対象人数
ストレッチ (拘縮予防)	14名
歩行訓練 (運動)	4名

表3-1-11 ボランティアの受け入れ

内 容	人数	活動日
書道	1名	水曜日

表3-2-1 施設外部会議等

実施日	内 容	場 所	出席者
11/29	進路に関わる連絡会	平塚養護学校	春木
1/18	重心及び医療ケア支援NW会議	平塚養護学校	春木
2/13	平養卒業生移行支援会議	平塚養護学校	春木

表3-2-2 施設外部研修等

実施日	内 容	場 所	出席者
6/20	第三者評価事業所説明会	神奈川県社会福祉会館	春木
8/25	高次脳機能障害セミナー	神奈川県総合医療会館	小野田
1/17	高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク 虐待防止講演会	伊勢原市青少年センター	小川

表3-2-3 実習生の受け入れ

実施日	学校	人数
9/26～10/1	東海大学 医学部	1名

関係資料4 生活支援センターの状況

表4-1-1 平成30年度 相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談者	本人	46	26	41	36	36	28	41	42	37	26	35	28	422
	家族	113	100	134	128	107	116	123	126	120	123	131	117	1,438
	関係機関	136	140	137	146	135	151	158	177	158	131	180	166	1,815
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	295	266	312	310	278	295	322	345	315	280	346	311	3,675
性別	男性	162	161	181	155	163	168	160	248	208	198	233	212	2,249
	女性	92	86	100	128	84	108	135	69	85	63	83	81	1,114
	合計	254	247	281	283	247	276	295	317	293	261	316	293	3,363
年齢	幼稚園・保育園	88	80	77	72	61	71	87	107	80	73	92	93	981
	未就学(その他)	50	38	69	75	70	75	77	86	98	81	116	74	909
	小学校	48	33	40	39	38	47	33	33	29	32	30	46	448
	中学校	4	4	9	18	12	15	21	8	9	9	4	9	122
	高等学校	3	3	0	9	6	14	3	8	6	18	14	8	92
	18歳以上	29	34	41	30	20	21	21	16	40	27	30	27	336
	40歳以上	26	51	38	32	37	27	24	51	20	17	28	29	380
	65歳以上	6	4	7	8	3	6	29	8	11	4	2	7	95
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	254	247	281	283	247	276	295	317	293	261	316	293	3,363	
障がい別	身体障がい	46	82	70	52	62	60	78	82	56	56	52	53	749
	知的障がい	21	36	45	48	55	27	34	32	63	52	44	71	528
	重症心身障がい	37	24	32	33	25	29	14	21	18	26	36	17	312
	精神障がい	5	6	5	11	2	4	4	10	20	1	8	15	91
	発達障がい	12	8	29	41	42	44	43	25	40	25	32	68	409
	高次脳障がい	7	9	2	0	3	2	3	7	2	2	5	4	46
	その他	157	122	142	134	96	131	145	174	157	130	168	135	1,691
	合計	285	287	325	319	285	297	321	351	356	292	345	363	3,826

表4-1-2 平成30年度 相談内容・対応方法

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
相談内容	福祉サービス	238	229	257	266	235	263	279	295	277	247	291	266	3,143
	障がい・病状	23	28	23	19	18	15	43	42	17	19	16	10	273
	健康・医療	19	27	35	19	13	25	20	20	30	20	16	15	259
	不安・情緒不安定	5	3	7	3	4	3	3	6	7	6	2	1	50
	保育・教育	23	43	46	32	28	63	37	44	49	39	42	37	483
	家族・人間関係	13	12	18	18	14	13	13	22	23	10	17	11	184
	家計・経済	2	3	5	8	3	1	2	1	0	1	0	0	26
	生活技術	2	6	1	3	6	5	0	8	5	3	2	10	51
	就労	2	0	4	2	0	1	4	1	6	0	1	0	21
	社会参加・余暇	2	2	2	0	0	0	1	4	3	2	0	1	17
	権利擁護	0	0	6	3	0	1	0	0	2	4	2	1	19
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	330	353	404	373	321	390	402	443	419	351	389	352	4,527	
支援方法	訪問	29	21	29	43	54	68	70	68	58	72	88	112	712
	来所	51	35	42	27	23	26	34	37	28	23	17	18	361
	同行	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	電話・FAX	52	57	88	76	55	69	76	76	79	67	76	58	829
	メール	2	7	1	3	2	7	3	4	0	4	3	13	49
	会議	5	2	3	4	2	2	1	3	1	0	2	2	27
	関係機関	115	123	117	130	111	104	111	129	127	95	130	90	1,382
	合計	254	247	281	283	247	276	295	317	293	261	316	293	3,363

表4-1-3 平成30年度 サービス等利用計画作成数及びモニタリング実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
サービス等利用計画	44	17	10	14	19	17	16	21	12	17	10	19	216
モニタリング	27	42	46	42	39	40	40	38	47	41	46	38	486
合計	71	59	56	56	58	57	56	59	59	58	56	57	702

表4-2-1 会議等

実施日	内 容	場 所	出席者
4/18	相談支援部会	伊勢原市役所	矢野・関
5/1	相談支援事業検討ワーキング	伊勢原市役所	矢野
5/15	相談員の集い	ソーレ平塚生活支援センター	矢野・津野・関
5/16	相談支援部会	伊勢原市役所	矢野・津野・関
6/8	相談支援部会（事業所見学会）	グループホームせせらぎ ジョブライフはたの りんく にこにこパン工房	矢野・津野・関
6/22	相談員の集い コア会議	すこやか園	藤原・矢野
6/26	成年後見・権利擁護サポート連絡会	シティプラザ	関
7/4	相談支援ネットワーク会議	平塚市役所	津野・関・佐藤
7/17	平塚養護学校市町別情報連絡会	平塚養護学校	矢野
7/20	相談支援部会	伊勢原市役所	矢野・津野・関
7/27	相談員の集い コア会議	すこやか園	藤原・矢野
8/29	相談員の集い コア会議	すこやか園	藤原・矢野
9/19	相談支援部会	伊勢原市役所	矢野・津野・関
9/21	重心・医療的ケア支援ネットワーク会議	平塚養護学校	矢野
10/22	相談員の集い	すこやか園	矢野・津野・関
10/25	成年後見・権利擁護サポート連絡会	シティプラザ	関
10/26	相談支援部会	伊勢原市役所	矢野・関
11/12	相談員の集い	ソーレ平塚生活支援センター	矢野・津野・関
11/28	肢体不自由教育部門生徒の進路に関わる連絡会	平塚養護学校	矢野
12/10	相談員の集い	ソーレ平塚生活支援センター	矢野・津野・関
12/25	相談員の集い	ソーレ平塚生活支援センター	矢野・津野・関
1/15	相談員の集い	すこやか園	矢野・津野・関
1/25	相談支援部会	伊勢原市役所	矢野・関
1/18	相談員の集い	ソーレ平塚生活支援センター	矢野・津野・関
2/8	重心・医療的ケア支援ネットワーク会議	平塚養護学校	矢野
2/18	相談員の集い	ソーレ平塚	矢野・津野・関
2/19	相談支援部会	伊勢原市役所	関
3/11	相談員の集い	すこやか園	矢野・津野・関
3/13	相談支援部会	伊勢原市役所	矢野・関
3/25	相談員の集い	ソーレ平塚生活支援センター	矢野・津野・関

表4-2-2 施設外部研修等

実施日	内 容	場 所	出席者
7/18	相談支援従事者初任者研修①	相模原南市民ホール	大野
7/19	相談支援従事者初任者研修②	相模原南市民ホール	大野
8/28	相談支援従事者初任者研修③	平塚商工会議所	大野
8/29	相談支援従事者初任者研修④	平塚商工会議所	大野
10/3	相談支援従事者初任者研修⑤	平塚商工会議所	大野
11/20	相談支援従事者初任者研修⑥	平塚商工会議所	大野
11/21	相談支援従事者初任者研修⑦	平塚商工会議所	大野
11/23	医療的ケア児等支援者養成研修①	茅ヶ崎市立病院	矢野・津野・関
11/24	医療的ケア児等支援者養成研修②	茅ヶ崎市立病院	矢野・津野・関
2/3	医療的ケア児等コーディネーター養成研修①	県立こども医療センター	矢野
2/19	医療的ケア児等コーディネーター養成研修②	マザー湘南	矢野
3/4	医療的ケア児等コーディネーター養成研修③	太陽の門	矢野
3/13	医療的ケア児等コーディネーター養成研修④	小さき花の園	矢野
3/19	医療的ケア児等コーディネーター養成研修⑤	湘南マロニエ	矢野
3/24	医療的ケア児等コーディネーター養成研修⑥	県立こども医療センター	矢野

関係資料5 日中一時支援事業 利用者の状況

表5-1-1

登録者、利用実績状況 H31.3.31現在

	登録者	予定数	延べ実績	1日平均	開催数
4月	16	33	29	3.2	9
5月	16	25	19	2.4	8
6月	17	29	23	2.3	10
7月	17	31	27	3.4	8
8月	17	38	29	3.6	8
9月	17	30	28	3.1	9
10月	18	23	21	2.6	8
11月	18	23	18	2	9
12月	18	21	18	3.6	5
1月	18	24	21	3	7
2月	18	22	20	2.5	8
3月	17	25	23	2.9	8
合計		324	276	2.9	97

表5-1-2 障がい別利用者数

H31.3.31現在

	脳性麻痺	水頭症	脳炎	低酸素脳症	白質形成不全	ダウン症	4p-症候群	脳幹形性不全	クモ膜下出血	四肢麻痺	精神運動発達遅滞	ヒトヘルペス脳症	合計
男	1	0	0	4	0	2	1	1	1	0	0	0	10
女	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	7
合計	1	1	1	5	1	2	1	1	1	1	1	1	17

表5-1-3 医療状況

H31.3.31現在

	吸引	酸素吸入	経管栄養	気管切開	人工呼吸器	発作
男	4	1	6	3	0	5
女	4	1	4	2	0	6
合計	8	2	10	5	0	11

※一人当たり複数該当あり

表5-1-4 学齢

H31.3.31現在

	幼児	小1	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	19歳	合計
男	3	2	1	0	1	3	0	1	0	0	1	12
女	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	5
合計	4	2	1	1	2	3	0	1	1	1	1	17

表5-1-5 研修・見学

実施日	内容	場所	出席者
10/25	学校へ行く週間	平塚養護学校	米満・服部・行田・岡本・春木

表5-1-6 関係機関との連携・会議

実施日	内容	場所	出席者
6/18	放課後支援事業所連絡会	平塚養護学校	春木
11/28	平塚養護学校肢体不自由教育部門生徒の進路に関わる連絡会	平塚養護学校	春木
1/31	放課後支援事業所連絡会	平塚養護学校	春木